

鎌倉市

子育て世帯の生活に関するアンケート調査
報告書

平成30年3月

鎌倉市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査名・調査対象・調査方法	3
3. 調査期間・回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 所得水準の設定について	3
6. 調査結果を見る上での注意事項	5
7. 調査結果の概要	5
第 2 章 調査結果の詳細	9
1. 基本属性	11
(1) 居住地域	11
(2) きょうだい数	11
(3) 一緒に住んでいる人	12
(4) 世帯人数	13
(5) 18歳未満の人数	13
2. お子さんについて	14
(1) お子さんの年齢、通園・通学状況	14
(2) 起床就寝時間	16
(3) 朝ごはんを食べる頻度	18
(4) 朝ごはんを一緒に食べる人	19
(5) 朝ごはんを食べない理由	20
(6) 夕ごはんを食べる頻度	21
(7) 夕ごはんを一緒に食べる人	22
(8) 夕ごはんを食べない理由	24
(9) 手作りの食事を食べさせる頻度	25
(10) 手作り以外で最も多いもの（手作りの食事を食べさせる頻度が低い家庭）	27
(11) 入浴の状況	28
(12) 歯磨きの頻度	29
(13) う歯の状況	30
(14) 治療のための歯科通院の状況	31
(15) 治療していない理由	32
(16) 放課後の過ごし方	33
(17) 読書の状況	35
(18) 子ども部屋、学習コーナーの有無	36
(19) 平日の勉強時間	37
(20) 学校の勉強の理解度	38
(21) 子どもが通塾を希望した場合の意向	39

(2 2)	子どもが通塾を希望した場合に学ばせたいと思わない理由	40
(2 3)	習い事の状況	41
(2 4)	塾や習い事をしていない理由	42
(2 5)	学校でのクラブ活動の状況	44
(2 6)	クラブ活動の種類	45
(2 7)	教育にかかる経費で負担に感じるもの	46
(2 8)	進学希望	47
(2 9)	理想的な進学希望の理由	48
(3 0)	子供の教育に関する不安	49
(3 1)	経済的理由により子どもが進学を諦めたり中退した経験	50
(3 2)	奨学金の利用に対する意識	52
(3 3)	不登校の経験の有無	54
3.	子育てについて	55
(1)	親子のコミュニケーションの状況	55
(2)	子供の自己肯定感	57
(3)	医療機関の受診が必要な時に受診させなかった経験	58
(4)	受診させなかった理由	59
(5)	家庭での子どもへの関わり	61
(6)	1年間に子どもと出かけたことがある場所	63
4.	暮らしの状況について	64
(1)	住居の状況	64
(2)	手当等の受給や所得の状況	65
(3)	世帯のおおよその可処分所得	66
(4)	世帯の借入金の状況	67
(5)	支払いの遅延や購入できなかった経験の有無	68
(6)	暮らしにかかる経費で経済的に負担になっているもの	70
(7)	家電・本・玩具などの所有状況	71
(8)	子ども用の本・用品等の所有状況	75
(9)	暮らしの状況	79
5.	保護者の状況について	80
(1)	保護者の年齢	80
(2)	保護者の就業の状況	82
(3)	働いていない理由	83
(4)	保護者の在宅状況、帰宅時間	84
(5)	保護者の最終学歴	87
(6)	ひとり親家庭に該当するか	89
(7)	ひとり親になってからの期間	90
(8)	ひとり親になった理由	91
6.	市の子育て支援等について	92
(1)	子育てに関する情報の入手先	92

(2) 子育てに関する悩み事を相談する相手の有無	94
(3) 子育てに関する悩み事の相談先	95
(4) 子育てに関する悩み事を相談できなかったことの有無・理由	97
(5) 子育て支援や学習支援の利用状況・利用意向	98
(6) 必要としている支援・重要だと思う支援	105
(7) 必要な支援を受けられるようにするために重要なこと	107

第3章 調査票	109
----------------	------------

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

鎌倉市では、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち」の実現を目指し、子育て支援を推進している。子どもの貧困を含めた子育て世帯の生活状況やニーズなどを把握し、取り組むべき課題や施策の方向性等を分析するため、調査を行った。

2. 調査名・調査対象・調査方法

調査名：鎌倉市子育て世帯の生活に関するアンケート調査

調査対象：平成29年12月1日現在、本市に住民登録があり、平成29年4月1日時点の年齢が18歳未満のお子さん（平成29年4月1日以降に生まれた方も含む）がいる世帯

調査方法：郵送配布・回収

3. 調査期間・回収状況

調査期間：平成30年1月12日（金）～1月31日（水）

回収状況

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,530件	51.0%

4. 調査項目

調査項目
1. 家庭について 2. お子さんについて 3. 子育てについて 4. 暮らしの状況について 5. 保護者の状況について 6. 市の子育て支援等について

5. 所得水準の設定について

この調査では、厚生労働省が公表した平成28年国民生活基礎調査（平成27年データ）により算出された国の貧困線を参考に、調査で回答いただいた「世帯のおおよその可処分所得額（手取り収入）」の結果を所得区分1～3に分類し、分析を行っている。

あくまでも本市独自の基準による所得区分の分類の結果であり、国民生活基礎調査とは単純比較ができないことに注意が必要である。なお、基準は次の表のとおりとしている。

第1章 調査の概要

<国民生活基礎調査による方法>

- 所得額（万円単位で把握）、課税等の額（千円単位で把握）、並びに世帯人員数の情報から「等価可処分所得」を算出し、等価可処分所得の中央値の半分の額を貧困線として定める。（平成27年データによる国の貧困線は、122万円。2人世帯の場合は、173万円となる。）
- 「等価可処分所得」は、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整して算出している。

<本市の調査による方法>

- 「世帯のおおよその可処分所得額（手取り収入）」については、回答者の負担を軽減するため、設問（問35）において選択肢を設定し、回答を得ている。これを以下のとおり分類して、この調査における可処分所得額の分類をすることとした。

本市の調査票における可処分所得分類

世帯員 人数	国の貧困線の基準 (可処分所得) (平成27年所得)	可処分所得の水準					
		所得区分1		所得区分2		所得区分3	
1人	122万円未満	60万円未満	60万円～120万円未満	120万円～180万円未満	180万円～240万円未満	240万円～300万円未満	300万円以上
2人	173万円未満	85万円未満	85万円～175万円未満	175万円～260万円未満	260万円～345万円未満	345万円～430万円未満	430万円以上
3人	212万円未満	105万円未満	105万円～210万円未満	210万円～315万円未満	315万円～420万円未満	420万円～525万円未満	525万円以上
4人	245万円未満	120万円未満	120万円～245万円未満	245万円～365万円未満	365万円～485万円未満	485万円～605万円未満	605万円以上
5人	274万円未満	135万円未満	135万円～275万円未満	275万円～410万円未満	410万円～545万円未満	545万円～680万円未満	680万円以上
6人	300万円未満	150万円未満	150万円～300万円未満	300万円～450万円未満	450万円～600万円未満	600万円～750万円未満	750万円以上
7人	324万円未満	160万円未満	160万円～325万円未満	325万円～485万円未満	485万円～645万円未満	645万円～805万円未満	805万円以上
8人	346万円未満	175万円未満	175万円～345万円未満	345万円～520万円未満	520万円～695万円未満	695万円～870万円未満	870万円以上
9人以上	367万円未満	185万円未満	185万円～365万円未満	365万円～550万円未満	550万円～735万円未満	735万円～920万円未満	920万円以上

(参考)「所得区分1」(国の貧困線の基準を概ね下回る世帯)の割合

	本市調査からの 推計値
18歳未満の子どもがいる世帯のうち国の貧困線の基準を下回る世帯の割合	4.9%
18歳未満の子どもがいるひとり親家庭世帯のうち国の貧困線の基準を下回る世帯の割合	44.7%

※ここでは、調査の回答者の世帯のうち、前項の「本市の調査票における可処分所得分類」において「所得区分1」に属する世帯の割合を表している。「国民生活基礎調査」では、世帯に含まれるすべての子どものうち、貧困線以下の等価可処分所得水準で生活する子どもの割合を「子どもの貧困率」（平成27年データでは、13.9%）として算出しているが、本市の調査とは母集団、調査手法、調査項目、算出の手法の違いにより、単純に比較することはできないことに留意が必要である。

※世帯の可処分所得水準を問う問35については、無回答が4.0%であった。

6. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

7. 調査結果の概要

この調査では、子どもの貧困を含めた子育て世帯の生活状況やニーズなどを把握するための調査項目を設計した。調査の結果から経済的困難を抱える家庭やひとり親家庭等、特に課題を抱える家庭があることが分かったため、取り組むべき課題や支援のあり方を検討するために参考となる結果の概要をまとめる。

(1) 経済的困難を抱える家庭の状況

①家庭の状況について

この調査では世帯の昨年1年間のおおよその可処分所得について、選択肢を設け回答を得た。国民生活基礎調査により算出された国の貧困線を参考に、回答結果を所得区分1～3に分類し、分析を行った結果、「所得区分3」が67.8%で最も高く、「所得区分2」は23.3%、「所得区分1」は4.9%となっている。（問35）

「所得区分1」は国の貧困線（1人世帯122万円未満、2人世帯173万円未満等）を下回る水準と考えられることから、経済的困難を抱えている可能性がある家庭としてその生活実態やニーズを把握する必要がある。

「所得区分1」の家庭（75件）のうち、56.0%が「ひとり親家庭に該当する」と回答している。（問46）ひとり親になった理由としては、「離婚」が85.7%と他の所得区分に比べて高くなっている。（問46-2）

ひとり親家庭（94件）の内訳は、母子家庭89.4%（84件）、父子家庭7.4%（7件）、不明・その他3件（3.2%）となっている。

②保護者の就業・生活について

保護者の働き方について、「所得区分1」の家庭の父親は「正社員・正規職員」が19.6%と他の所得区分が8割前後であるのに比べて低く、「自営業・在宅ワーク」（26.8%）、「働いていない」（10.7%）などとなっている。母親は「パート・アルバイト」（36.0%）、「正社員・正規職員」（17.3%）、「自営業・在宅ワーク」（17.3%）、「働いていない」（17.3%）などとなっており、「正社員・正規職員」、「パート・アルバイト」の割合は他の所得区分と比べて大きな差はみられないが、「自営業・在宅ワーク」、「働いていない」の割合の高さに特徴がみられる。（問43）

「所得区分1」の家庭の住居は、「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」（28.0%）の割合が他の

第1章 調査の概要

所得区分に比べて低く、「持家（親族名義）」（30.7%）、「借家（マンションやアパートなど）」（37.3%）の割合が高くなっている。ひとり親家庭では、「借家（マンションやアパートなど）」（46.8%）の割合が特に高く、「持家（親族名義）」（28.7%）、「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」（21.3%）の順となっている。（問33）

暮らしの状況について、「所得区分1」の家庭では「大変苦しい生活状況にあると思う」が17.3%、「苦しい生活状況にあると思う」が16.0%などとなっている。ひとり親家庭でも、「大変苦しい生活状況にあると思う」が12.8%、「苦しい生活状況にあると思う」が18.1%と苦しい生活状況にある家庭が少なくない。（問41）

③教育等に関する経済的負担について

教育にかかる経費で負担に感じるものについて、「所得区分1」の家庭では「標準服（制服）・体操服」（29.8%）、修学旅行費（22.8%）、「クラブ活動費」（12.3%）などが他の所得区分に比べて高くなっており、学校生活に必要なものについても負担を感じている家庭があることが分かる。（問21）

子どもの教育に関する不安について、「所得区分1」の家庭では「勉強する習慣が身につけていない」（42.1%）、「同学年の子どもに比べて学力が低い」（24.6%）、「勉強を見てあげることができない」（19.3%）、「塾等に通わせたいがお金がない」（19.3%）などいずれの項目も他の所得区分に比べて高くなっており、学習・教育への不安が高いことがうかがえる。ひとり親家庭でも不安を感じる内容、割合ともに「所得区分1」の家庭と同様の傾向がみられる。（問24）

経済的な理由により子どもが進学を諦めたり、中退した経験については、すでに経験した世帯は少ないが、「所得区分1」の家庭では「これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う」（54.4%）が過半数と他の所得区分と比べても特に高くなっている。ひとり親家庭でも、「これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う」（50.6%）がほぼ半数となっている。（問25）

奨学金の利用について、所得区分で大きな差はみられず、「所得区分1」の家庭では「返済義務のない（借金にならない）奨学金であれば利用したい」（68.4%）、「返済義務のある奨学金（借金になる）であっても利用したい」（21.1%）、「奨学金は利用したくない」（7.0%）などとなっている。ひとり親家庭では、「返済義務のない（借金にならない）奨学金であれば利用したい」（71.8%）と利用意向が特に高くなっている。（問26）

（2）子どもの状況

①生活の基盤形成

食事の状況について、朝ごはん、夕ごはんを「毎日食べる」割合は、所得区分によって大きな差はみられないが、一緒に食べる人については、「所得区分1」の家庭では「ひとりで食べる」の割合が朝ごはん（22.9%）、夕ごはん（8.1%）ともに他の所得区分と比べて高くなっている。（問6）

入浴（シャワーのみの場合も含む）の状況も所得区分によって大きな差はみられない。（問9）

歯磨きの頻度について、「所得区分1」の家庭では「1日3回以上」（5.3%）が他の所得区分と比べてやや低く、「1日2回」（64.0%）、「毎日ほしくない」（8.0%）は高くなっている。（問10）

むし歯の状況については、所得区分によって大きな差はみられない。ひとり親家庭では、「むし歯がある（治療中を含む）」（13.8%）がやや高くなっている。（問11）

②学び・学習に関する現状・課題

子ども部屋、学習コーナーの有無について、「所得区分1」の家庭では「子ども部屋がある」(57.9%)は「所得区分3」より10ポイント以上低い「所得区分2」とは大きな差がなく、「独立した子ども部屋はないが、その子どもが使える学習コーナーがある」(28.1%)は他の所得区分と大きな差はみられない。一方、「子ども部屋も学習コーナーもない」(14.0%)は他の所得区分と比べて高くなっている。(問14)

平日の勉強時間について、「所得区分1」の家庭では「まったくしない」(15.8%)が他の所得区分と比べて高くなっている。(問15)

学校での学習の理解度について、「所得区分1」の家庭では『理解できていない』(17.6%)が他の所得区分と比べて高くなっている。(問16)

子どもが通塾を希望した場合の意向について、「所得区分1」の家庭では『学ばせたいと思う』(75.5%)は他の所得区分と比べて低く、『学ばせたいとは思わない』(19.3%)は高くなっている。その理由として、「料金が高いため」(63.6%)が最も高くなっている。(問17~17-1)

習い事をしていない理由については、「所得区分1」の家庭では「子どもがやりたがらないから」(31.8%)に続いて、「必要性を感じないから」、「経済的に余裕がないから」、「学校のクラブ活動が忙しいから」(22.7%)などが挙げられている。(問18~19)

③進学・自立に関する現状・課題

進学の希望について、「所得区分1」の家庭では「大学まで」(61.3%)以上の割合が他の所得区分と比べて低く、「高等学校まで」、「専門学校まで(高等学校後に進学するもの)」、「高等専門学校・短期大学まで」がやや高くなっている。(問22)

進学希望の理由について、「所得区分1」の家庭では「子どもがそう希望しているから」(24.0%)、「子どもの学力から考えて」(22.7%)、「家庭に経済的な余裕がないから」(12.0%)などが他の所得区分と比べて高くなっている。(問23)

(3) 経済的困難を抱える家庭や子どもの支援ニーズについて

①保護者の社会的孤立や不安について

子育てに関する悩み事を相談する相手について、「所得区分1」の家庭では「相談できる相手がいる」(72.0%)が7割以上であるものの、「相談相手がおらず、ほしい」(18.7%)が他の所得区分と比べて高くなっている。ひとり親家庭では、「相談相手がおらず、ほしい」(19.1%)が「所得区分1」の家庭と同様に2割近くとなっている。(問48)

子育てに関する悩み事を相談できなかつたことが「ない」割合は、「所得区分1」の家庭では45.3%と他の所得区分と比べて低く5割台の家庭が相談できなかつたことがあることになる。その理由として、「だれ(どこ)に相談すればよいのか分からなかつた」(24.0%)、「相談受付時間が限られており、時間内に行けなかつた」(10.7%)、「相談先への連絡方法や場所が分からなかつた」(6.7%)が挙げられている。ひとり親家庭でも「所得区分1」の家庭と同様の傾向がみられる。(問49)

②支援ニーズについて

子育てに関する情報の入手先について、「所得区分1」の家庭では他の所得区分と同様、「友人や同僚」、「広報かまくらなど」が上位に挙がっている。特徴的な結果としては、「自分の親」(38.7%)、

第1章 調査の概要

「きょうだいや親戚」(24.0%)のほか、「市役所など行政の窓口」(20.0%)が他の所得区分と比べて高くなっている。ひとり親家庭でも「所得区分1」の家庭と同様の傾向がみられる。(問47)

市の子育て支援等について、「所得区分1」の家庭では「利用している、利用したことがある」は、〈公的機関窓口(市役所、福祉事務所、児童相談所等)での相談〉(25.3%)のほか、手当等の利用経験が高くなっている。具体的には、〈児童扶養手当〉(58.7%)、〈特別児童扶養手当〉(12.0%)、〈小中学校の就学援助〉(52.0%)、〈高等学校等就学援助金(市の援助制度)〉(24.0%)、〈高等学校等就学支援金(授業料の補助制度)〉(25.3%)、〈保育園や幼稚園の利用料の減額や免除〉(38.7%)、〈住宅を探したり、住宅費を軽減される援助〉(16.0%)、〈生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート(就労相談、職業訓練のための給付金等)〉(10.7%)などとなっている。一方、〈無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援〉は「制度を知らない」(73.3%)が多く、必要な家庭への周知が課題となっていることが分かる。(問50)

必要としている支援・重要だと思う支援について、「所得区分1」の家庭では「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」(80.0%)が8割となっており、他の所得区分と比べても高くなっている。また、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」(29.3%)、「一時的に必要な資金を借りられること」(22.7%)、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」(22.7%)なども他の所得区分と比べて高くなっている。ひとり親家庭でも「所得区分1」の家庭と同様の傾向がみられる。(問51)

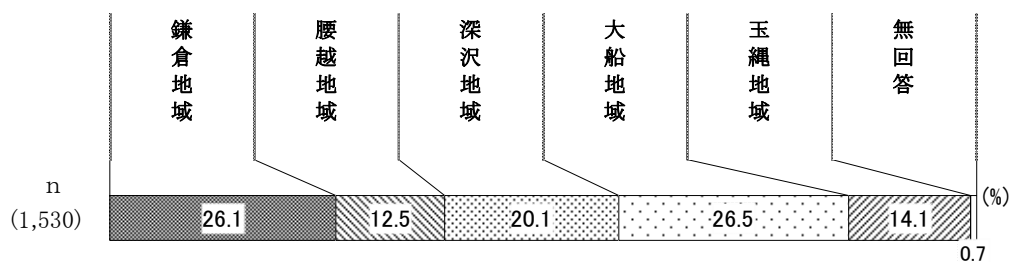
必要な支援を受けられるようにするために重要なことについて、「所得区分1」の家庭では他の所得区分と同様、「保育園、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」が上位に挙げられている。そのほか、「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」(45.3%)、「行政相談窓口の充実」(32.0%)などが他の所得区分と比べて高くなっている。ひとり親家庭でも「所得区分1」の家庭と同様の傾向がみられる。(問52)

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

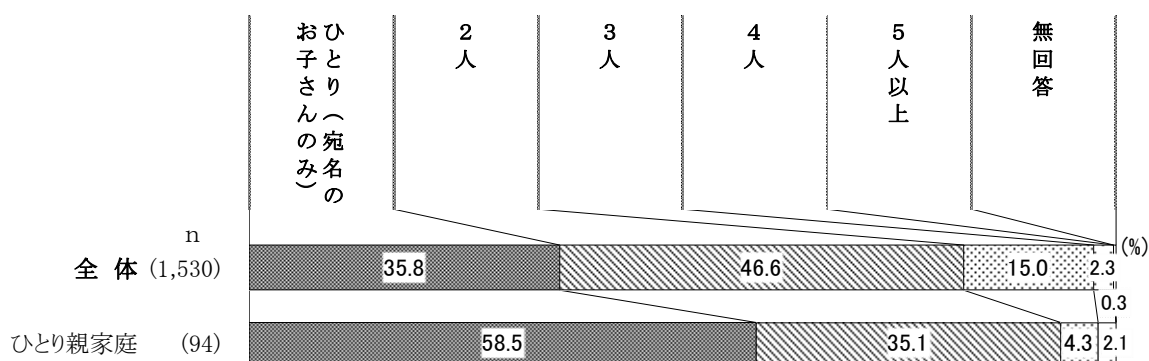
(1) 居住地域

問1 現在お住まいの地域はどちらですか。(1つに○)



(2) きょうだい数

問2 宛名のお子さんのきょうだい数を教えてください。(宛名のお子さんを含む)(1つに○)

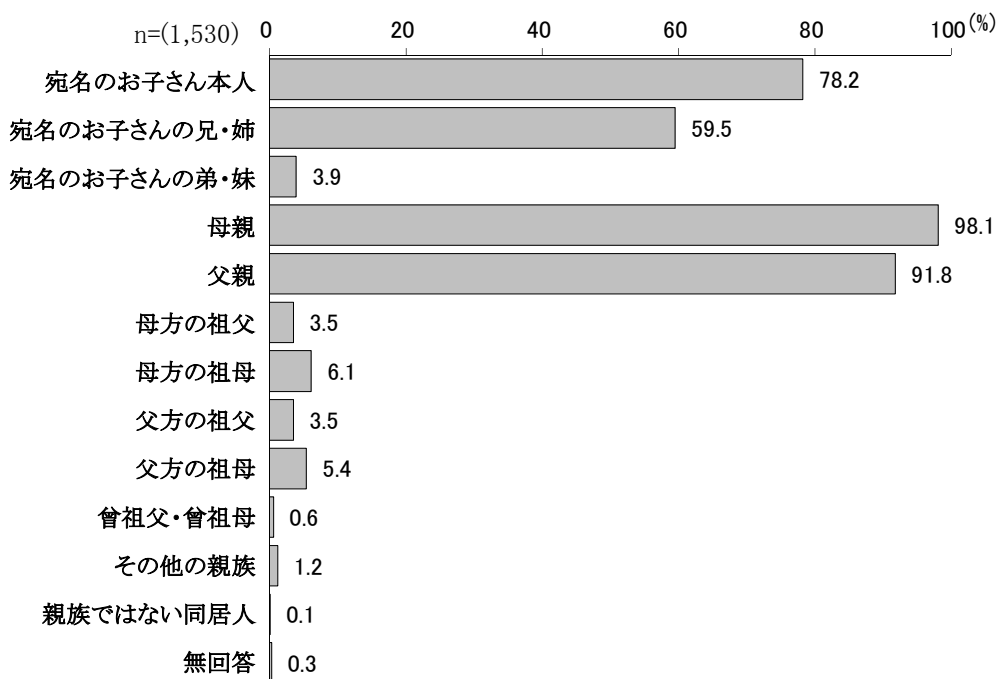


(3) 一緒に住んでいる人

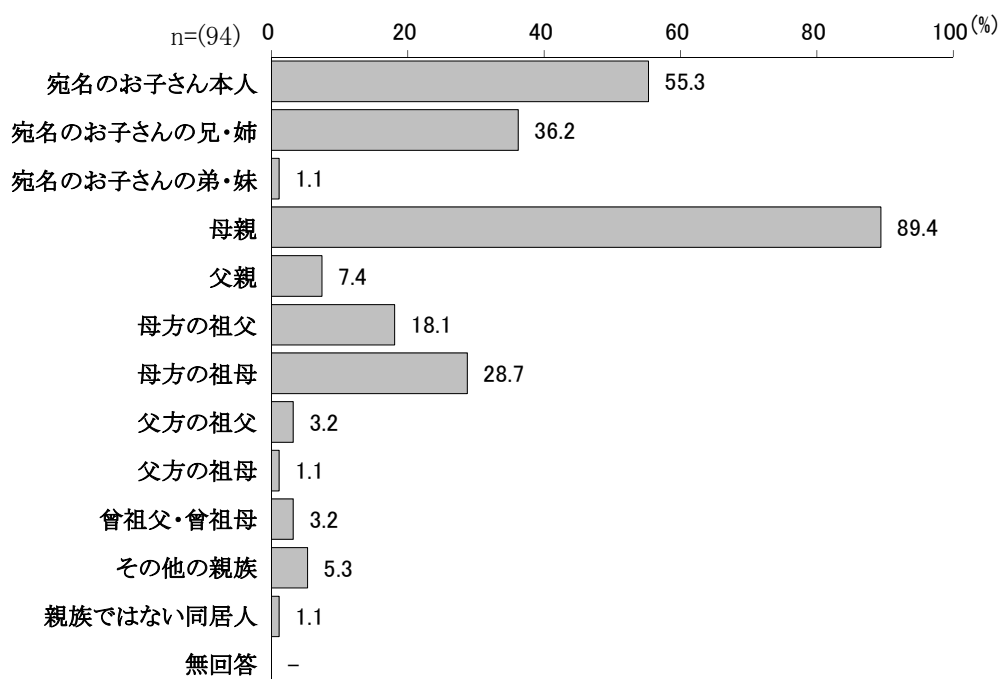
問3 ご家庭の状況について、教えてください。

問3-① 現在、宛名のお子さんと一緒に住んでいる方を教えてください。宛名のお子さん
からみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※単身赴任などで、一時的に自宅を離れている方も含めてください。

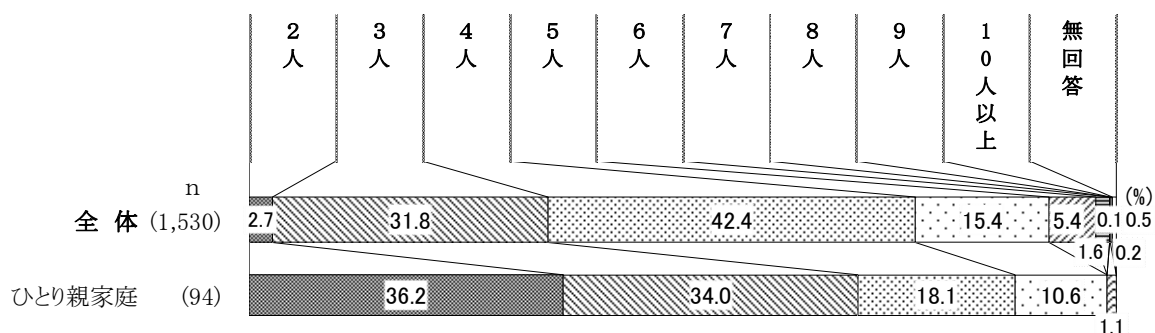


【ひとり親家庭】



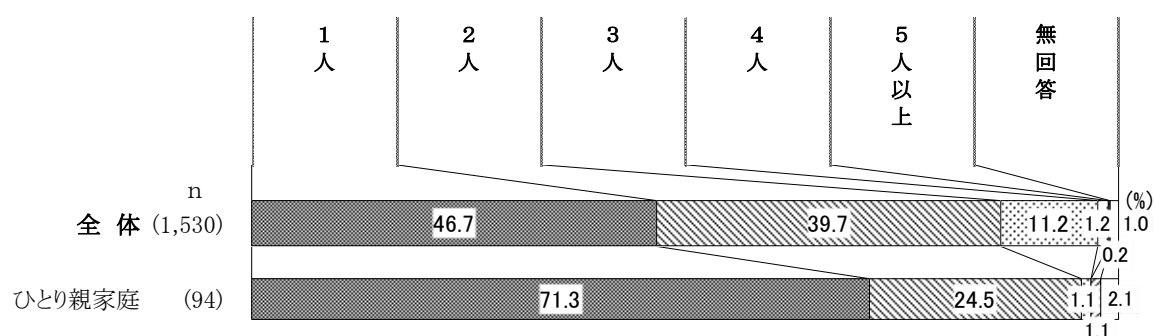
(4) 世帯人数

問3-② ①で回答された方々を合計すると何人ですか。あなたと宛名のお子さんも含めて、世帯員の人数に○をつけてください。(1つに○)



(5) 18歳未満の人数

問3-③ ①で回答された方々のうち、平成29年4月1日時点（平成29年4月1日以降に生まれた方も含む）で、18歳未満の方は何人ですか。宛名のお子さんも含めて、18歳未満の方の人数に○をつけてください。(1つに○)

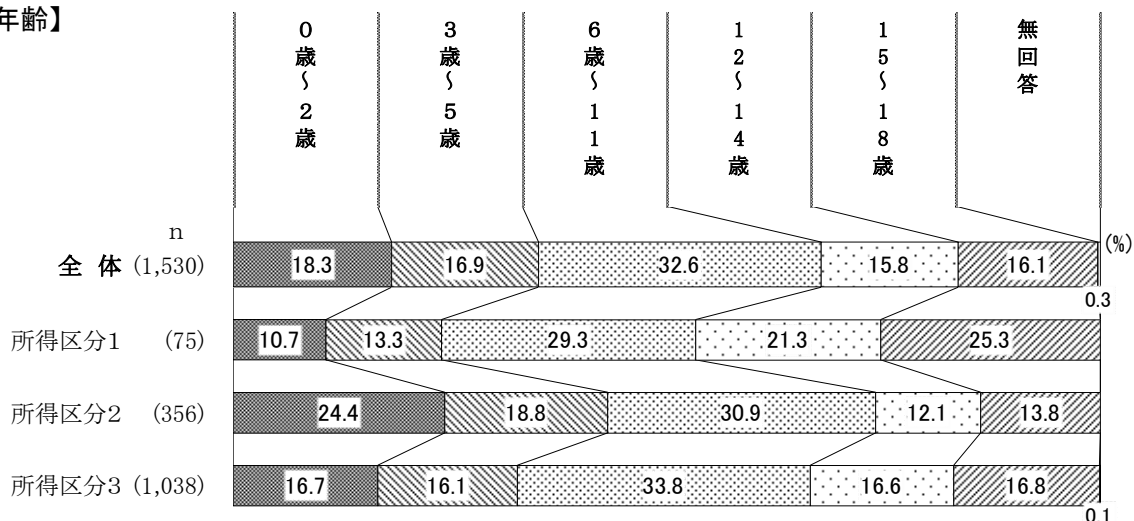


2. お子さんについて

(1) お子さんの年齢、通園・通学状況

問4 宛名のお子さんは次のうちどれにあたりますか。(それぞれ1つに○)

【年齢】

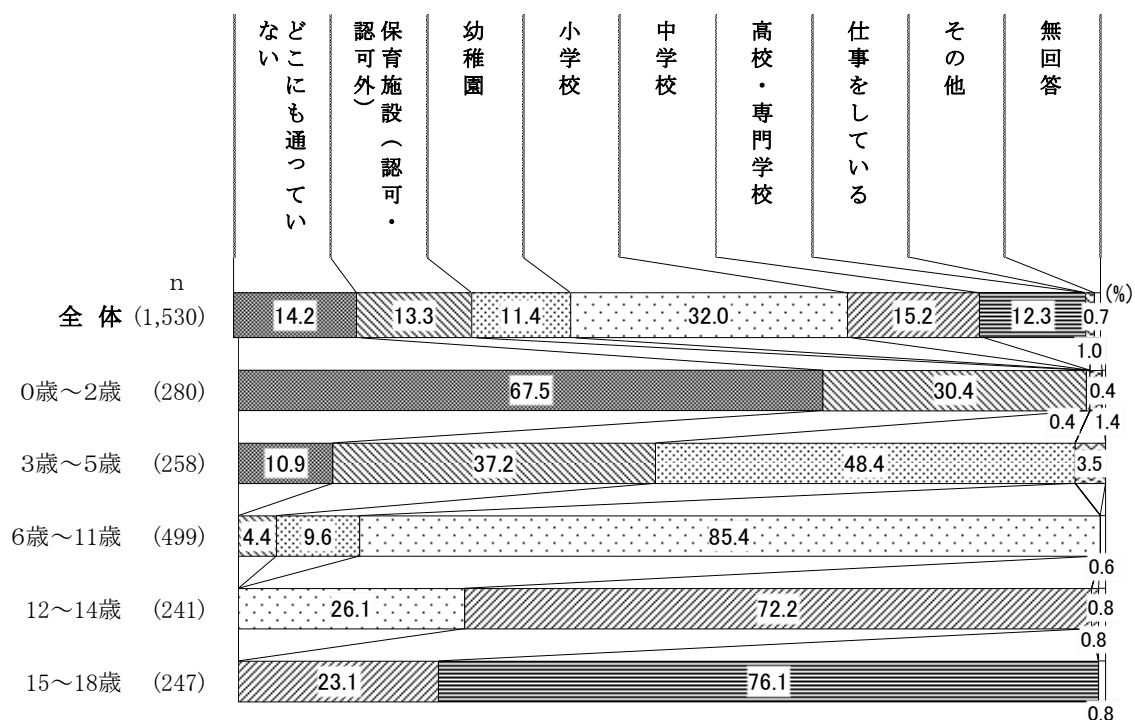


	n	0歳～2歳	3歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～18歳	無回答
全体	1,530	18.3	16.9	32.6	15.8	16.1	0.3
所得区分1	75	10.7	13.3	29.3	21.3	25.3	-
所得区分2	356	24.4	18.8	30.9	12.1	13.8	-
所得区分3	1,038	16.7	16.1	33.8	16.6	16.8	0.1

宛名の子どもの年齢は全体では「6歳～11歳」が32.6%で最も高くなっている。

所得区分別にみると、すべての所得区分で「6歳～11歳」が最も高く、所得区分3では33.8%となっている。「0歳～2歳」は所得区分2で24.4%と最も高く、「15～18歳」は所得区分1で25.3%と最も高くなっている。

【通園・通学先など】



	n	どこにも通っていない	可保育施設（認可・認可外）	幼稚園	小学校	中学校	高校・専門学校	仕事をしている	その他	無回答
全体	1,530	14.2	13.3	11.4	32.0	15.2	12.3	-	1.0	0.7
0歳～2歳	280	67.5	30.4	0.4	-	-	-	-	1.4	0.4
3歳～5歳	258	10.9	37.2	48.4	-	-	-	-	3.5	-
6歳～11歳	499	-	4.4	9.6	85.4	-	-	-	-	0.6
12～14歳	241	-	-	-	26.1	72.2	-	-	0.8	0.8
15～18歳	247	-	-	-	-	23.1	76.1	-	-	0.8

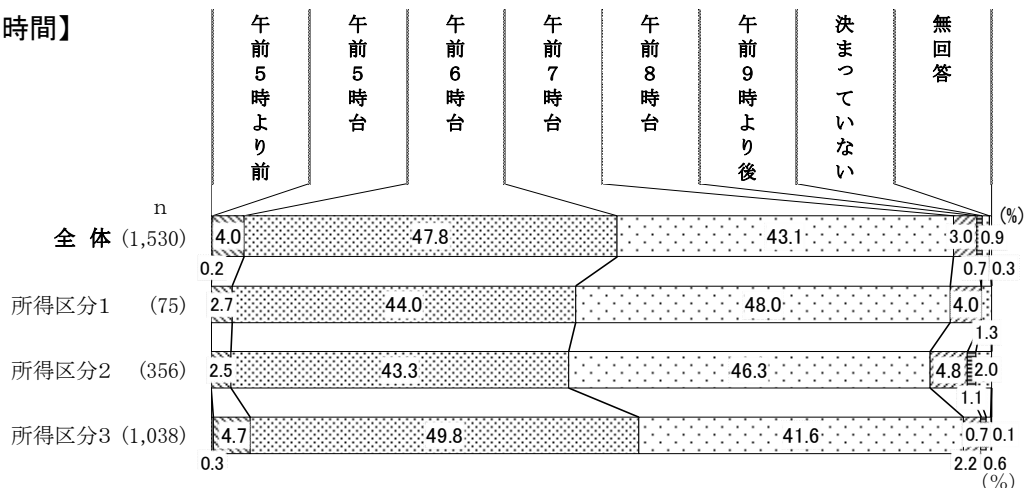
宛名の子どもの通園・通学先をみると、全体では「小学校」が32.0%で最も高くなっている。

0歳～2歳は「どこにも通っていない」が67.5%で高く、3歳～5歳は「幼稚園」が48.4%、「保育施設（認可・認可外）」が37.2%となっている。

(2) 起床就寝時間

問5 宛名のお子さんのふだん（月曜日～金曜日）の起床時間、就寝時間を教えてください。（それぞれ1つに○）

【起床時間】

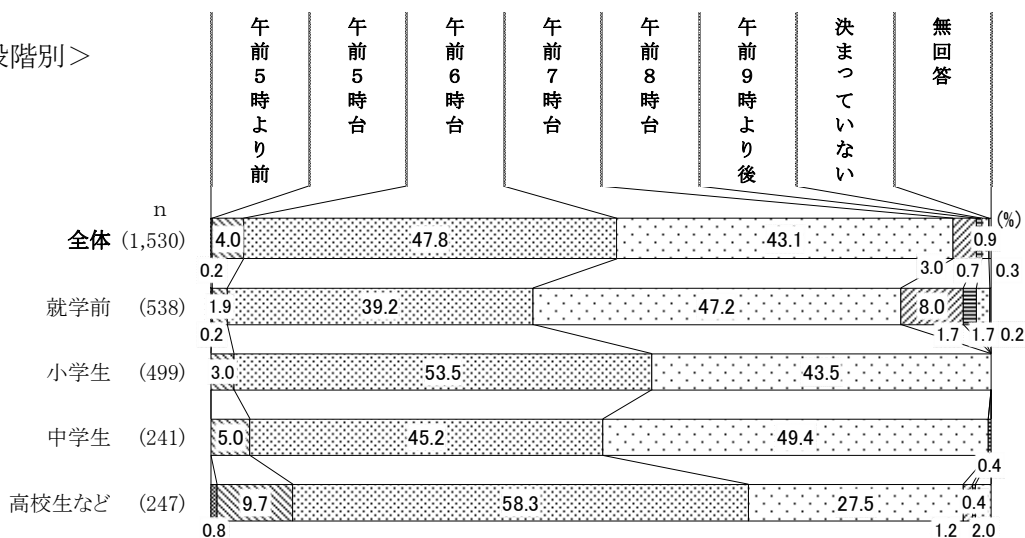


	n	午前5時より前	午前5時台	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時より後	決まっていない	無回答
全体	1,530	0.2	4.0	47.8	43.1	3.0	0.7	0.9	0.3
所得区分1	75	-	2.7	44.0	48.0	4.0	-	1.3	-
所得区分2	356	-	2.5	43.3	46.3	4.8	1.1	2.0	-
所得区分3	1,038	0.3	4.7	49.8	41.6	2.2	0.7	0.6	0.1

宛名の子どものふだん（月曜日～金曜日）の起床時間は、全体では「午前6時台」が47.8%、次いで「午前7時台」が43.1%となっている。

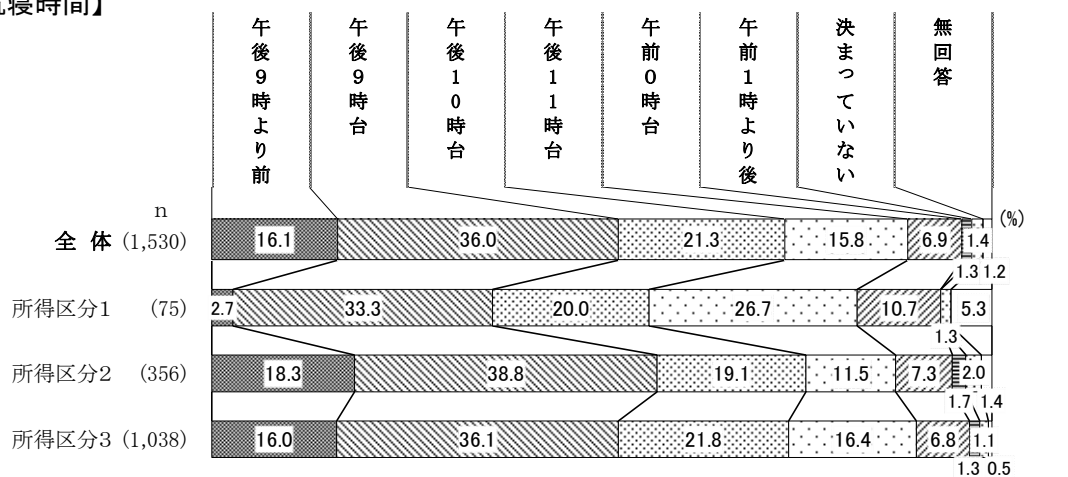
所得区分別にみると、所得区分3で「午前6時台」が49.8%と最も高く、所得区分1で「午前7時台」が48.0%と高くなっている。

<学校段階別>



学校段階別にみると、高校生などで「午前6時台」が58.3%と最も高く、中学生で「午前7時台」が49.4%と高く、小学生は「午前6時台」が53.5%、就学前は「午前7時台」が47.2%と高くなっている。

【就寝時間】

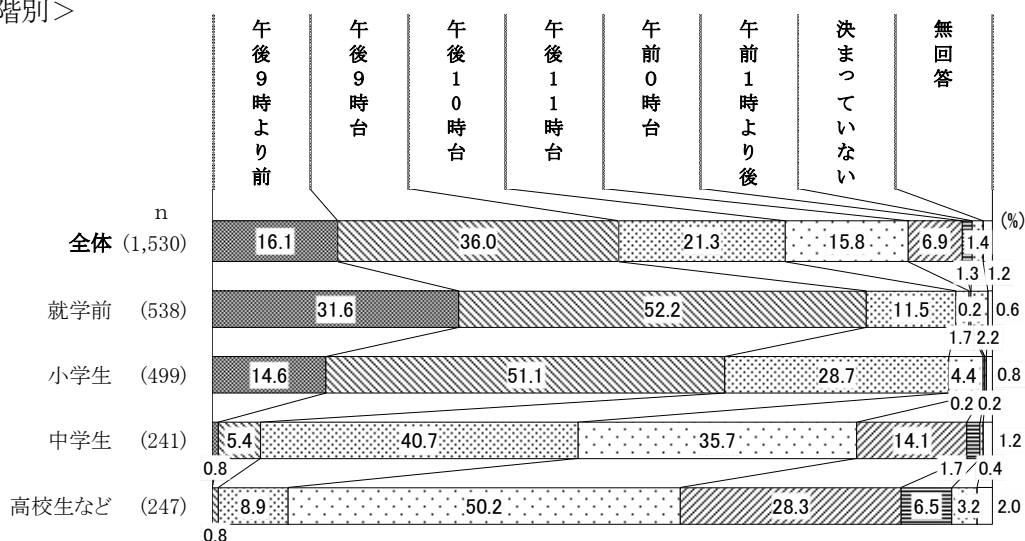


	n	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	決まっていない	無回答
全体	1,530	16.1	36.0	21.3	15.8	6.9	1.3	1.4	1.2
所得区分1	75	2.7	33.3	20.0	26.7	10.7	-	1.3	5.3
所得区分2	356	18.3	38.8	19.1	11.5	7.3	1.7	2.0	1.4
所得区分3	1,038	16.0	36.1	21.8	16.4	6.8	1.3	1.1	0.5

宛名の子どものふだん（月曜日～金曜日）の就寝時間は、全体では「午後9時台」が36.0%で最も高くなっている。

所得区分別にみると、所得区分1で「午後9時より前」は2.7%と最も低くなっている。「午後9時台」は所得区分2で38.8%と最も高く、「午後10時台」は所得区分による大きな差はない。「午後11時台」は所得区分1で26.7%と最も高くなっている。

<学校段階別>

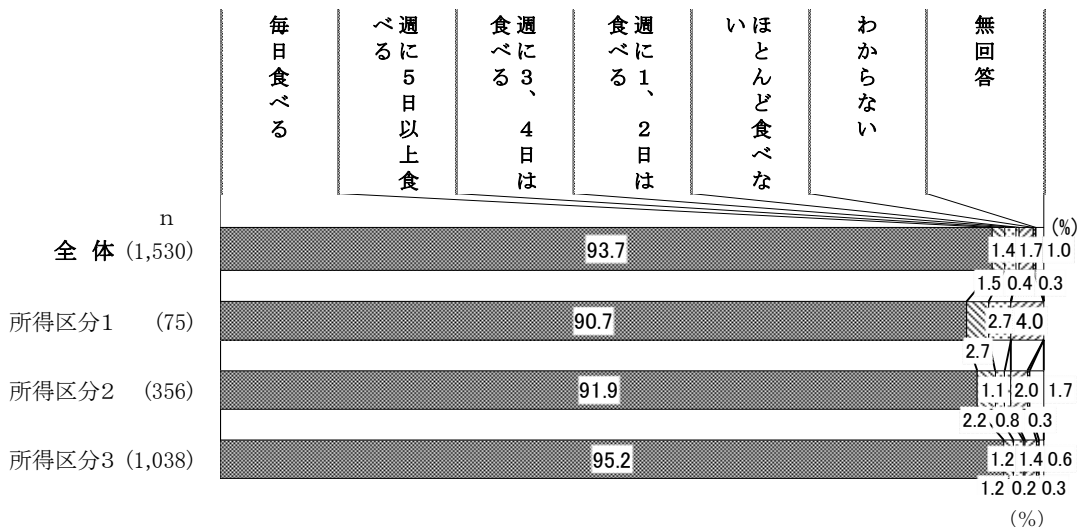


学校段階別にみると、就学前は「午後9時台」が52.2%で高く、小学生も「午後9時台」が51.1%と高くなっている。中学生は「午後10時台」が40.7%、高校生などで「午後11時台」が50.2%と高く、年齢が上がるほど就寝時間が遅くなる傾向がある。

(3) 朝ごはんを食べる頻度

問6 宛名のお子さんは、毎日朝ごはん、夕ごはんを食べますか。(それぞれ1つに○)

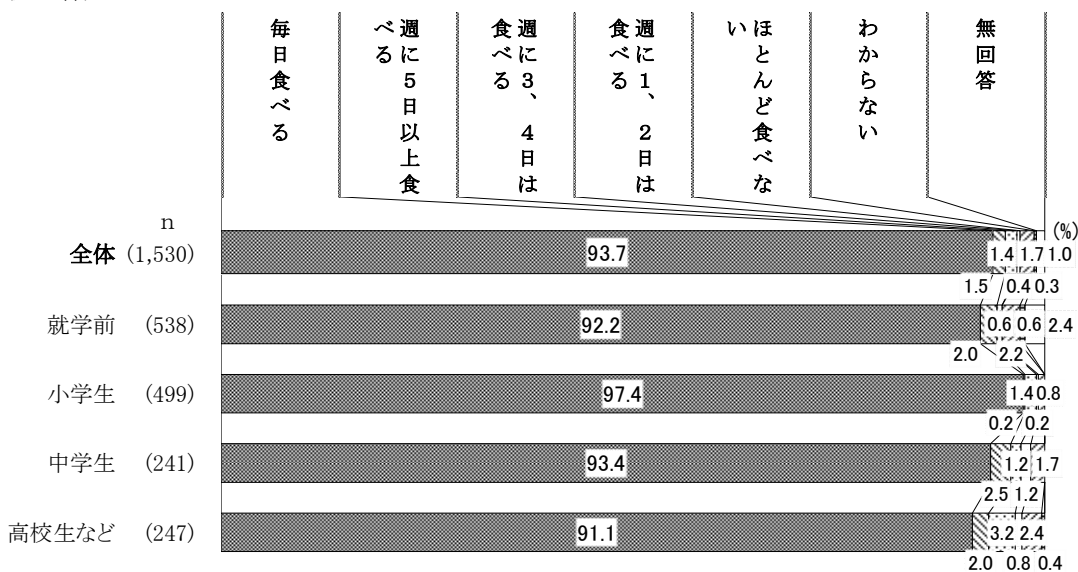
①朝ごはん



	n	毎日食べる	週に5日以上食べる	週に3、4日は食べる	週に1、2日は食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全体	1,530	93.7	1.5	1.4	0.4	1.7	0.3	1.0
所得区分1	75	90.7	2.7	2.7	-	4.0	-	-
所得区分2	356	91.9	2.2	1.1	0.8	2.0	0.3	1.7
所得区分3	1,038	95.2	1.2	1.2	0.2	1.4	0.3	0.6

宛名の子どもの朝ごはんを食べる頻度は、全体では「毎日食べる」は93.7%と高く、所得区分別では大きな差はみられない。

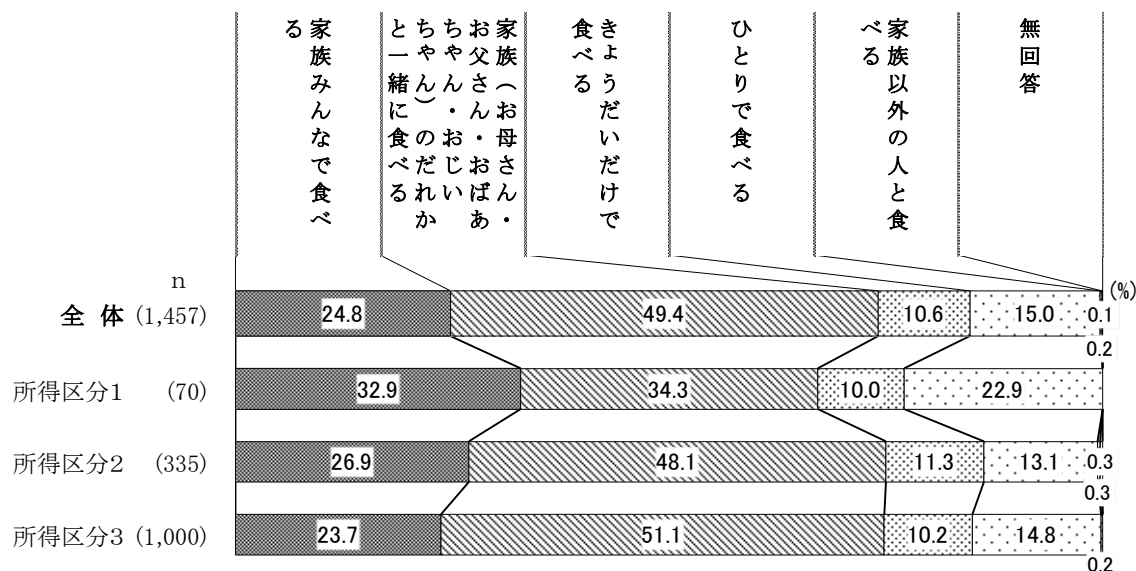
<学校段階別>



学校段階別では、「毎日食べる」が小学生で97.4%と最も高くなっている。

(4) 朝ごはんを一緒に食べる人

「1. 毎日食べる」「2. 週に5日以上食べる」に○をつけた人に質問です。
 問6-①-1 朝ごはんは、ふだんだれと食べていますか。(もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。)



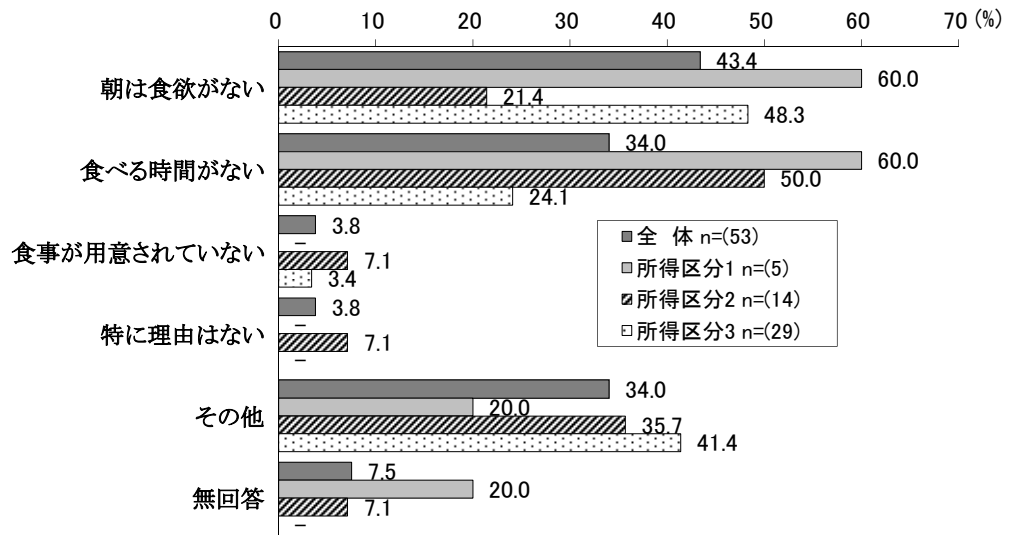
宛名の子どもが朝ごはんを一緒に食べる人は、全体では「家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる」が49.4%と高く、次いで「家族みんなで食べる」が24.8%となっている。

所得区分別にみると、「家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる」は所得区分3で51.1%と高く、「家族みんなで食べる」は所得区分1で32.9%と高い。また、「ひとりで食べる」は所得区分1で22.9%と高くなっている。

(5) 朝ごはんを食べない理由

「3. 週に3、4日は食べる」「4. 週に1、2日は食べる」「5. ほとんど食べない」に○をつけた人に質問です。

問6-①-2 食べない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



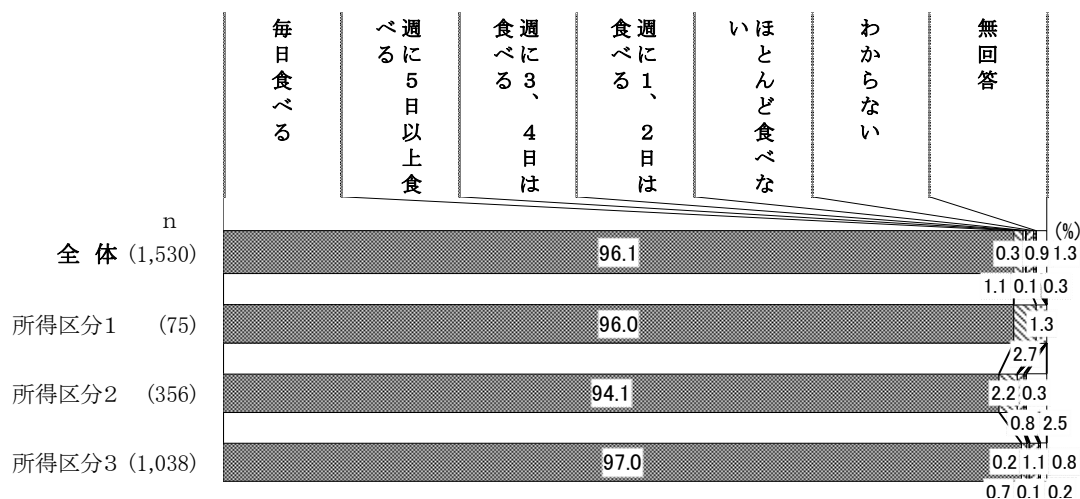
宛名の子どもは毎日朝ごはんを食べないと回答した人の理由は、全体では「朝は食欲がない」が43.4%で最も高く、次いで「食べる時間がない」34.0%となっている。

所得区分別はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(6) タごはんを食べる頻度

問6 宛名のお子さんは、毎日朝ごはん、夕ごはんを食べますか。(それぞれ1つに○)

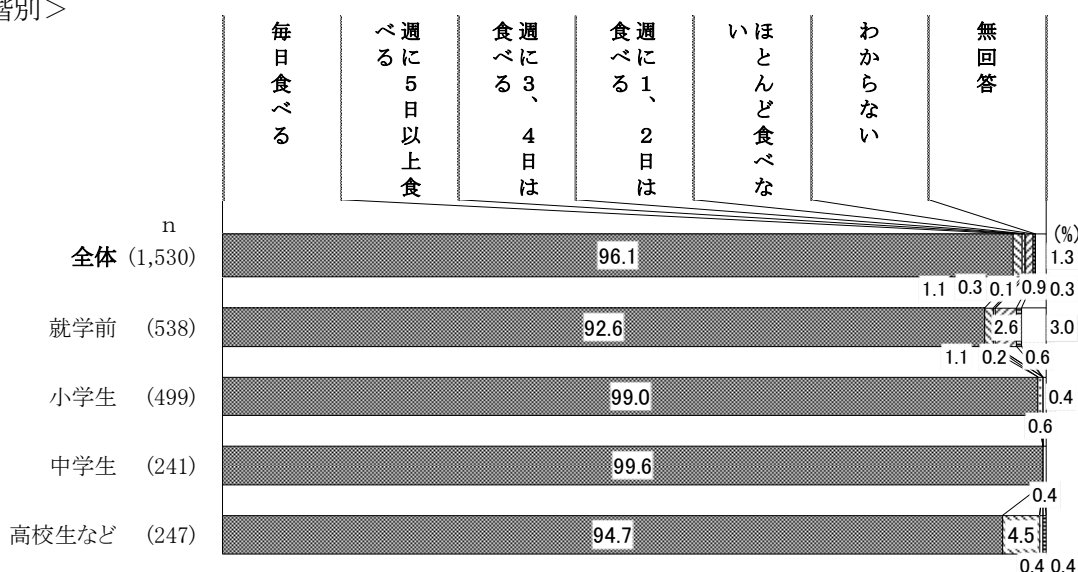
②夕ごはん



	n	毎日食べる	週に5日以上食べる	週に3、4日食べる	週に1、2日食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全体	1,530	96.1	1.1	0.3	0.1	0.9	0.3	1.3
所得区分1	75	96.0	2.7	1.3	-	-	-	-
所得区分2	356	94.1	2.2	-	-	0.8	0.3	2.5
所得区分3	1,038	97.0	0.7	0.2	0.1	1.1	0.2	0.8

宛名の子どもの夕ごはんを食べる頻度は、全体では「毎日食べる」は96.1%と高く、所得区分別では大きな差はみられない。

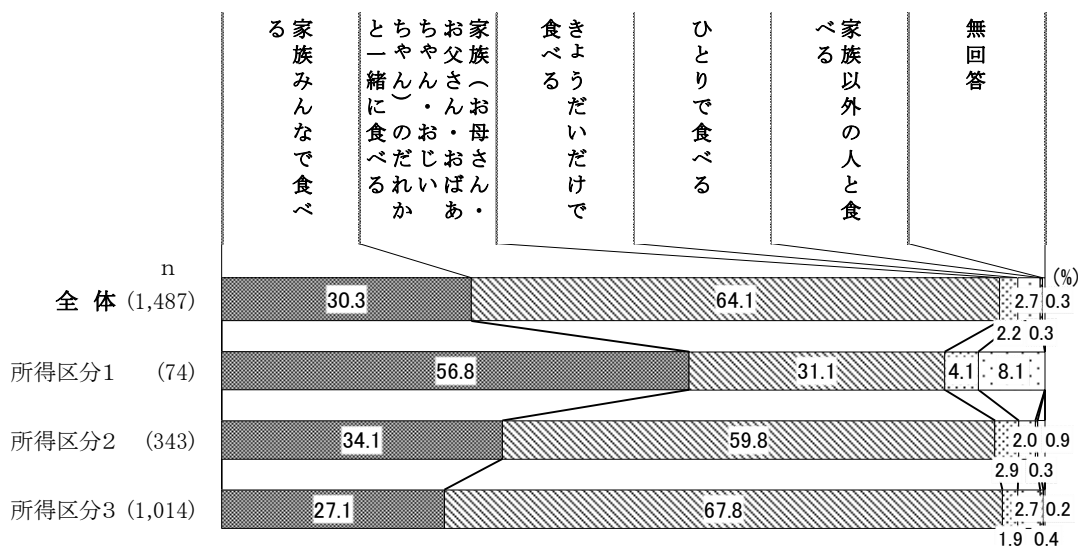
<学校段階別>



学校段階別に見ると、小学生・中学生では「毎日食べる」が99%台と高くなっている。

(7) タごはんを一緒に食べる人

「1. 毎日食べる」「2. 週に5日以上食べる」に○をつけた人に質問です。
 問6-②-1 タごはんは、ふだんだれと食べていますか。(もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。)

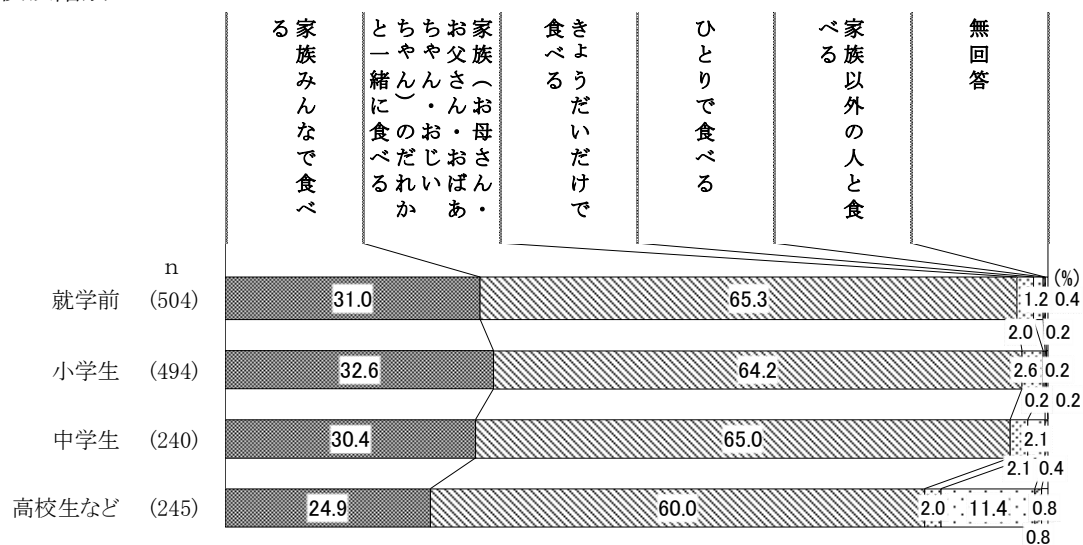


	n	家族みんなで食べる (%)	家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる (%)	きょうだいで食べる (%)	ひとりで食べる (%)	家族以外の人と食べる (%)	無回答 (%)
全体	1,487	30.3	64.1	2.2	2.7	0.3	0.3
所得区分1	74	56.8	31.1	4.1	8.1	-	-
所得区分2	343	34.1	59.8	2.9	2.0	0.3	0.9
所得区分3	1,014	27.1	67.8	1.9	2.7	0.4	0.2

宛名の子どもがタごはんを一緒に食べる人は、全体では「家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる」が64.1%と高く、次いで「家族みんなで食べる」が30.3%となっている。

所得区分別では、「家族みんなで食べる」は、所得区分1で56.8%と高く、「家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる」は所得区分3で67.8%と高くなっている。また、「ひとりで食べる」は所得区分1でやや高くなっている。

<学校段階別>

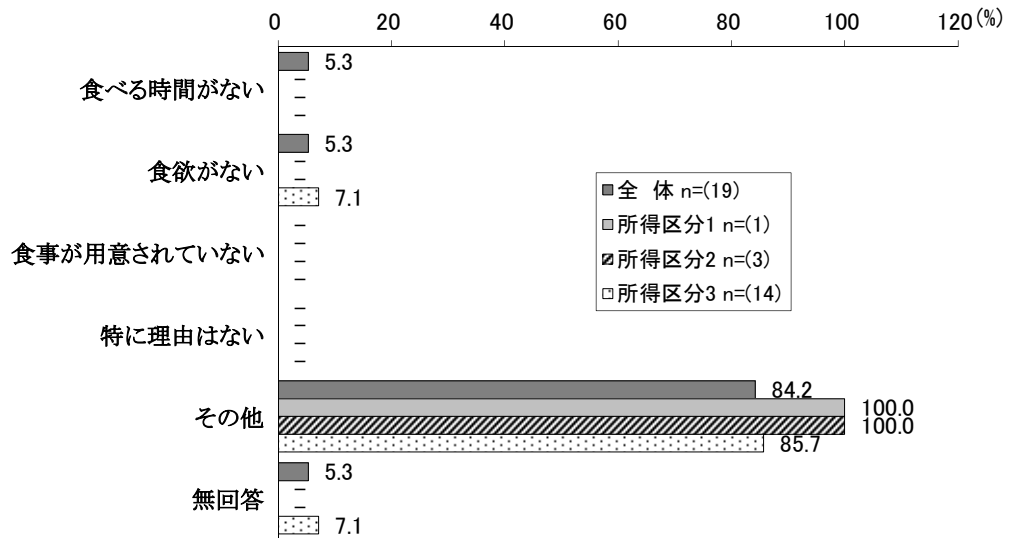


学校段階別では、「家族みんなで食べる」は大きな差はない。「家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる」は中学生65.0%、小学生64.2%で高校生などより高くなっている。「ひとりで食べる」は高校生などで11.4%となっている。

(8) タごはんを食べない理由

「3. 週に3、4日は食べる」「4. 週に1、2日は食べる」「5. ほとんど食べない」に○をつけた人に質問です。

問6-②-2 食べない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

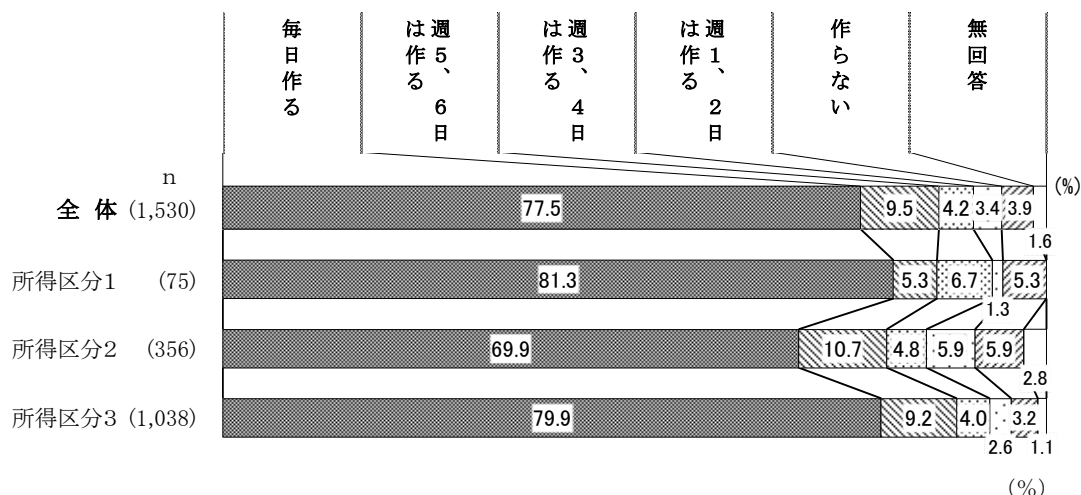


宛名の子どもは毎日たごはんを食べないと回答した人の理由は、全体、所得区分別ともサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(9) 手作りの食事を食べさせる頻度

問7 宛名のお子さんに、1週間に手作りの食事をどれくらい食べさせていますか。(それぞれ1つに○)

【朝ごはん】

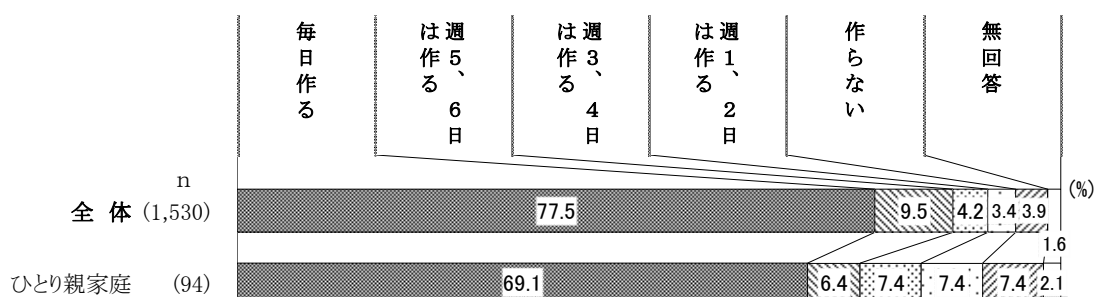


	n	毎日作る	週5、6日は作る	週3、4日は作る	週1、2日は作る	作らない	無回答
全体	1,530	77.5	9.5	4.2	3.4	3.9	1.6
所得区分1	75	81.3	5.3	6.7	1.3	5.3	-
所得区分2	356	69.9	10.7	4.8	5.9	5.9	2.8
所得区分3	1,038	79.9	9.2	4.0	2.6	3.2	1.1

宛名の子どもに1週間に手作りの朝ごはんをどれくらい食べさせているかについては、全体では「毎日作る」が77.5%で最も高く、次いで「週5、6日は作る」が9.5%となっている。

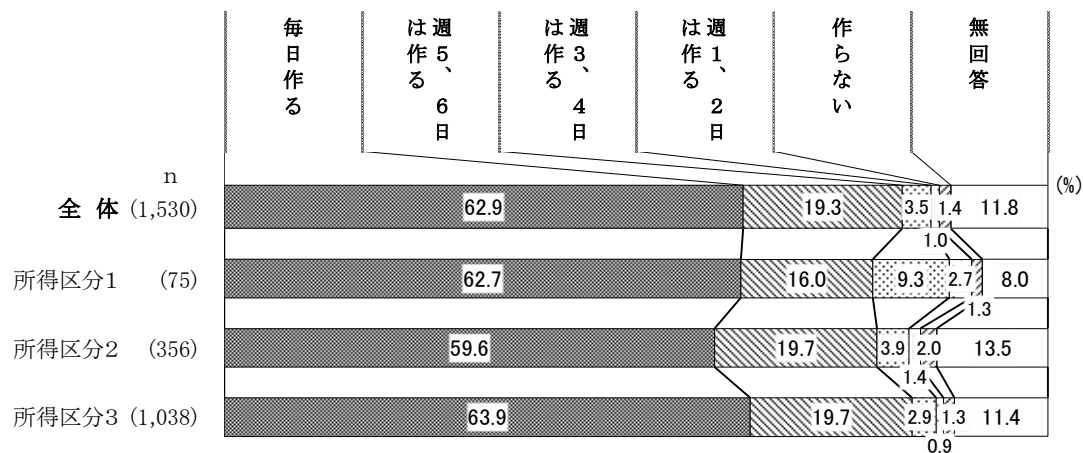
所得区分別では、「毎日作る」は所得区分1で81.3%、所得区分3で79.9%と高く、「週5、6日は作る」は所得区分2で10.7%、所得区分3で9.2%と高くなっている。

【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「毎日作る」は69.1%で全体より低くなっている。

【夕ごはん】



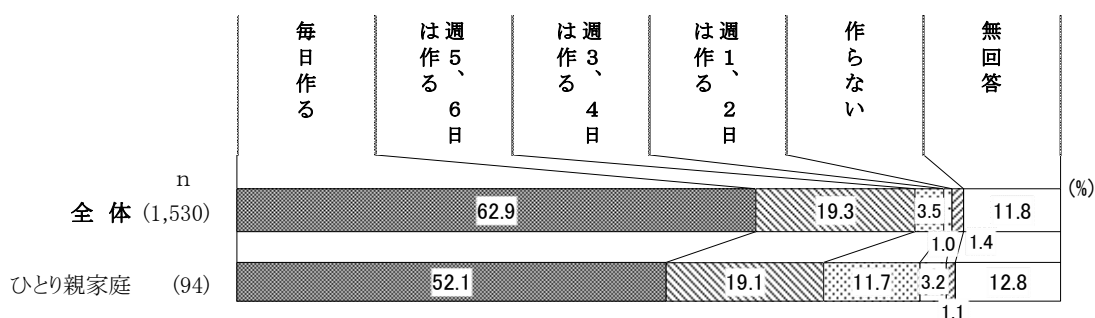
	n	毎日作る	週5、6日は作る	週3、4日は作る	週1、2日は作る	作らない	無回答
全体	1,530	62.9	19.3	3.5	1.0	1.4	11.8
所得区分1	75	62.7	16.0	9.3	2.7	1.3	8.0
所得区分2	356	59.6	19.7	3.9	1.4	2.0	13.5
所得区分3	1,038	63.9	19.7	2.9	0.9	1.3	11.4

宛名の子どもに1週間に手作りの夕ごはんをどれくらい食べさせているかについては、全体では「毎日作る」が62.9%で最も高く、次いで「週5、6日は作る」が19.3%となっている。

所得区分別では、「毎日作る」は所得区分3で63.9%、所得区分1で62.7%と高く、「週5、6日は作る」は所得区分2と所得区分3で19.7%と高くなっている。

朝ごはん和夕ごはんを比べると、「毎日作る」割合は全体、すべての所得区分で朝ごはんの方が高くなっている。

【ひとり親家庭】

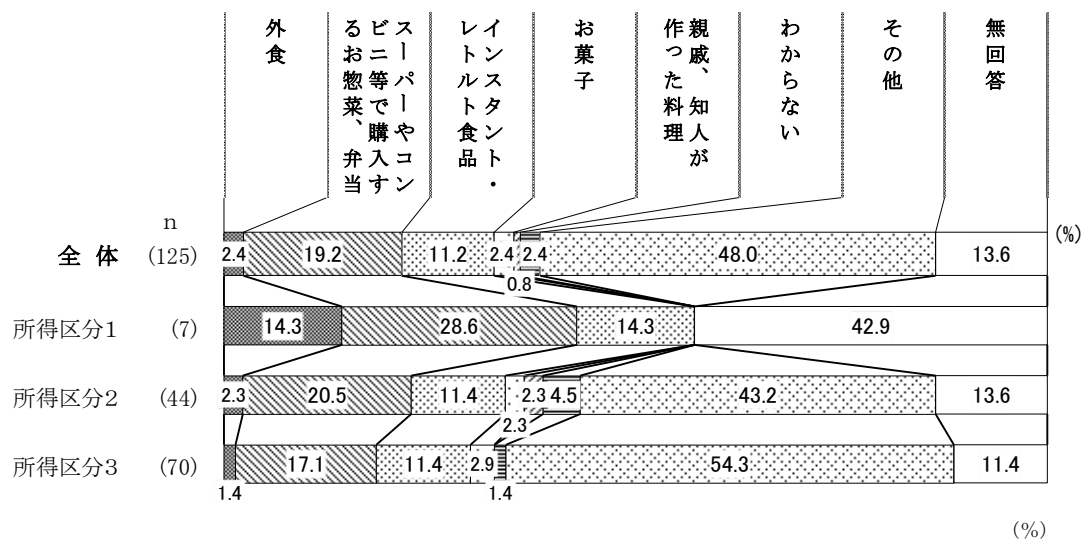


ひとり親家庭では、「毎日作る」は52.1%で全体より10.8ポイント低く、週5日以上割合は、全体で82.2%、ひとり親家庭では71.2%となっている。

(10) 手作り以外で最も多いもの(手作りの食事を食べさせる頻度が低い家庭)

問7で「4. 週1、2日は作る」「5. 作らない」と答えた方にうかがいます。

問8 宛名のお子さんの食事で、最も多いものをお答えください。(1つに○)



	n	外食	スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当	インスタント・レトルト食品	お菓子	親戚、知人が作った料理	わからない	その他	無回答
全体	125	2.4	19.2	11.2	2.4	0.8	2.4	48.0	13.6
所得区分1	7	14.3	28.6	14.3	-	-	-	-	42.9
所得区分2	44	2.3	20.5	11.4	2.3	2.3	4.5	43.2	13.6
所得区分3	70	1.4	17.1	11.4	2.9	-	1.4	54.3	11.4

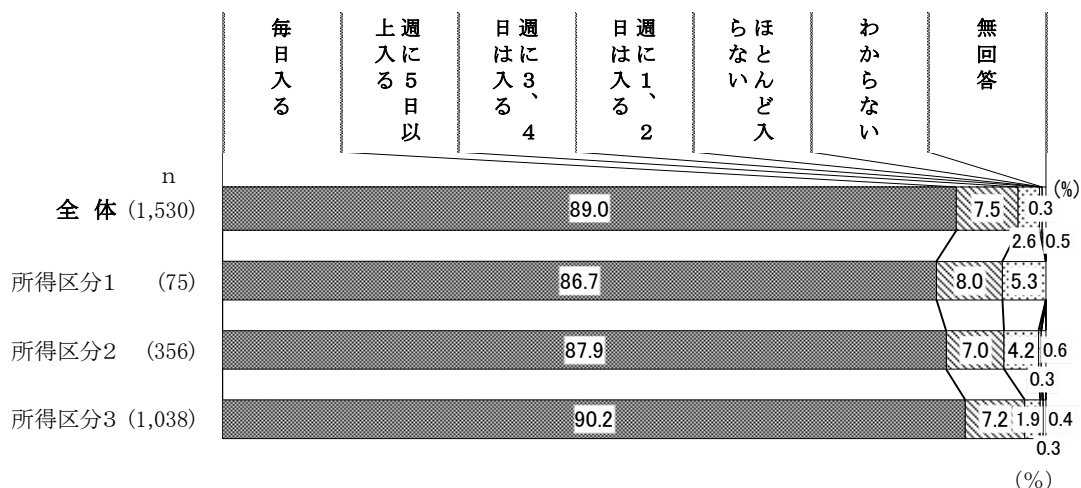
宛名の子どもに朝ごはんまたは夕ごはんを「週1、2日は作る」、「作らない」と答えた方の子どもの食事で最も多いものは、全体では「スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当」が19.2%で高く、次いで「インスタント・レトルト食品」が11.2%となっている。

所得区分別では、「スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当」は所得区分2で20.5%と高くなっている。

所得区分別はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(11) 入浴の状況

問9 宛名のお子さんは、毎日お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入っていますか。（1つに○）

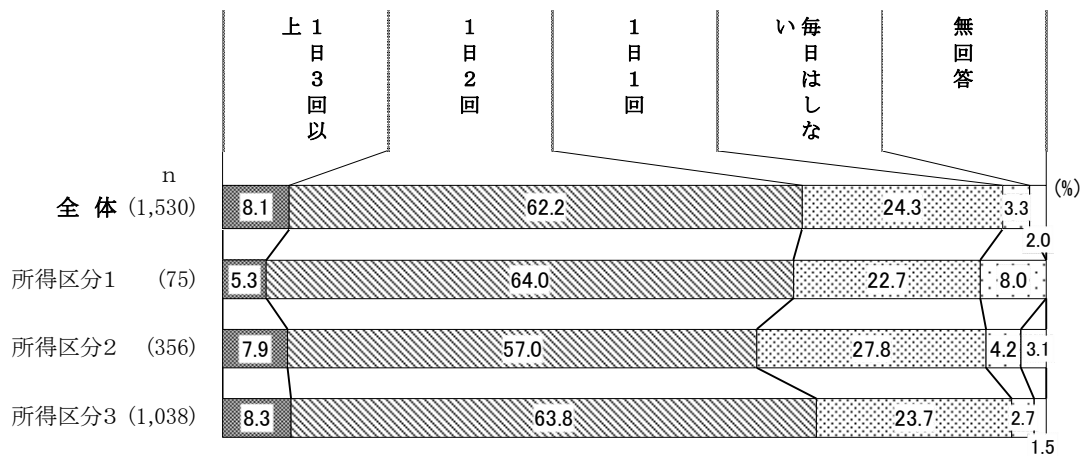


	n	毎日入る	週に5日以上入る	週に3、4日は入る	週に1、2日は入る	ほとんど入らない	わからない	無回答
全体	1,530	89.0	7.5	2.6	0.3	-	-	0.5
所得区分1	75	86.7	8.0	5.3	-	-	-	-
所得区分2	356	87.9	7.0	4.2	0.3	-	-	0.6
所得区分3	1,038	90.2	7.2	1.9	0.3	-	-	0.4

宛名の子どもは、毎日お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入っているかについては、全体では「毎日入る」は89.0%と高くなっている。
所得区分別では大きな差はみられない。

(12) 歯磨きの頻度

問10 宛名のお子さんは、毎日どのくらい、歯磨きをしますか。(1つに○)

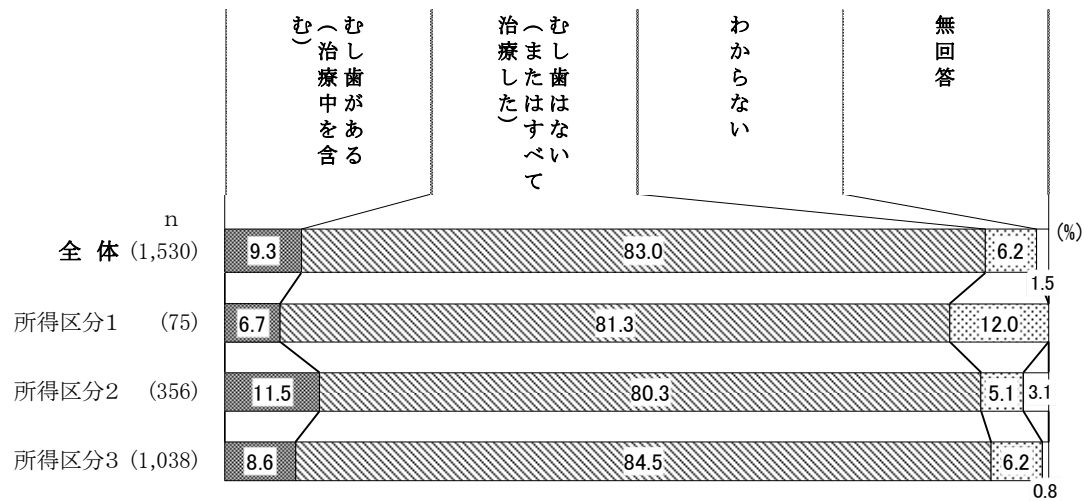


宛名の子どもは、毎日どのくらい、歯磨きをするかについては、全体では「1日2回」が62.2%で最も高く、次いで「1日1回」が24.3%となっている。

所得区分別では、「1日1回」が所得区分2で27.8%と高くなっている。

(13) う歯の状況

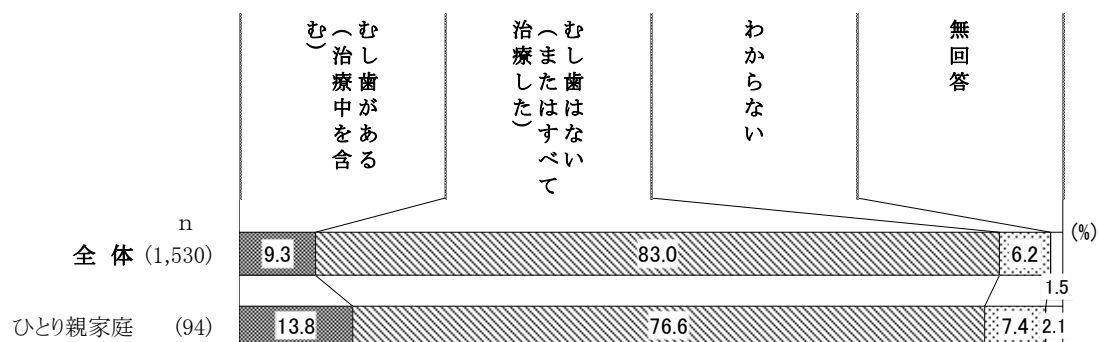
問11 宛名のお子さんはいま、むし歯はありますか。(1つに○)



宛名の子どものむし歯の状況は、全体では「むし歯はない (またはすべて治療した)」が83.0%で最も高く、「むし歯がある (治療中を含む)」9.3%となっている。

所得区分別では、「むし歯はない (またはすべて治療した)」は大きな差はないが、「むし歯がある (治療中を含む)」は所得区分2で11.5%、「わからない」は所得区分1で12.0%と他の所得区分に比べて高くなっている。

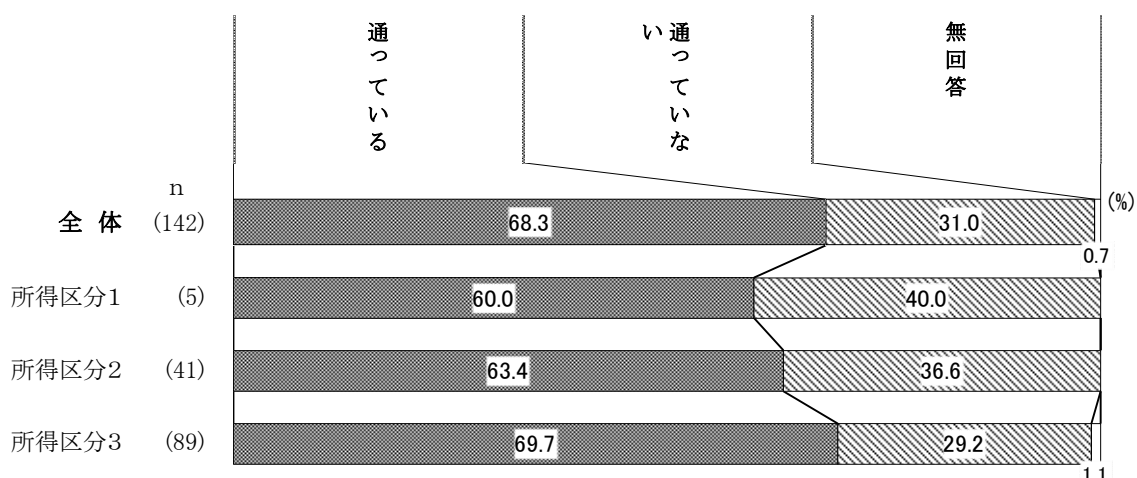
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「むし歯はない (またはすべて治療した)」は76.6%で全体より6.4%低く、「むし歯がある (治療中を含む)」は13.8%となっている。

(14) 治療のための歯科通院の状況

問11-1 いま、むし歯がある方で、むし歯の治療のために歯医者に通っていますか。

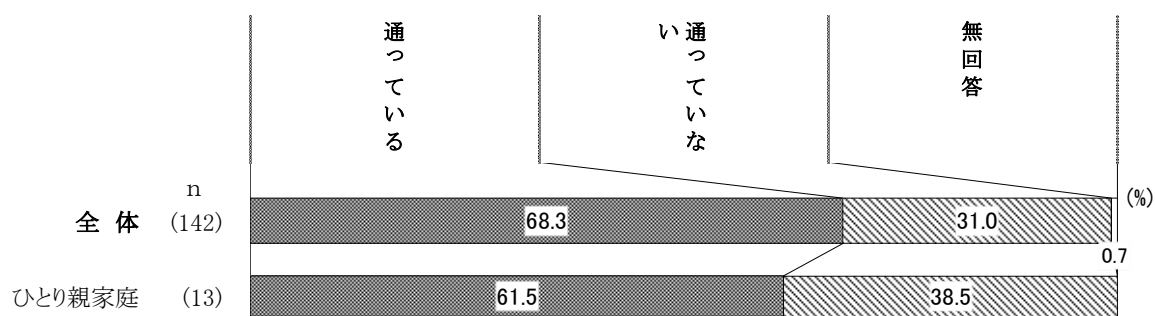


いま、むし歯がある子どもがむし歯の治療のために歯医者に通っているかについては、全体では「通っている」が68.3%、「通っていない」は31.0%となっている。

所得区分別では、「通っている」は所得区分3で69.7%と高くなっている。

所得区分1はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

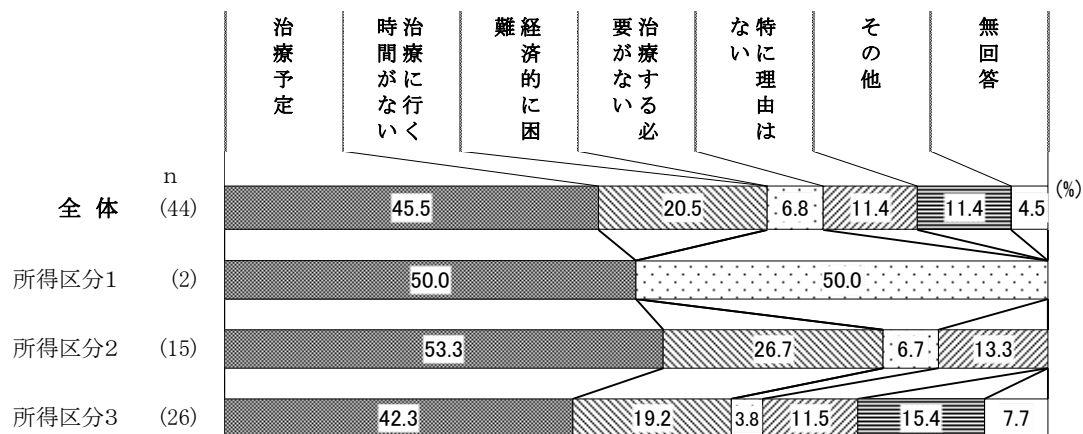
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(15) 治療していない理由

問11-2 いま、むし歯があるが、治療していない理由はなんですか。

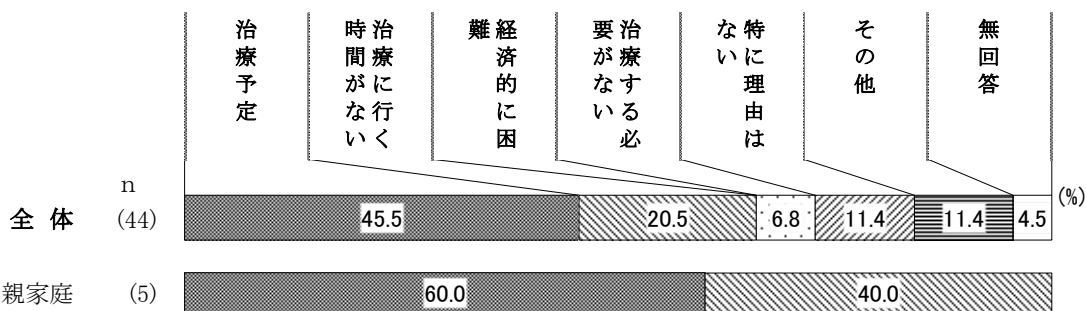


	n	治療予定	治療に行く時間がなく	経済的に困難	治療する必要がない	特に理由はない	その他	無回答
全体	44	45.5	20.5	-	6.8	11.4	11.4	4.5
所得区分1	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-
所得区分2	15	53.3	26.7	-	6.7	13.3	-	-
所得区分3	26	42.3	19.2	-	3.8	11.5	15.4	7.7

宛名の子どもがむし歯の治療をしていない理由は、全体では「治療予定」が45.5%と最も高く、次いで「治療に行く時間がない」が20.5%となっている。

所得区分別はサンプル数が少ないため傾向をみるにとどめる。

【ひとり親家庭】

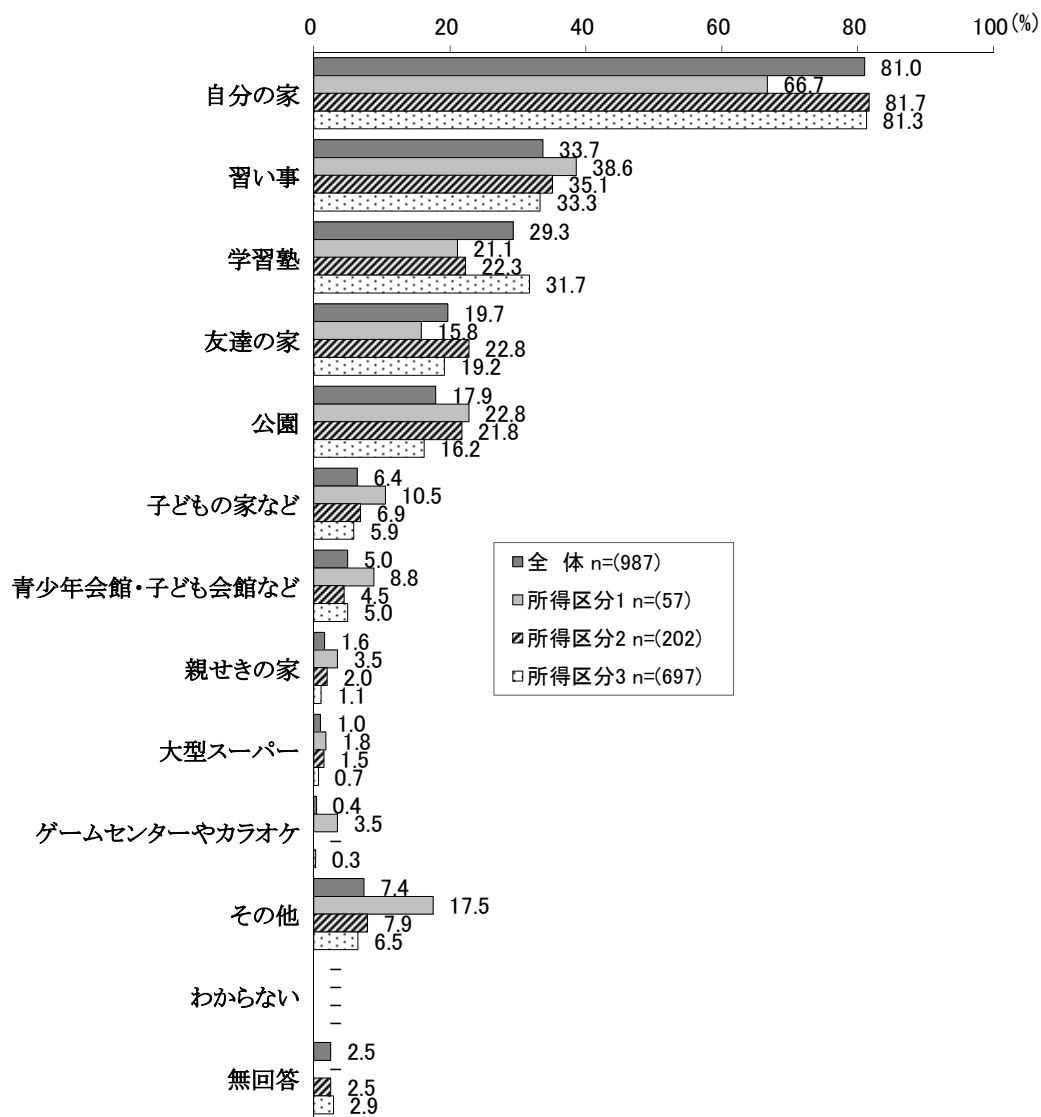


ひとり親家庭はサンプル数が少ないため傾向をみるにとどめる。

(16) 放課後の過ごし方

【集計対象：小学生以上】

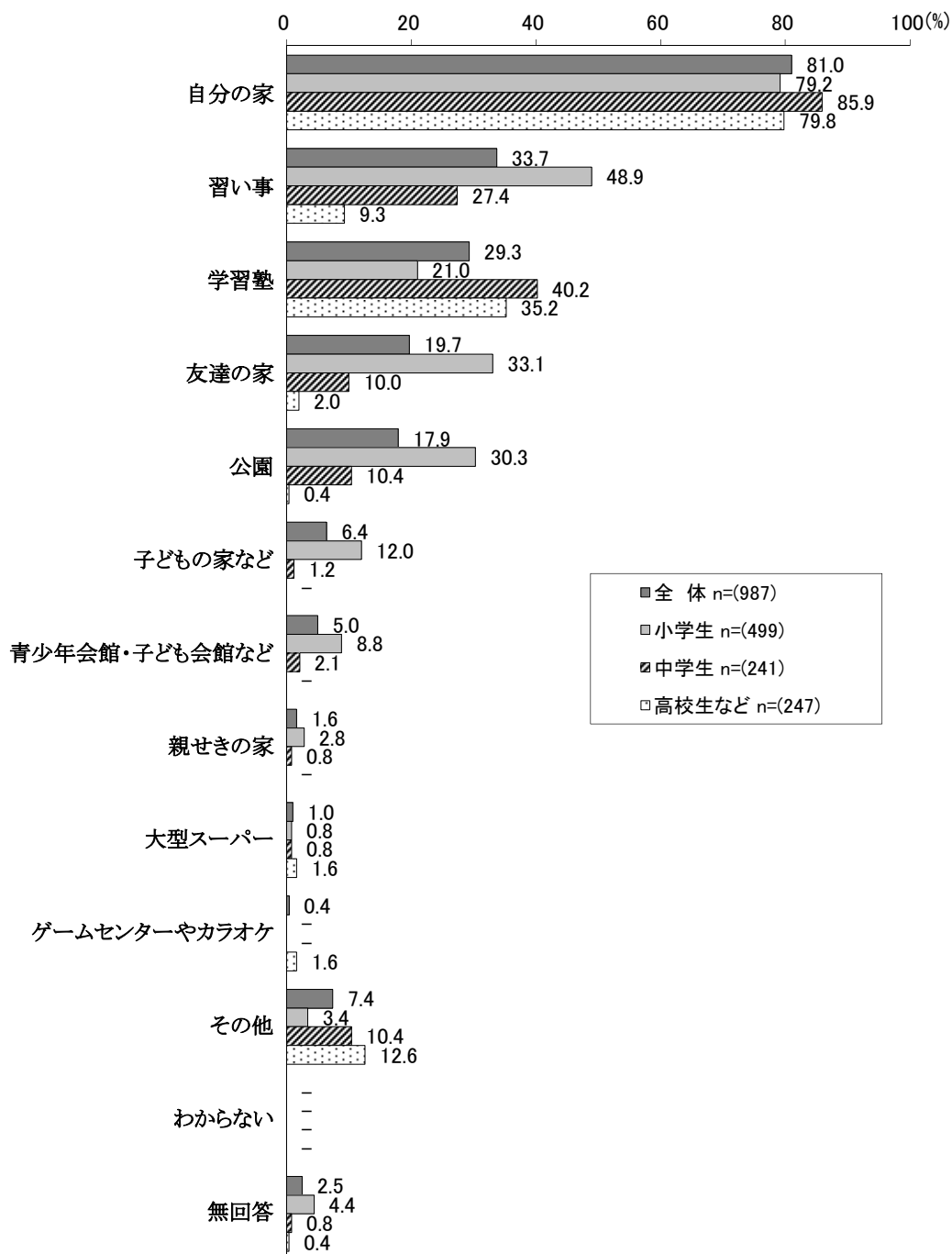
問12 宛名のお子さんは、学校に行った日の放課後、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)



宛名の子どもが学校に行った日の放課後、どこで過ごすことが多いかについては、全体では「自分の家」が81.0%で最も高く、次いで「習い事」33.7%、「学習塾」29.3%、「友達の家」19.7%、「公園」17.9%と続いている。

所得区分別では、「自分の家」は所得区分2で81.7%、所得区分3で81.3%と高いが、所得区分1は66.7%と低くなっている。「習い事」は所得区分1で38.6%と高く、「学習塾」は所得区分3で31.7%、「友達の家」は所得区分2で22.8%と高くなっている。「公園」などは所得区分1の割合が他の所得区分に比べて高くなっている。

<学校段階別>



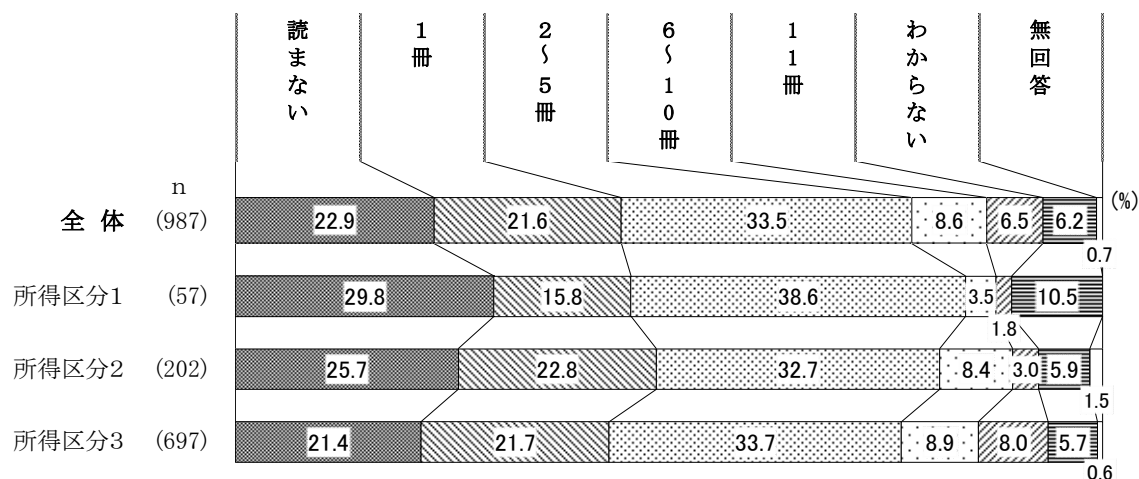
学校段階別では、「自分の家」が小学生・中学生・高校生などすべての段階で最も高くなっている。小学生は、「習い事」が48.9%、「友達の家」33.1%、「公園」30.3%と高く、中学生は「学習塾」が40.2%と高くなっている。高校生なども「学習塾」が35.2%と高くなっている。

(17) 読書の状況

【集計対象：小学生以上】

問13 宛名のお子さんは、1カ月に本（読み聞かせも含めて）を何冊くらい読みますか。自宅以外の状況も含めてお答えください。（電子書籍を含み、教科書・教材は除く）（それぞれ1つに○）

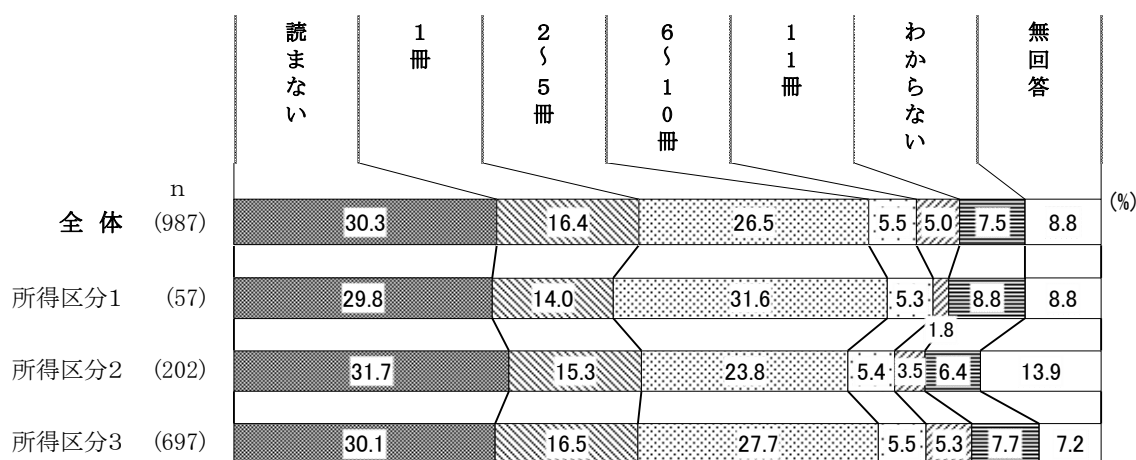
【本】（マンガや雑誌を除く）



宛名の子どもは1カ月に本（読み聞かせも含めて）を何冊くらい読むかについては、全体では「2～5冊」が33.5%で最も高く、次いで「1冊」が21.6%、「6～10冊」8.6%となっている。一方、「読まない」は22.9%となっている。

所得区分別では、6冊以上の割合は所得区分3で16.9%、所得区分2で11.4%、所得区分1で5.3%となっている。「読まない」は所得区分1で29.8%と最も高くなっている。

【マンガや雑誌】



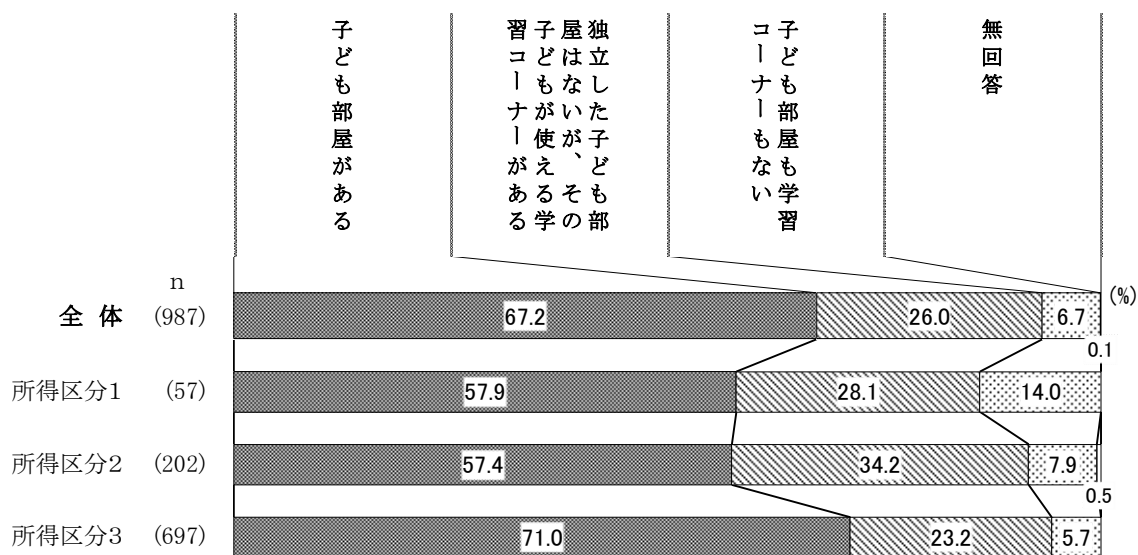
宛名の子どもは1カ月にマンガや雑誌を何冊くらい読むかについては、全体では「読まない」が30.3%で最も高く、「2～5冊」が26.5%、「1冊」が16.4%となっている。

所得区分別では、所得の違いによる大きな差はみられない。

(18) 子ども部屋、学習コーナーの有無

【集計対象：小学生以上】

問14 宛名のお子さんが使える子ども部屋、または学習コーナー（学習用の場所・スペース）はありますか。（1つに○）



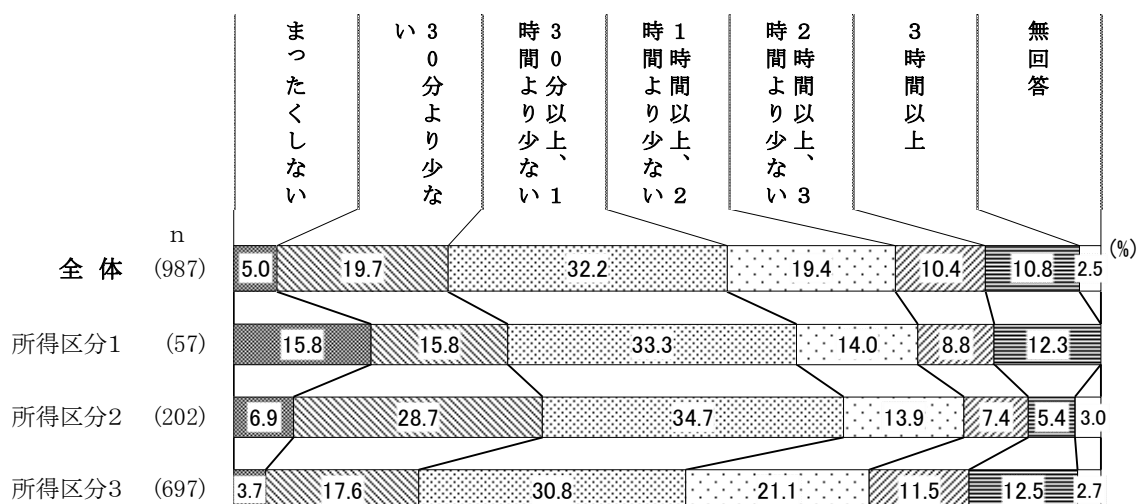
宛名の子どもが使える子ども部屋、または学習コーナー（学習用の場所・スペース）の有無については、全体では「子ども部屋がある」は67.2%、「独立した子ども部屋はないが、その子どもが使える学習コーナーがある」は26.0%となっている。

所得区分別では、「子ども部屋がある」は所得区分3で71.0%と高く、「子ども部屋も学習コーナーもない」は所得区分1で14.0%と高くなっている。

(19) 平日の勉強時間

【集計対象：小学生以上】

問15 宛名のお子さんは学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含まれます。（1つに○）



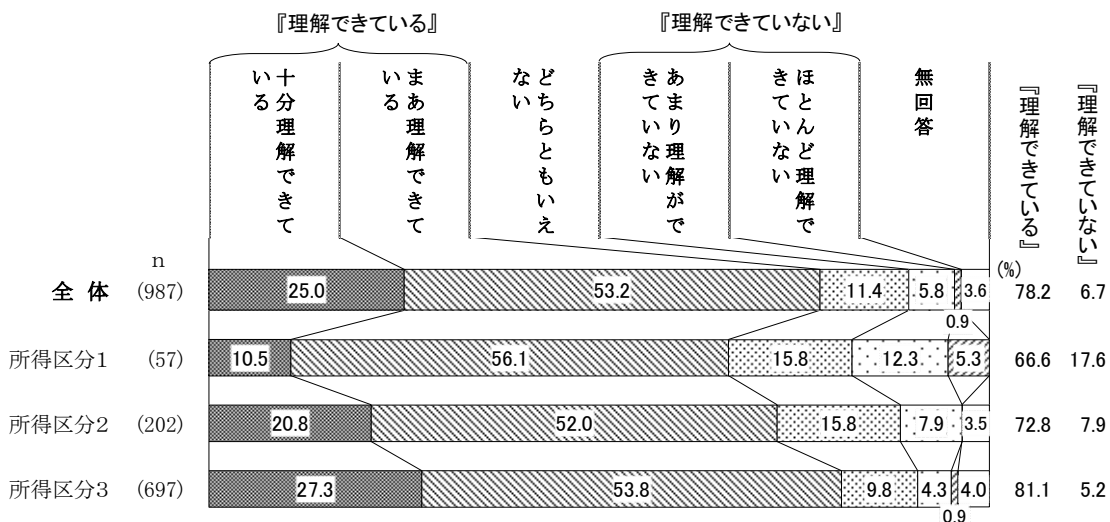
宛名の子どもの平日の勉強時間については、全体では「30分以上、1時間より少ない」は32.2%で最も高く、「30分より少ない」は19.7%、「1時間以上、2時間より少ない」は19.4%となっている。

所得区分別では、「30分より少ない」は所得区分2で28.7%と高く、「1時間以上、2時間より少ない」は所得区分3で21.1%と高くなっている。一方、「まったくしない」は所得区分1で15.8%と高くなっている。

(20) 学校の勉強の理解度

【集計対象：小学生以上】

問16 あなたからご覧になって、宛名のお子さんの学校での学習の状況をどのように思われていますか。(1つに○)



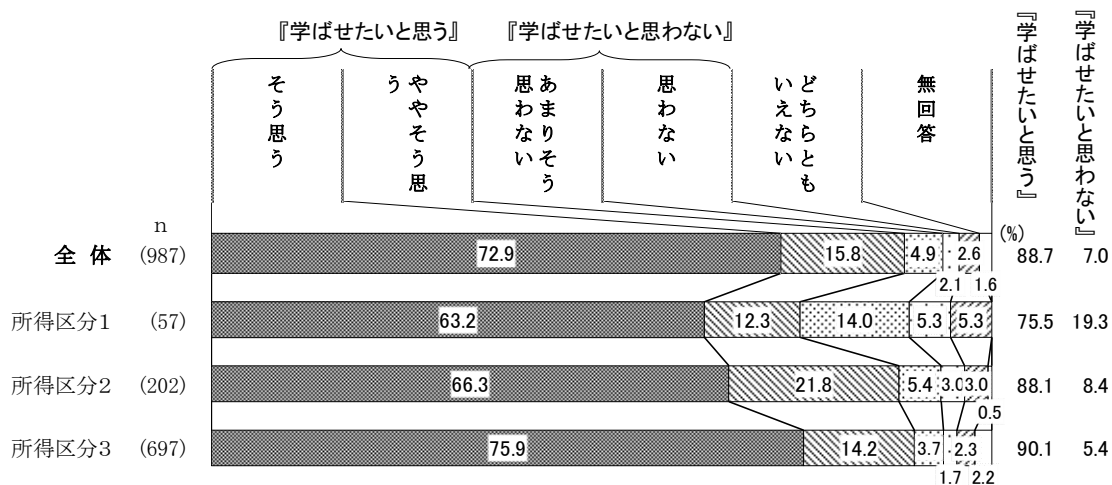
宛名の子どもの学校での学習の状況をどのように思っているかについては、全体では「十分理解できている」と「まあ理解できている」を合わせた『理解できている』は78.2%と高く、「あまり理解できていない」と「ほとんど理解できていない」を合わせた『理解できていない』は6.7%となっている。

所得区分別では、『理解できている』は所得区分3で81.1%と高く、『理解できていない』は所得区分1で17.6%と高くなっている。

(21) 子どもが通塾を希望した場合の意向

【集計対象：小学生以上】

問17 宛名のお子さんが塾などで学びたいと考えたら、学ばせたいと思いますか。(1つに○)



宛名の子どもが塾などで学びたいと考えたら、学ばせたいと思うかについては、全体では「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『学ばせたいと思う』は88.7%と高い。

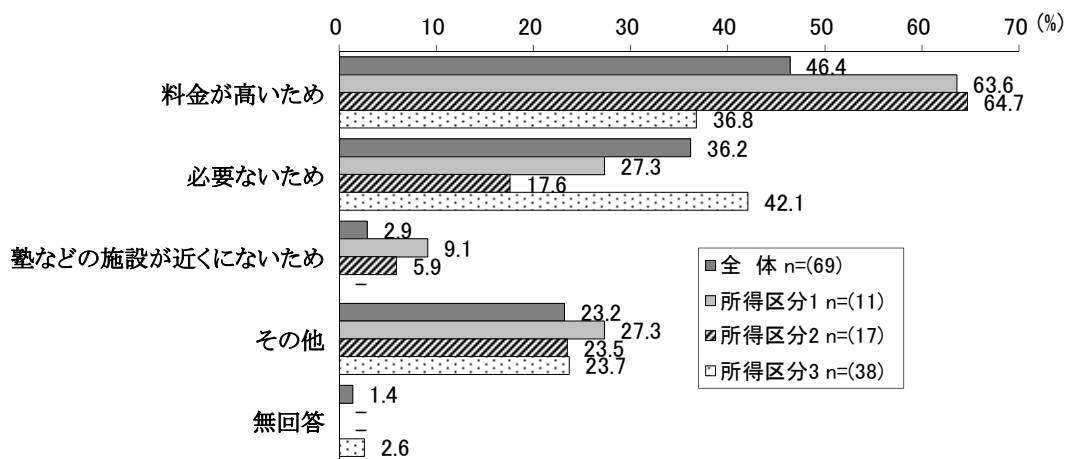
所得区分別では、『学ばせたいと思う』は所得区分3で90.1%と高く、『学ばせたいと思わない』は所得区分1で19.3%と高くなっている。

(22) 子どもが通塾を希望した場合に学ばせたいと思わない理由

【集計対象：小学生以上】

問17で「3. あまりそう思わない」または「4. 思わない」と答えた方におうかがいします。

問17-1 学ばせたいと思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



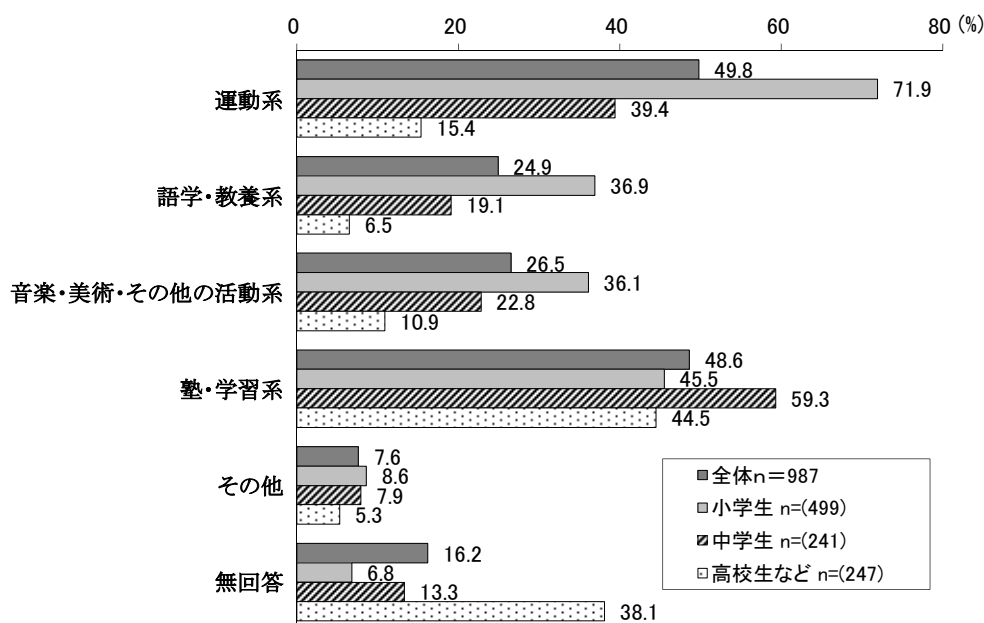
宛名の子どもが塾などで学びたいと希望した場合に「あまりそう思わない」と「思わない」と回答した方の理由は、全体では「料金が高いため」が46.4%で最も高く、次いで「必要ないため」36.2%となっている。

所得区分別では、サンプル数が少ないため傾向をみるにとどめる。

(23) 習い事の状況

【集計対象：小学生以上】

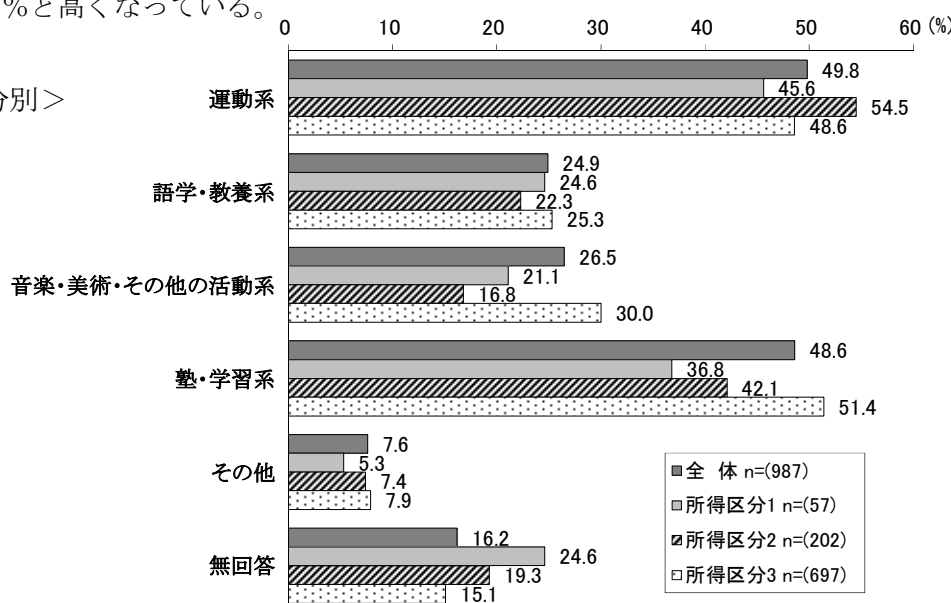
問18 宛名のお子さんは、習い事等（スポーツクラブ・学習塾・地域のクラブ活動を含む）をしていますか。習い事の種類の種類を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



宛名の子どもの習い事についての状況は、全体では「運動系」が49.8%、次いで「塾・学習系」48.6%、「音楽・美術・その他の活動系」26.5%、「語学・教養系」24.9%となっている。

学校の段階別では、「運動系」は小学生が71.9%で最も高く、高校生などは15.4%と低くなっている。「塾・学習系」は中学生で59.3%と高く、「音楽・美術・その他の活動系」は小学生が36.1%、「語学・教養系」は小学生が36.9%とそれぞれ最も高くなっている。一方、「習い事はしていない」は高校生などで38.1%と高くなっている。

<所得区分別>

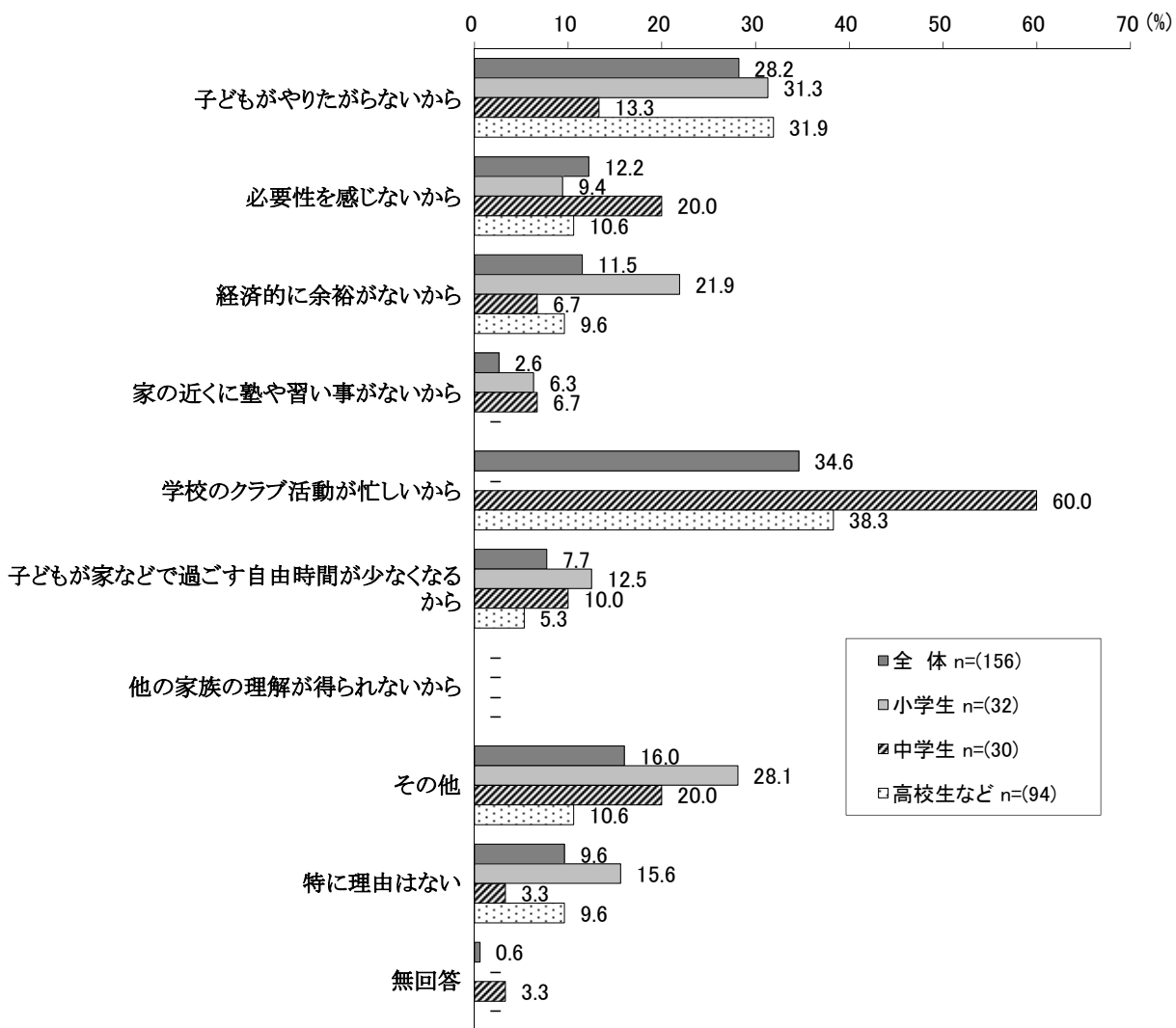


所得区分別では、「運動系」は所得区分2で54.5%と高くなっている。「塾・学習系」は所得区分3で51.4%と高く、「音楽・美術・その他の活動系」も所得区分3で30.0%と高くなっている。「語学・教養系」は所得の違いによる大きな差はみられない。

(24) 塾や習い事をしていない理由

【集計対象：小学生以上】

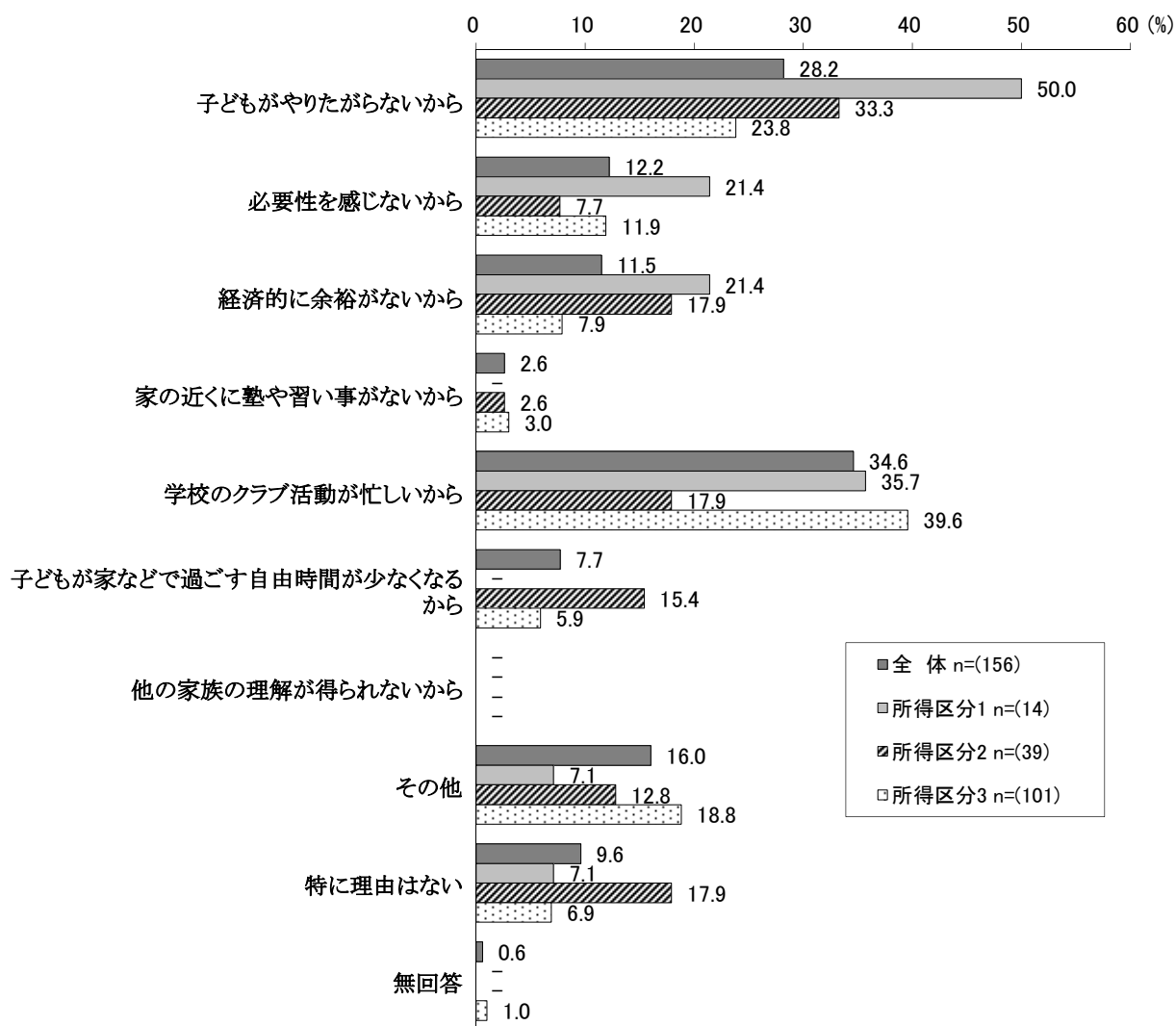
問19 宛名のお子さんが塾や習い事をしていない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



宛名の子どもが塾や習い事をしていない理由は、全体では「学校のクラブ活動が忙しいから」が34.6%と最も高く、次いで「子どもがやりたがらないから」28.2%、「必要性を感じないから」12.2%、「経済的に余裕がないから」11.5%となっている。

学校の段階別では、「学校のクラブ活動が忙しいから」は中学生で60.0%と高く、「子どもがやりたがらないから」は小学生で31.3%、高校生などで31.9%となっている。

<所得区分別>

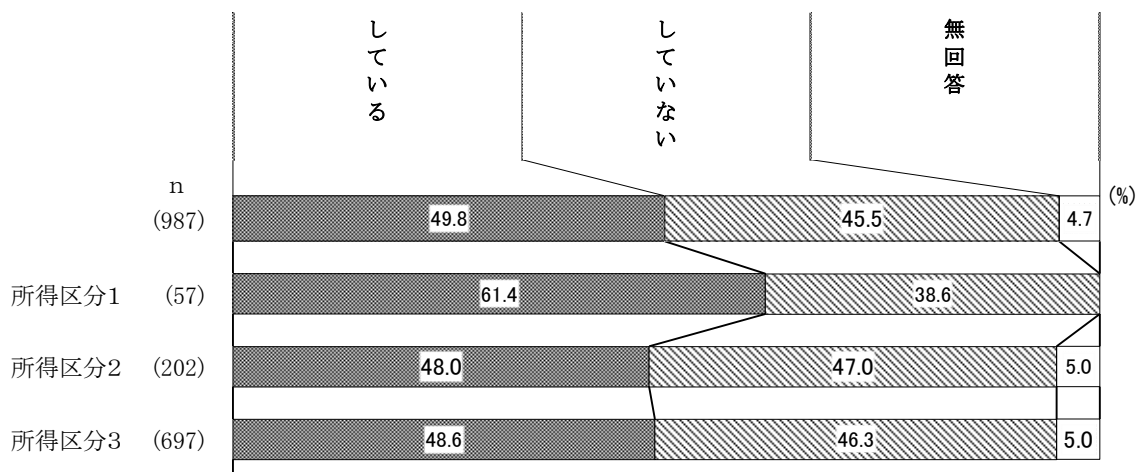


所得区分別では、「子どもがやりたがらないから」は所得区分1で50.0%と最も高く、所得区分2で33.3%、所得区分3で23.8%となっている。「学校のクラブ活動が忙しいから」は所得区分3で39.6%と最も高く、所得区分1は35.7%、所得区分2は17.9%となっている。「必要性を感じないから」と「経済的に余裕がないから」は所得区分1でそれぞれ21.4%と高くなっている。

(25) 学校でのクラブ活動の状況

【集計対象：小学生以上】

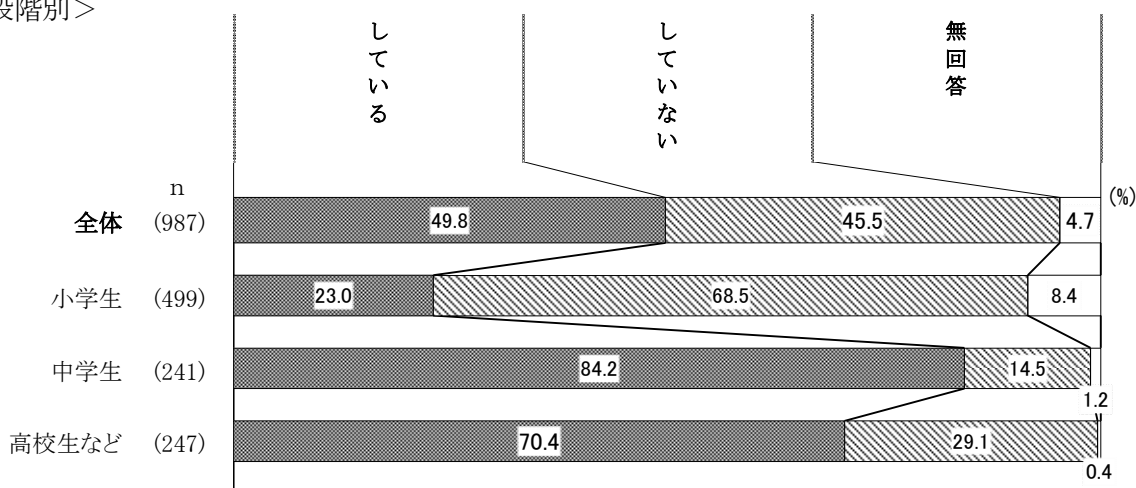
問20 宛名のお子さんは、学校のクラブ活動をしていますか。(1つに○)



宛名の子どもが学校のクラブ活動をしているかについては、全体では「している」は49.8%、「していない」は45.5%となっている。

所得区別では、「している」は所得区分1で61.4%と高く、所得区分3で48.6%、所得区分2で48.0%となっている。「していない」は所得区分2で47.0%、所得区分3で46.3%、所得区分1で38.6%となっている。全体及びすべての所得区分で、「している」の割合が「していない」よりも高くなっている。

<学校段階別>



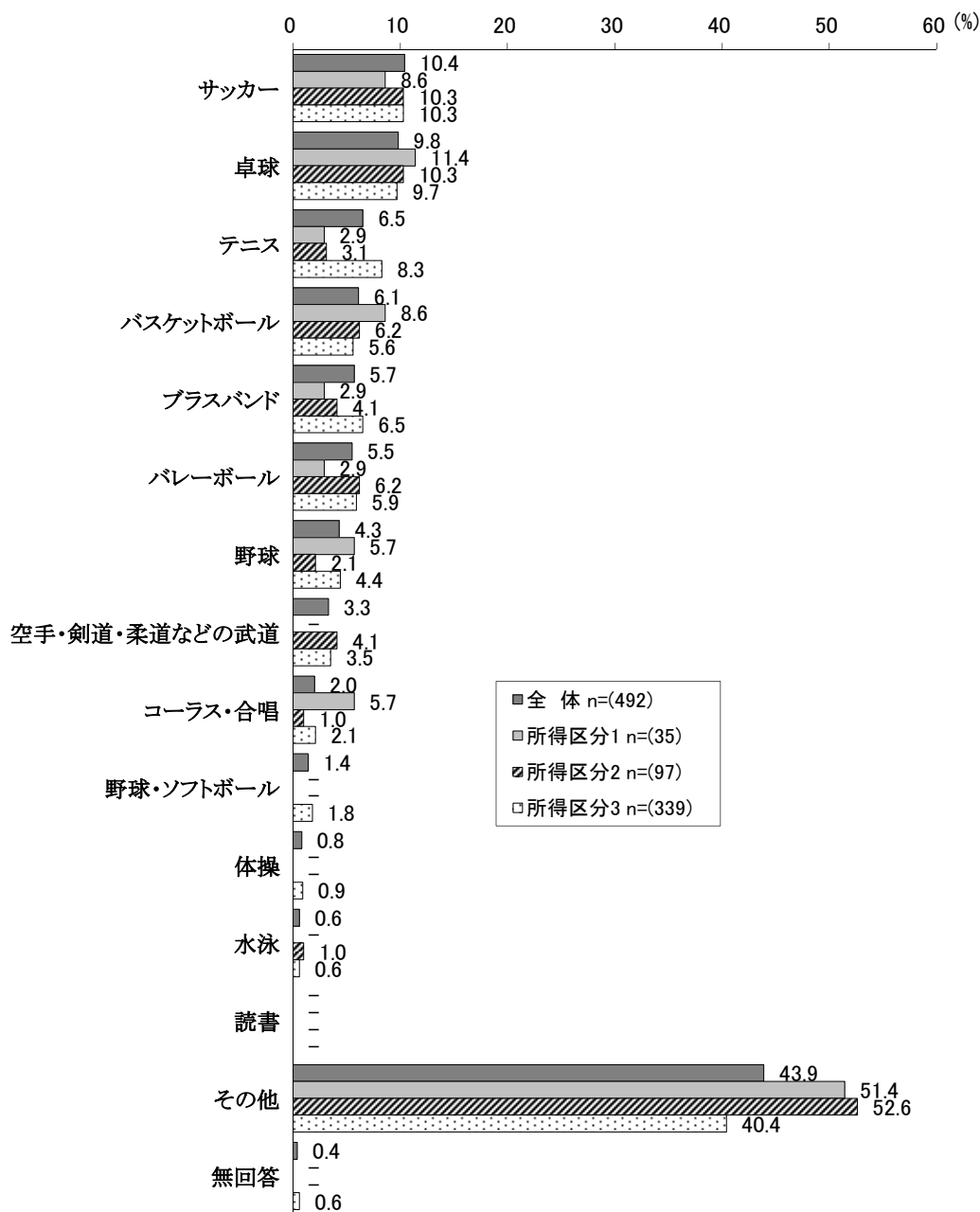
学校段階別では、「している」は中学生で84.2%と高くなっている。

(26) クラブ活動の種類

【集計対象：小学生以上】

問20で「1. している」と答えた方におうかがいします。

問20-1 クラブ活動の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



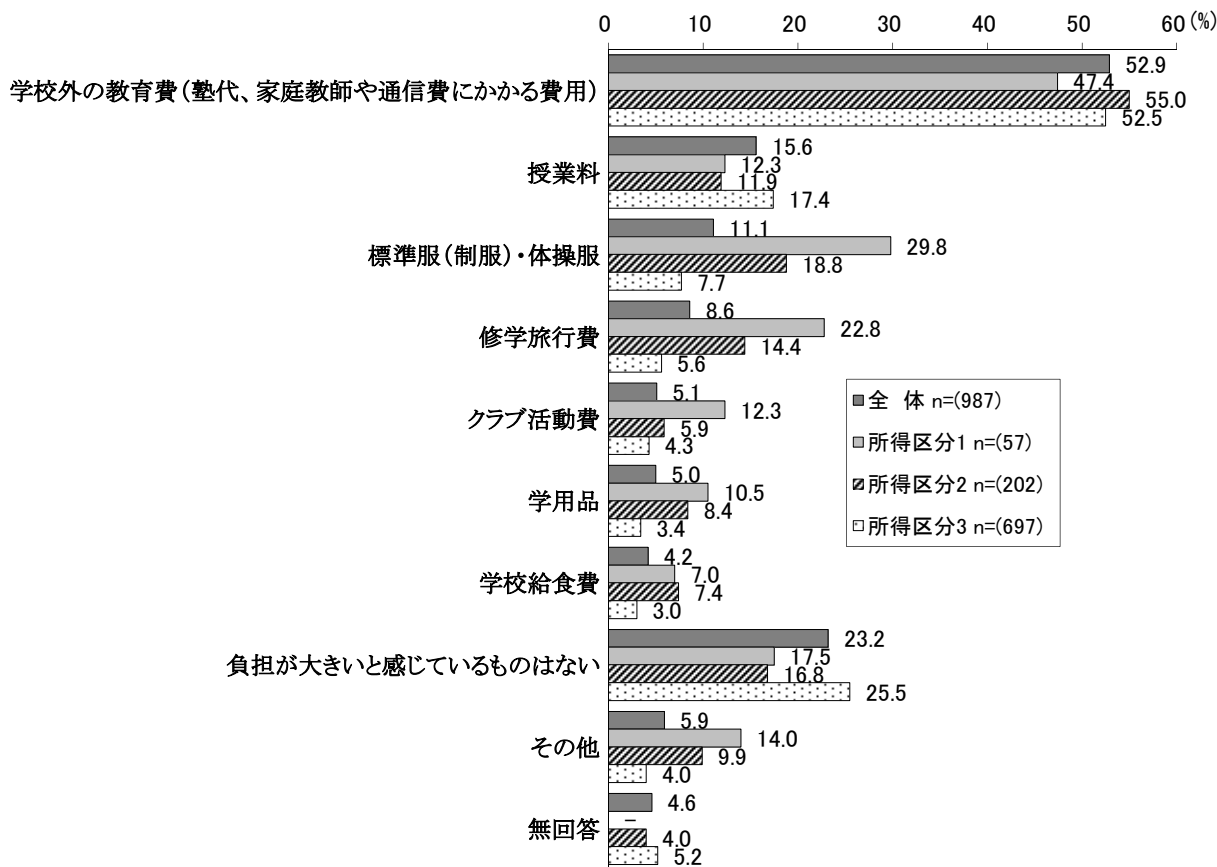
クラブ活動を「している」と回答した方のクラブ活動の種類は、全体では運動系のクラブ活動の割合が高く、「サッカー」が10.4%、「卓球」9.8%、「テニス」6.5%、「バスケットボール」6.1%となっている。次いで文科系のクラブ活動として、「ブラスバンド」が5.7%となっている。

所得区分別では、「サッカー」は所得区分2と所得区分3でともに10.3%、「卓球」は所得区分1で11.4%、「テニス」は所得区分3で8.3%、「バスケットボール」は所得区分1で8.6%とそれぞれ高くなっている。文科系のクラブ活動は、「ブラスバンド」は所得区分3で6.5%、「コーラス・合唱」は所得区分1で5.7%と高くなっている。

(27) 教育にかかる経費で負担に感じるもの

【集計対象：小学生以上】

問21 宛名のお子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

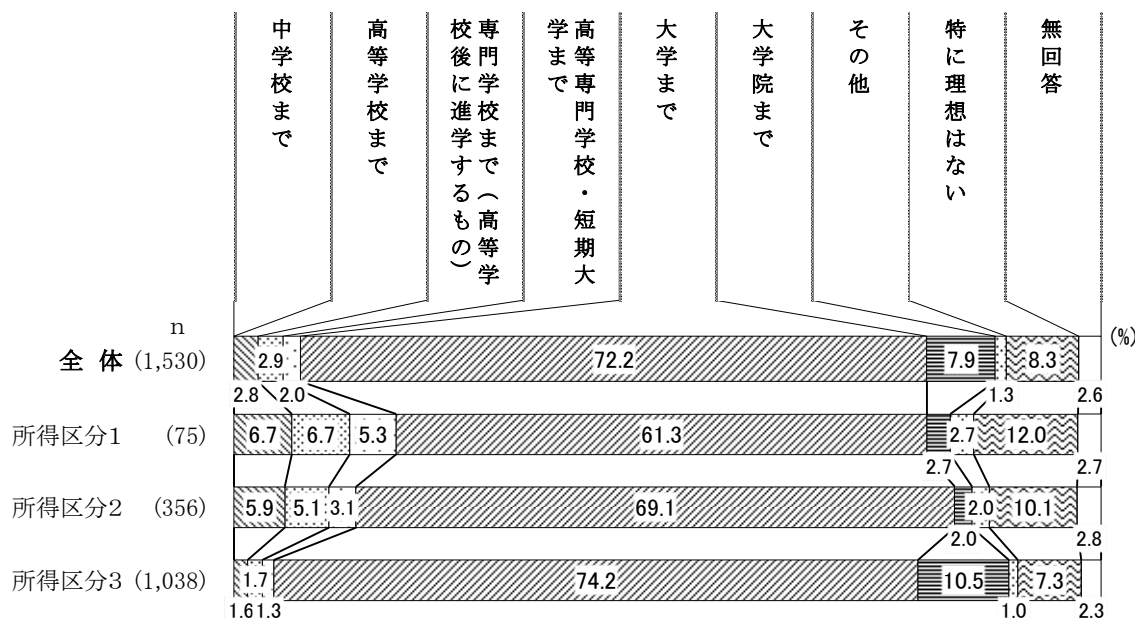


宛名の子どもの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、全体では「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信費にかかる費用）」が52.9%と最も高く、次いで「授業料」15.6%、「標準服（制服）・体操服」11.1%となっている。一方、「負担が大きいと感じているものはない」は23.2%となっている。

所得区分別では、「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信費にかかる費用）」は所得区分2で55.0%、「授業料」は所得区分3で17.4%、「標準服（制服）・体操服」は所得区分1で29.8%とそれぞれ最も高くなっている。また、所得区分1では「修学旅行費」22.8%、「クラブ活動費」12.3%、「学用品」10.5%も他の所得区分と比べて負担が大きいと感じる割合が高くなっている。「負担が大きいと感じているものはない」は、所得区分3で25.5%と高く、教育にかかる経費の負担感は低くなっている。

(28) 進学希望

問22 あなたは、宛名のお子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。(1つに○)



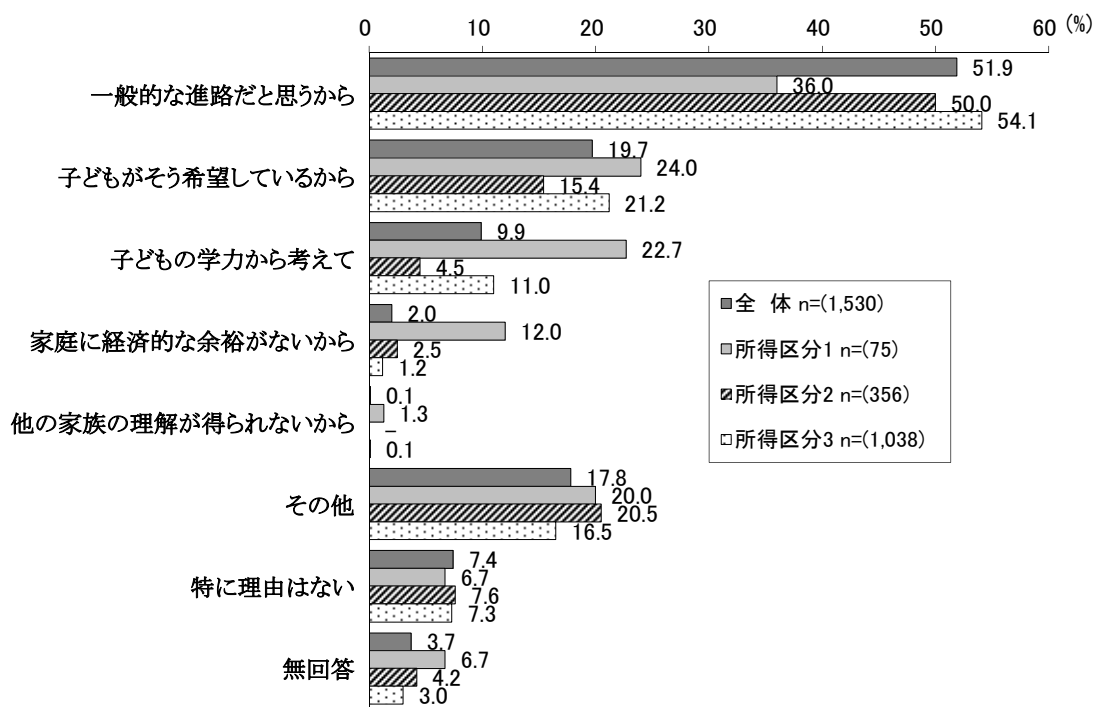
	n	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで(高等学校後に進学するもの)	高等専門学校・短期大学まで	大学まで	大学院まで	その他	特に理想はない	無回答
全体	1,530	-	2.8	2.9	2.0	72.2	7.9	1.3	8.3	2.6
所得区分1	75	-	6.7	6.7	5.3	61.3	2.7	2.7	12.0	2.7
所得区分2	356	-	5.9	5.1	3.1	69.1	2.0	2.0	10.1	2.8
所得区分3	1,038	-	1.6	1.7	1.3	74.2	10.5	1.0	7.3	2.3

宛名の子どもについて、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思うかについては、全体では「大学まで」が72.2%で最も高く、「大学院まで」7.9%、「専門学校まで（高等学校後に進学するもの）」2.9%、「高等学校まで」2.8%となっている。

所得区分別では、「大学まで」は所得区分3で74.2%と最も高く、所得区分2は69.1%、所得区分1は61.3%となっている。所得区分1では「高等専門学校・短期大学まで」、「高等学校まで」がそれぞれ6.7%と他の所得区分に比べて高くなっている。また、「特に理想はない」は所得区分1で12.0%となっている。

(29) 理想的な進学希望の理由

問23 あなたが問22のようにお考えになる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



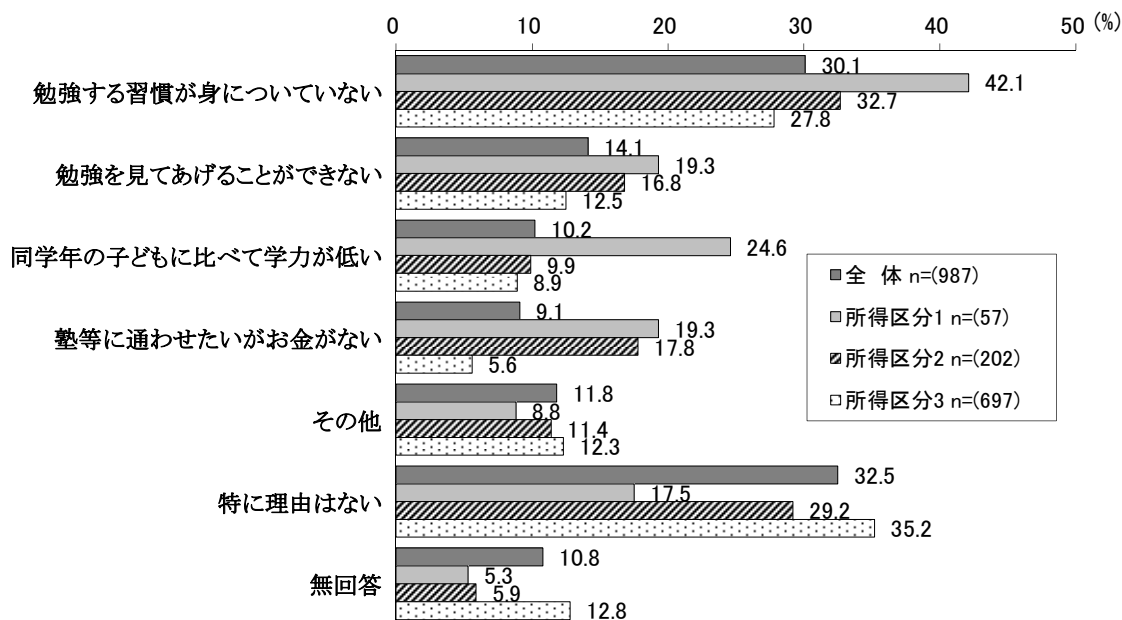
理想的な進学希望についての理由は、全体では「一般的な進路だと思うから」が51.9%で最も高く、次いで「子どもがそう希望しているから」19.7%、「子どもの学力から考えて」9.9%となっている。

所得区分別では、「一般的な進路だと思うから」は所得区分3で54.1%、「子どもがそう希望しているから」は所得区分1で24.0%、「子どもの学力から考えて」は所得区分1で22.7%、「家庭に経済的な余裕がないから」は所得区分1で12.0%とそれぞれ高くなっている。

(30) 子供の教育に関する不安

【集計対象：小学生以上】

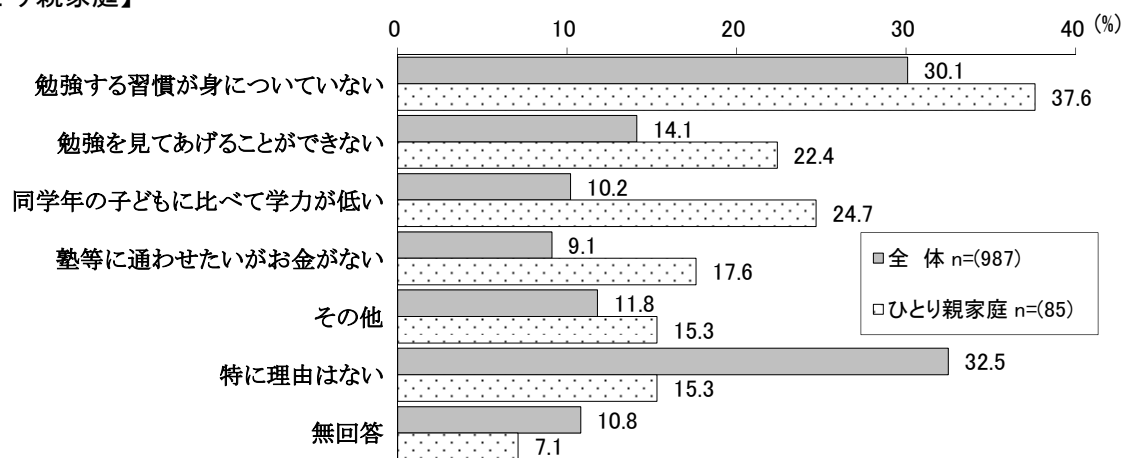
問24 宛名のお子さんの教育に関して心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



宛名の子どもに関する教育に関して心配なことは、全体では「勉強する習慣が身につけていない」が30.1%、次いで「勉強を見てあげることができない」14.1%、「同学年の子どもに比べて学力が低い」10.2%、「塾等に通わせたいがお金がない」9.1%となっている。

所得区分別では、所得区分1で「勉強する習慣が身につけていない」42.1%、「同学年の子どもに比べて学力が低い」は24.6%で特に高く、「勉強を見てあげることができない」、「塾等に通わせたいがお金がない」がそれぞれ19.3%で高くなっている。

【ひとり親家庭】

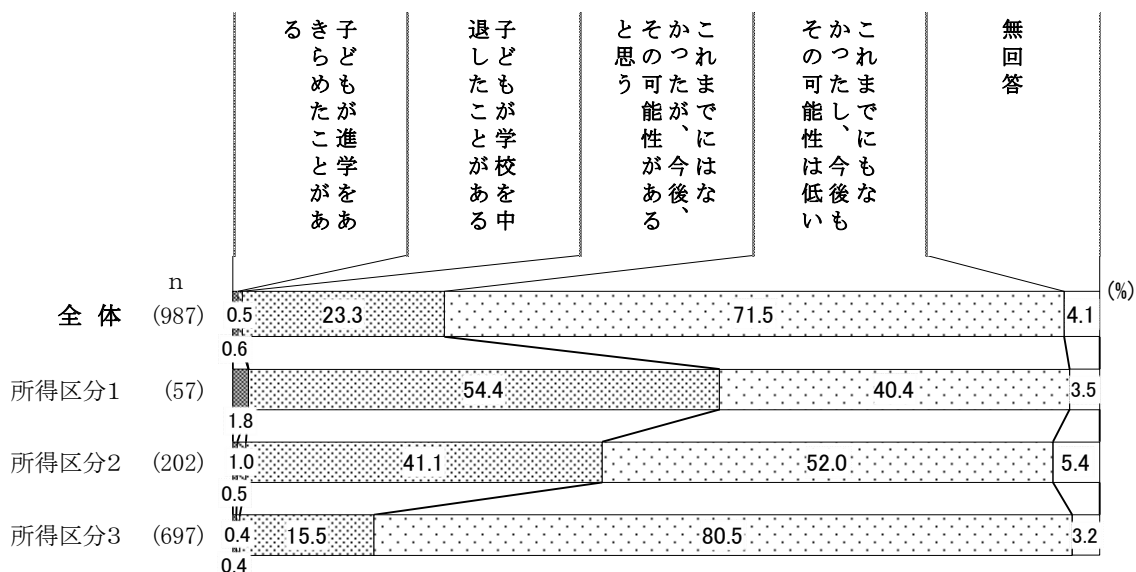


ひとり親家庭では、「特に理由はない」を除くすべての項目で全体を上回っており、「勉強する習慣が身につけていない」37.6%が最も高く、「同学年の子どもに比べて学力が低い」24.7%、「勉強を見てあげることができない」22.4%、「塾等に通わせたいがお金がない」17.6%となっており、所得区分1と同様の順位になっている。

(31) 経済的理由により子どもが進学を諦めたり中退した経験

【集計対象：小学生以上】

問25 あなたの世帯では経済的な理由により、お子さんが進学を諦めたり、学校を中退したことがある、または、今後その可能性があると思いますか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。(1つに○)

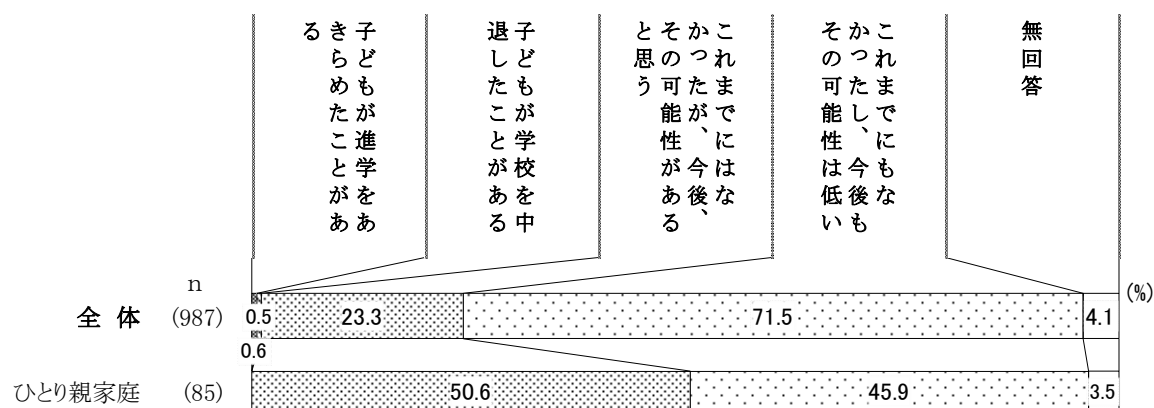


	n	子どもが進学をあきらめたことがある (%)	子どもが学校を中退したことがある (%)	これまでにないが、今後、その可能性があると思う (%)	これまでにないし、今後その可能性は低い (%)	無回答 (%)
全体	987	0.6	0.5	23.3	71.5	4.1
所得区分1	57	1.8	-	54.4	40.4	3.5
所得区分2	202	0.5	1.0	41.1	52.0	5.4
所得区分3	697	0.4	0.4	15.5	80.5	3.2

経済的な理由により、子どもが進学を諦めたり、学校を中退したことがあるか、または、今後その可能性があると思うかについては、全体では「これまでにないし、今後その可能性は低い」が71.5%で最も高く、「これまでにないが、今後、その可能性があると思う」が23.3%となっている。

所得区分別では、所得区分1で「これまでにないが、今後、その可能性があると思う」が54.4%、所得区分2で41.1%と高くなっている。

【ひとり親家庭】

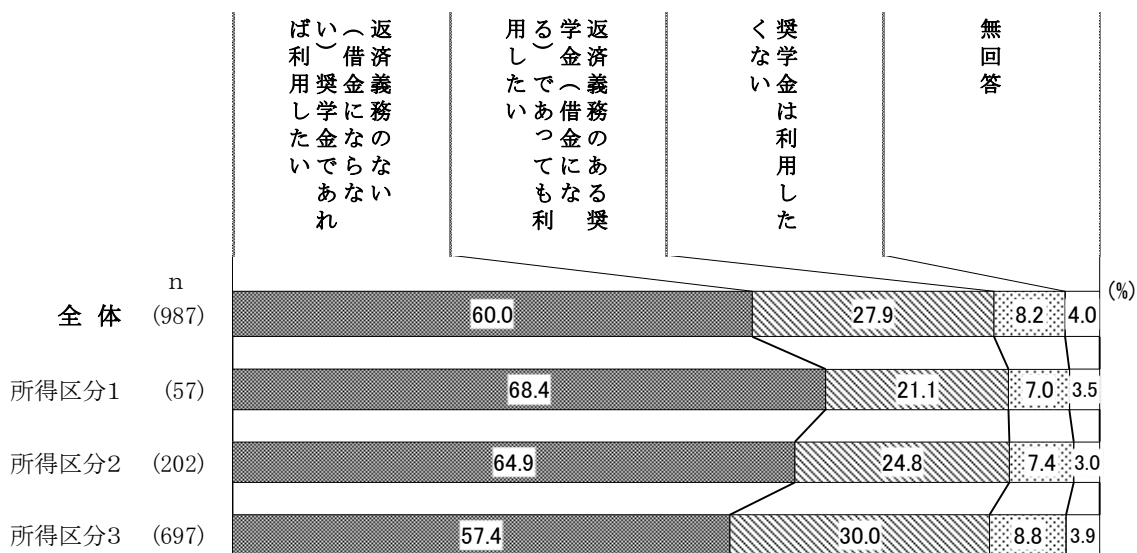


ひとり親家庭では、「これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う」は50.6%となっている。

(32) 奨学金の利用に対する意識

【集計対象：小学生以上】

問26 経済的な理由で、希望の学歴まで卒業させることが難しくなるとすれば、奨学金を利用したいと思いますか。(1つに○)

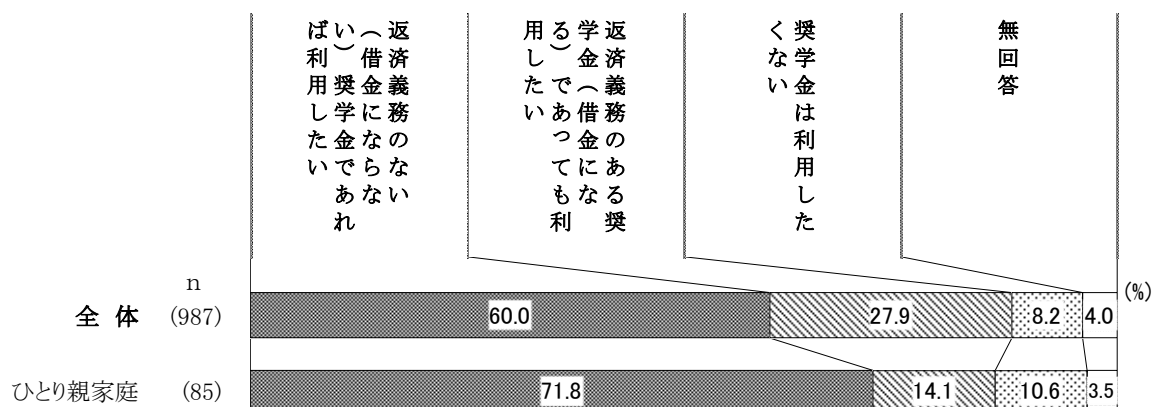


	n	返済義務のない(借金にならない)奨学金であれば利用したい (%)	返済義務のある(借金になる)奨学金であっても利用したい (%)	奨学金は利用したくない (%)	無回答 (%)
全体	987	60.0	27.9	8.2	4.0
所得区分1	57	68.4	21.1	7.0	3.5
所得区分2	202	64.9	24.8	7.4	3.0
所得区分3	697	57.4	30.0	8.8	3.9

経済的な理由で、希望の学歴まで卒業させることが難しくなる場合、奨学金の利用については、全体では「返済義務のない(借金にならない)奨学金であれば利用したい」が60.0%、「返済義務のある奨学金(借金になる)であっても利用したい」が27.9%となっている。

所得区分別では、「返済義務のない(借金にならない)奨学金であれば利用したい」は所得区分1で68.4%、所得区分2で64.9%となっている。

【ひとり親家庭】

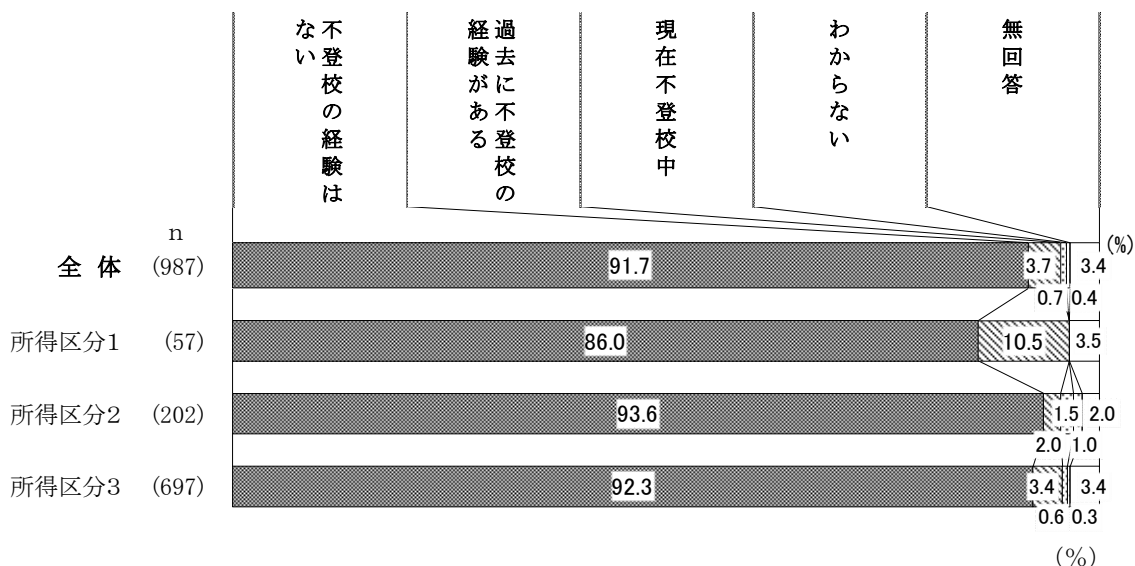


ひとり親家庭では、「返済義務のない(借金にならない)奨学金であれば利用したい」は71.8%と高く、「返済義務のある奨学金(借金になる)であっても利用したい」は14.1%と低く、返済義務のある奨学金の利用意向は低くなっている。

(33) 不登校の経験の有無

【集計対象：小学生以上】

問27 宛名のお子さんは不登校の経験がありますか。(1つに○)



	n	不登校の経験はない	過去に不登校の経験がある	現在不登校中	わからない	無回答
全体	987	91.7	3.7	0.7	0.4	3.4
所得区分1	57	86.0	10.5	-	-	3.5
所得区分2	202	93.6	2.0	1.5	1.0	2.0
所得区分3	697	92.3	3.4	0.6	0.3	3.4

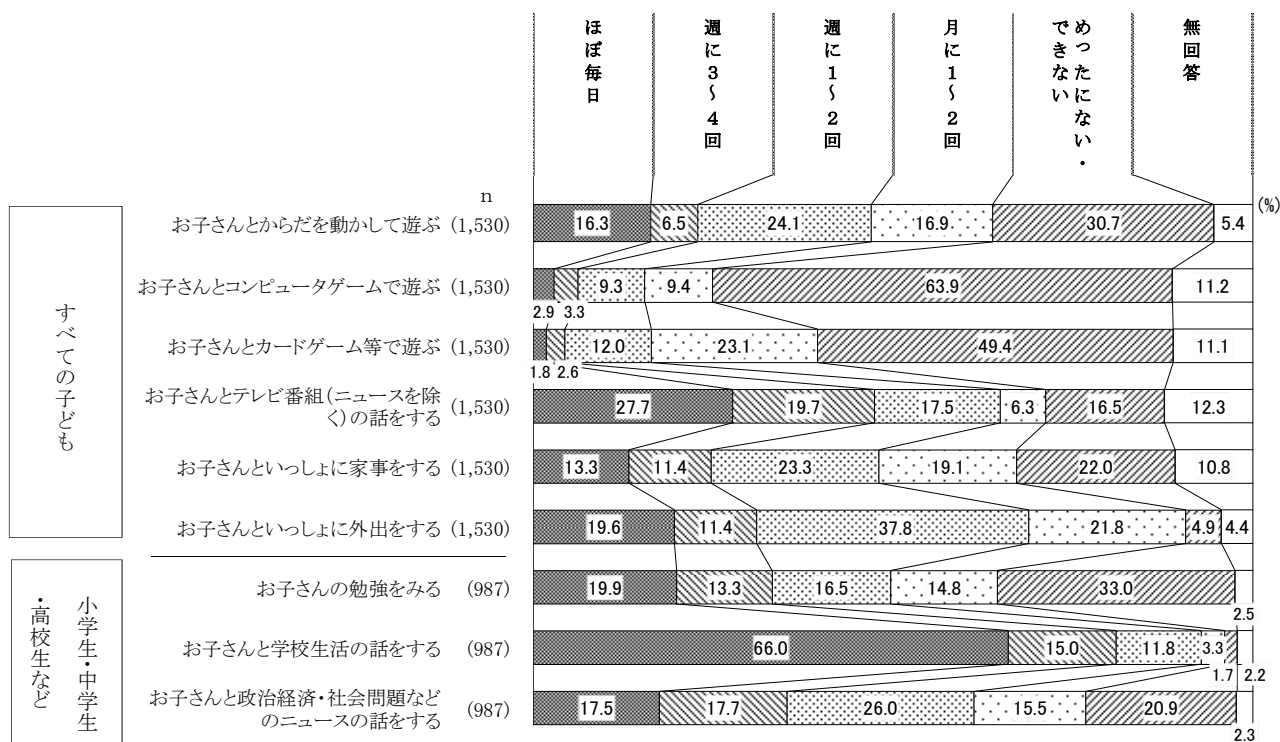
宛名の子どもの不登校の経験については、全体では「不登校の経験はない」が91.7%で高く、「過去に不登校の経験がある」は3.7%となっている。

所得区分別では、「不登校の経験はない」が所得区分2で93.6%、所得区分3で92.3%、所得区分1では86.0%となっている。「過去に不登校の経験がある」は所得区分1で10.5%と所得の水準が低いほど不登校の経験を有する子どもがいる割合が高くなっている。

3. 子育てについて

(1) 親子のコミュニケーションの状況

問28 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ1つに○)

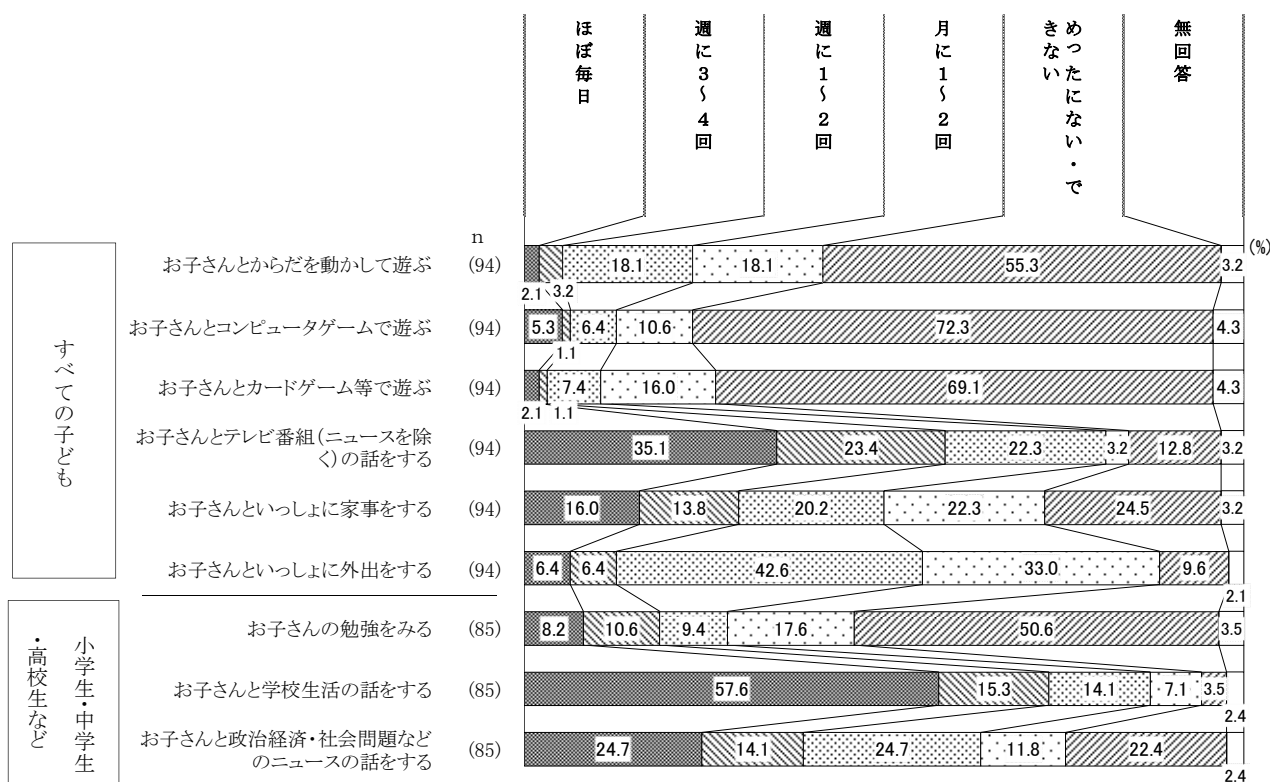


調査対象	n	ほぼ毎日	週に3〜4回	週に1〜2回	月に1〜2回	できなかったにない・	無回答	
すべての子ども	お子さんとからだを動かして遊ぶ	1,530	16.3	6.5	24.1	16.9	30.7	5.4
	お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ	1,530	2.9	3.3	9.3	9.4	63.9	11.2
	お子さんとカードゲーム等で遊ぶ	1,530	1.8	2.6	12.0	23.1	49.4	11.1
	お子さんとテレビ番組(ニュースを除く)の話をする	1,530	27.7	19.7	17.5	6.3	16.5	12.3
	お子さんといっしょに家事をする	1,530	13.3	11.4	23.3	19.1	22.0	10.8
	お子さんといっしょに外出をする	1,530	19.6	11.4	37.8	21.8	4.9	4.4
小学生・中学生・高校生など	お子さんの勉強をみる	987	19.9	13.3	16.5	14.8	33.0	2.5
	お子さんと学校生活の話をする	987	66.0	15.0	11.8	3.3	1.7	2.2
	お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする	987	17.5	17.7	26.0	15.5	20.9	2.3

第2章 調査結果の詳細

宛名の子どものコミュニケーションの状況は、「ほぼ毎日」は学校生活の話をするは66.0%で最も高く、テレビ番組（ニュースを除く）の話をするは27.7%となっている。「週に1～2回」はいっしょに外出をするは37.8%、政治経済・社会問題などのニュースの話をするは26.0%、からだを動かして遊ぶは24.1%、いっしょに家事をするは23.3%となっている。「めったにない・できない」はお子さんとコンピュータゲームで遊ぶは63.9%、お子さんとカードゲーム等で遊ぶは49.4%、お子さんの勉強をみるは33.0%、お子さんとからだを動かして遊ぶは30.7%となっている。

【ひとり親家庭】

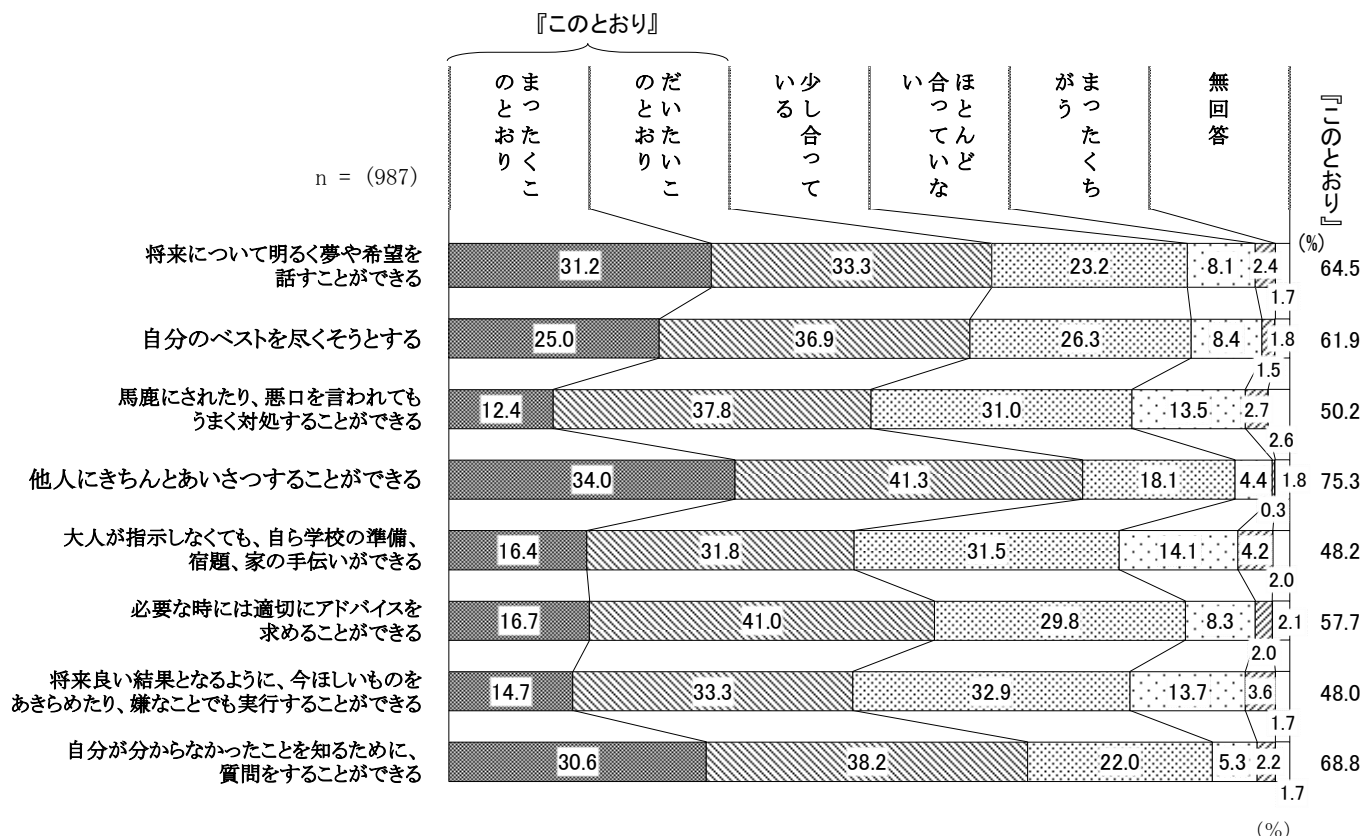


ひとり親家庭では、全体の割合と比べてテレビ番組（ニュースを除く）の話をするを除いた項目で「めったにない・できない」の割合が高く、お子さんとカードゲーム等で遊ぶは全体より19.7ポイント高く、お子さんの勉強をみるは17.6ポイント高くなっている。

(2) 子供の自己肯定感

【集計対象：小学生以上】

問29 次のことについて、宛名のお子さんの様子はどれにあたりますか。(それぞれ1つに○)

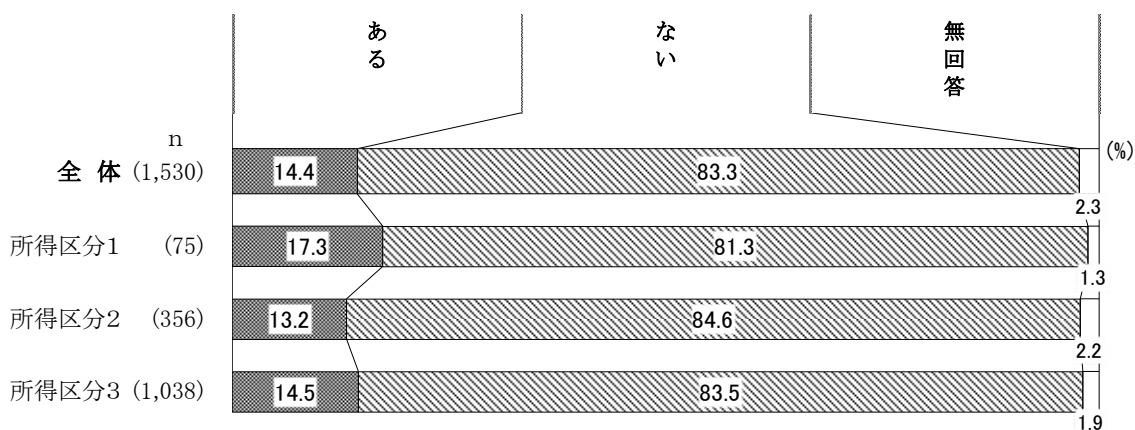


	n	おまったくこのとおり	おだいたいこのとおり	少し合っている	いほとんど合っていない	まったく合っていない	無回答
将来について明るく夢や希望を話すことができる	987	31.2	33.3	23.2	8.1	2.4	1.7
自分のベストを尽くそうとする	987	25.0	36.9	26.3	8.4	1.5	1.8
馬鹿にされたり、悪口を言われてもうまく対処することができる	987	12.4	37.8	31.0	13.5	2.7	2.6
他人にきちんとあいさつすることができる	987	34.0	41.3	18.1	4.4	0.3	1.8
大人が指示しなくても、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	987	16.4	31.8	31.5	14.1	4.2	2.0
必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	987	16.7	41.0	29.8	8.3	2.0	2.1
将来良い結果となるように、今ほしいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	987	14.7	33.3	32.9	13.7	3.6	1.7
自分が分からなかったことを知るために、質問をすることができる	987	30.6	38.2	22.0	5.3	2.2	1.7

宛名の子どもの様子については、「まったくこのとおり」と「だいたいこのとおり」を合わせた『このとおり』は、他人にきちんとあいさつすることができるが75.3%と高く、自分が分からなかったことを知るために、質問をすることができるが68.8%、将来について明るく夢や希望を話すことができるが64.5%と高くなっている。

(3) 医療機関の受診が必要な時に受診させなかった経験

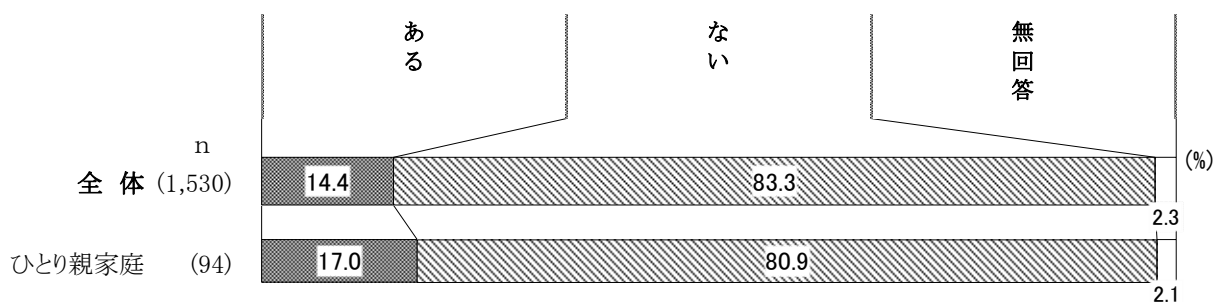
問30 過去1年間に医療機関にお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。
(1つに○)



過去1年間に医療機関の受診が必要な時に受診させなかった経験について、全体では「ない」が83.3%、「ある」は14.4%となっている。

所得区分別では、すべての所得区分で「ない」が8割台と高くなっている。

【ひとり親家庭】

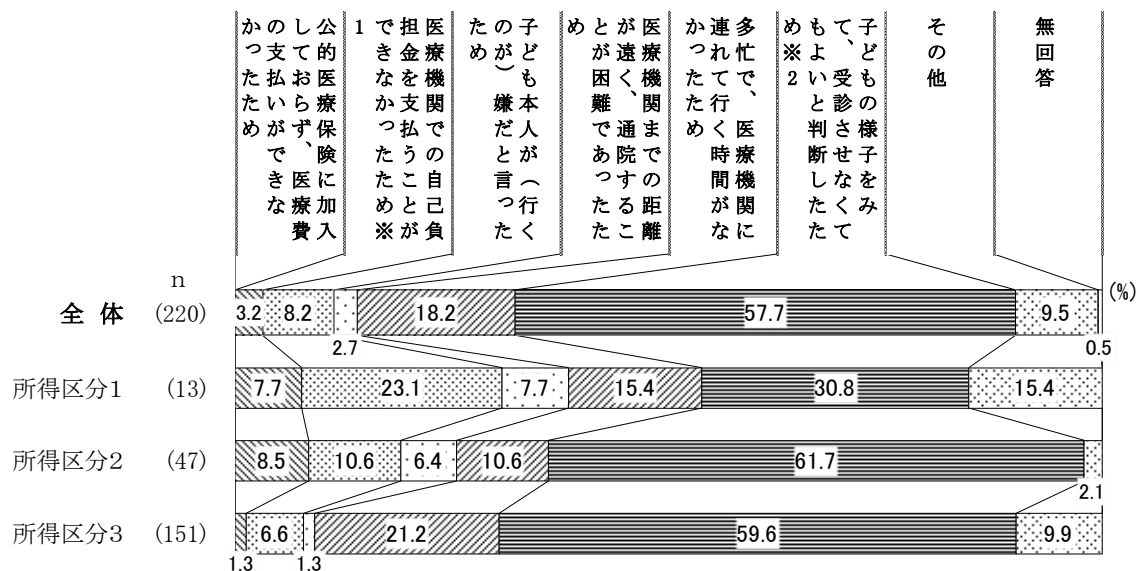


ひとり親家庭では、「ある」が17.0%となっている。

(4) 受診させなかった理由

問30で「1. ある」と答えた方におうかがいします。

問30-1 その理由はなんですか。(1つに○)



理由	n	全体 (%)	所得区分1 (%)	所得区分2 (%)	所得区分3 (%)
公的医療保険に加入してはいたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため	220	3.2	7.7	8.5	6.6
1. 子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため	220	57.7	30.8	61.7	59.6
2. 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため	220	18.2	15.4	10.6	21.2
3. 医療機関までの距離が遠く、通院が困難であったため	220	2.7	7.7	6.4	1.3
4. その他	220	9.5	15.4	2.1	9.9
無回答	220	0.5	-	-	-

※1 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため

※2 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため

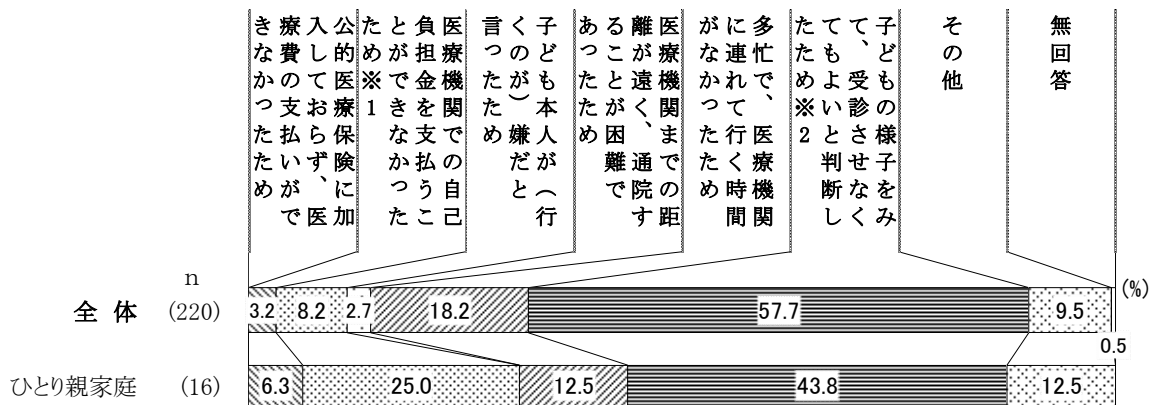
過去1年間に医療機関の受診が必要な時に受診させなかった経験があると回答した方の理由は、全体では「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が57.7%と最も高く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が18.2%となっている。

所得区分別では、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が所得区分2で61.7%、所得区分3で59.6%と高くなっている。「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」は所得区分3で21.2%と高くなっている。

所得区分1はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

第2章 調査結果の詳細

【ひとり親家庭】



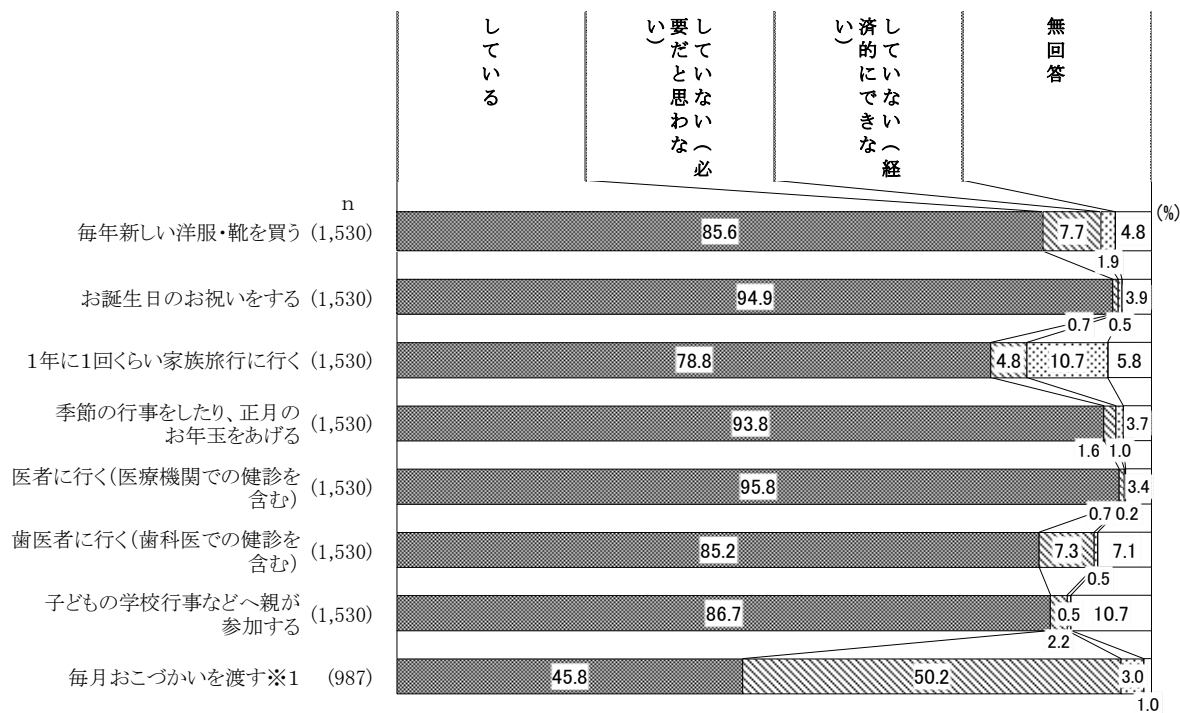
※1 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため

※2 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため

ひとり親家庭では、サンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(5) 家庭での子どもへの関わり

問31 あなたの家庭では、宛名のお子さんに次のことをしていますか。(それぞれ1つに○)



※1 調査対象は小学生以上

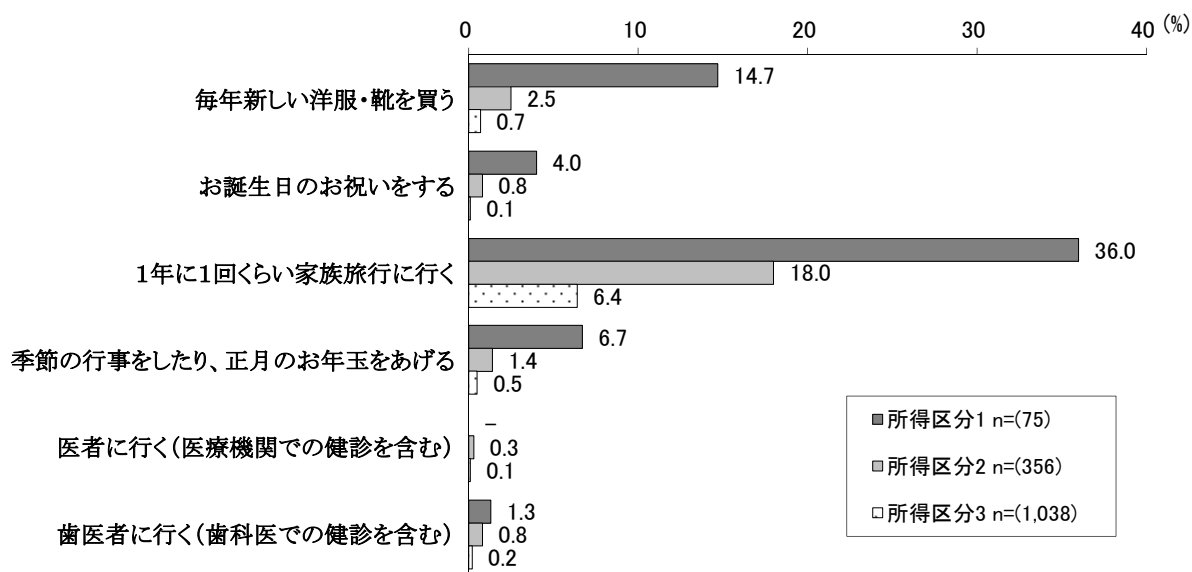
調査対象		n	している (%)	していない(必要だと思わない) (%)	していない(経済的にできない) (%)	無回答 (%)
すべての子ども	毎年新しい洋服・靴を買う	1,530	85.6	7.7	1.9	4.8
	お誕生日のお祝いをする	1,530	94.9	0.7	0.5	3.9
	1年に1回くらい家族旅行に行く	1,530	78.8	4.8	10.7	5.8
	季節の行事をしたり、正月のお年玉をあげる	1,530	93.8	1.6	1.0	3.7
	医者に行く(医療機関での健診を含む)	1,530	95.8	0.7	0.2	3.4
	歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	1,530	85.2	7.3	0.5	7.1
	子どもの学校行事などへ親が参加する	1,530	86.7	2.2	0.5	10.7
小学生・小学生以下・小学生以上・高校・中学校	毎月おこづかいを渡す	987	45.8	50.2	3.0	1.0

第2章 調査結果の詳細

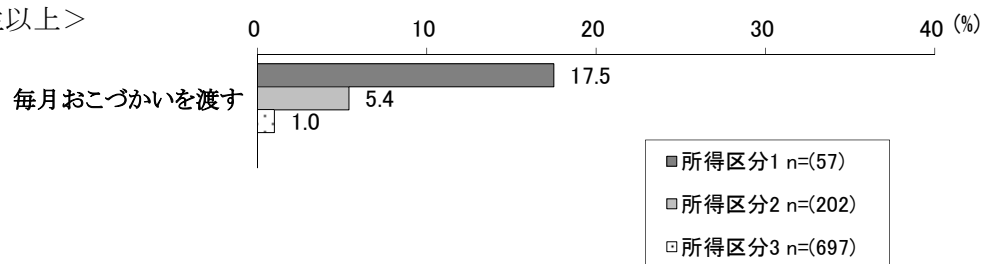
宛名のお子さんとの家庭での関わりは、「している」は医者に行く（医療機関での健診を含む）が95.8%、お誕生日のお祝いをするが94.9%、季節の行事をしたり、正月のお年玉をあげるが93.8%で9割を超えて高くなっている。「していない（必要だと思わない）」は、毎月おこづかいを渡すが50.2%で「している」より高くなっている。また、「していない（経済的にできない）」は1年に1回くらい家族旅行に行くが10.7%となっている。

【していない（経済的にできない）の割合】（所得区分別）

<集計対象：すべての子ども>



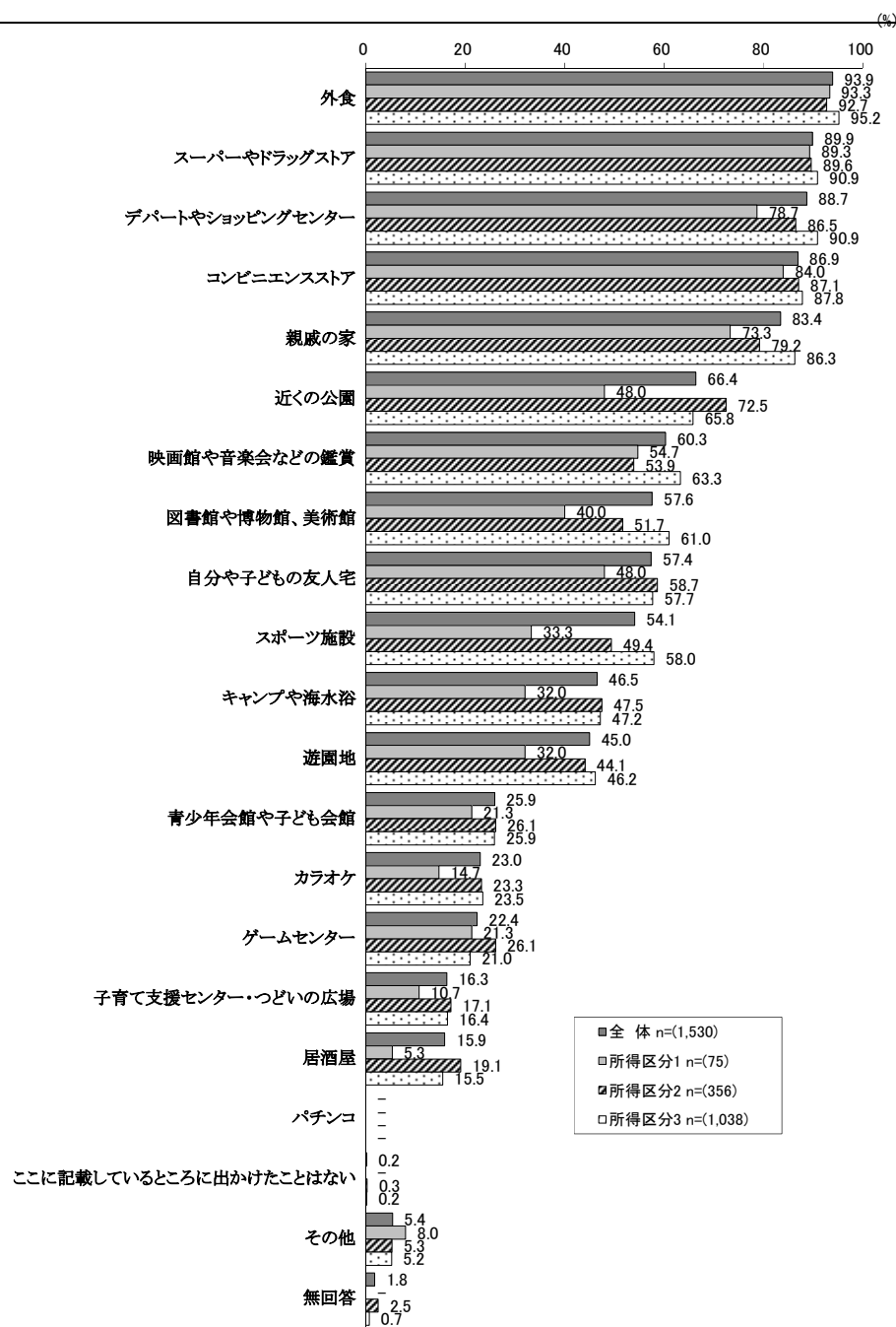
<集計対象：小学生以上>



「していない（経済的にできない）」の回答を所得区分別でみると、すべての項目で所得区分1の割合が高く、「1年に1回くらい家族旅行に行く」は36.0%、「毎年新しい洋服・靴を買う」14.7%、「季節の行事（ひな祭り、クリスマスなど）をしたり、正月のお年玉をあげる」6.7%となっている。また、小学生・中学生・高校生などの子どもがいる家庭では、「毎月おこづかいを渡す」は所得区分1で17.5%と高くなっている。

(6) 1年間に子どもと出かけたことがある場所

問32 過去1年間に、宛名のお子さんと出かけたことがある場所について教えてください。
(あてはまるものすべてに○)



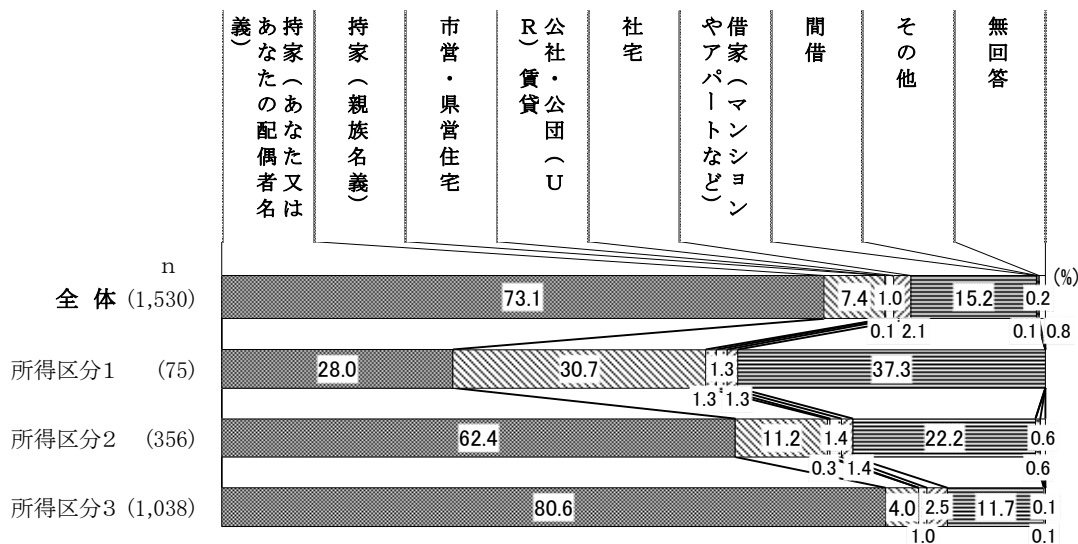
宛名のお子さんとは過去1年間に訪れたことがある場所については、全体では「外食」が93.9%で最も高く、次いで「スーパーやドラッグストア」89.9%、「デパートやショッピングセンター」88.7%、「コンビニエンスストア」86.9%、「親戚の家」83.4%などとなっている。

所得区別では、「外食」、「スーパーやドラッグストア」、「コンビニエンスストア」は所得区分による差はほとんどみられない。「デパートやショッピングセンター」、「親戚の家」、「映画館や音楽会などの鑑賞」、「図書館や博物館、美術館」、「スポーツ施設」、「遊園地」はいずれも所得区分3で最も高くなっている。「近くの公園」、「図書館や博物館、美術館」、「自分や子どもの友人宅」、「スポーツ施設」、「キャンプや海水浴」、「遊園地」などは所得区分1で割合が低い傾向となっている。

4. 暮らしの状況について

(1) 住居の状況

問33 現在の住居の状況について教えてください。(1つに○)

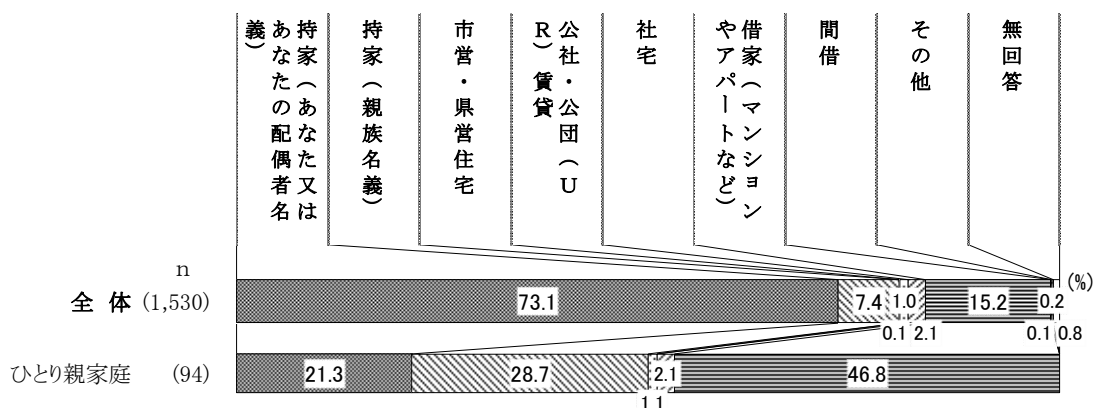


	n	持家(あなた又はあなたの配偶者名義)	持家(親族名義)	市営・県営住宅	公社・公団(U R)賃貸	社宅	借家(マンションやアパートなど)	間借	その他	無回答
全体	1,530	73.1	7.4	0.1	1.0	2.1	15.2	0.1	0.2	0.8
所得区分1	75	28.0	30.7	1.3	1.3	1.3	37.3	-	-	-
所得区分2	356	62.4	11.2	0.3	1.4	1.4	22.2	-	0.6	0.6
所得区分3	1,038	80.6	4.0	-	1.0	2.5	11.7	0.1	0.1	-

現在の住居の状況については、全体では「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」が73.1%で最も高く、「借家（マンションやアパートなど）」が15.2%、「持家（親族名義）」が7.4%となっている。

所得区分別では、「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」は所得区分3で80.6%と最も高く、所得区分2で62.4%となっている。「借家（マンションやアパートなど）」は所得区分1で37.3%と高い。

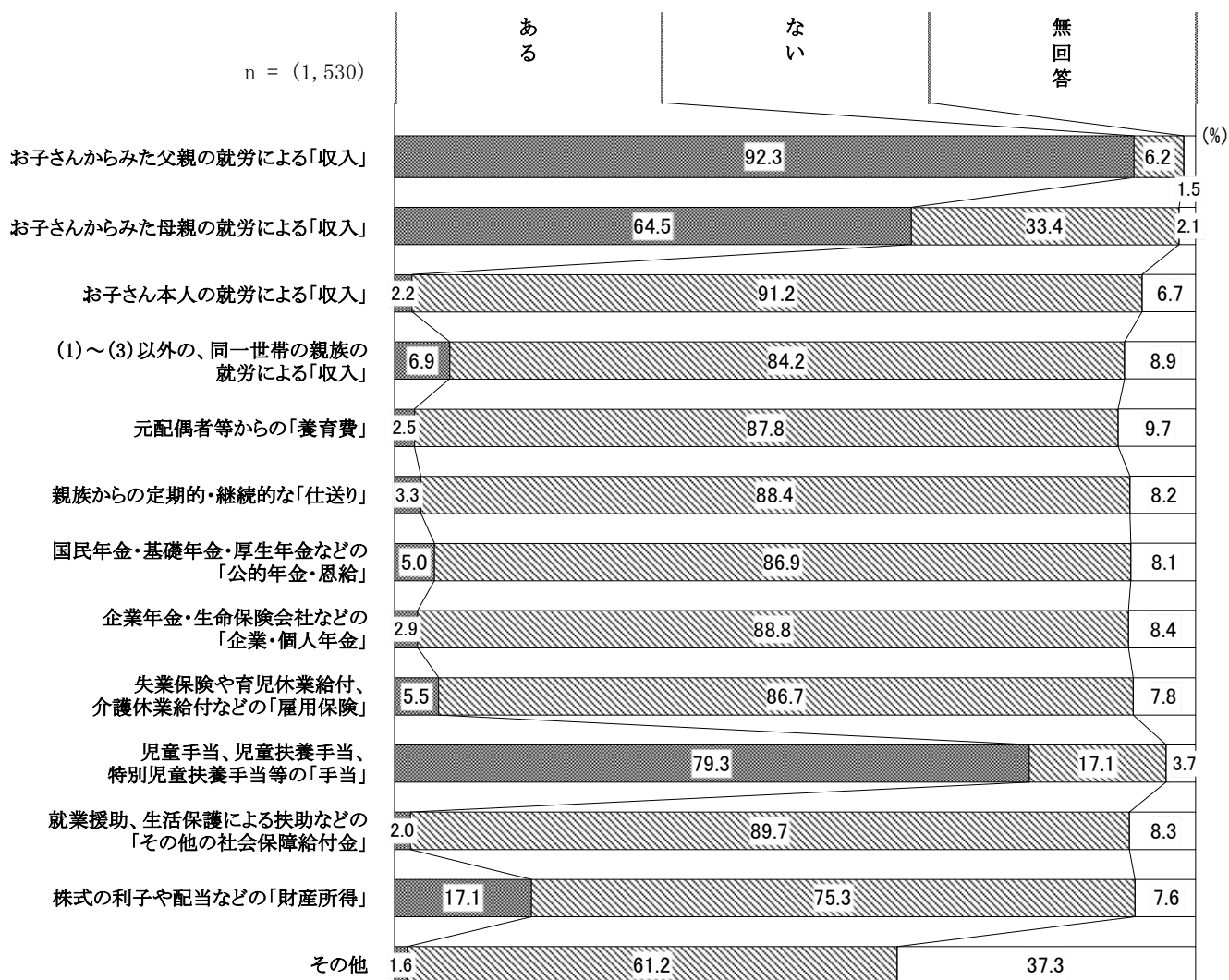
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「借家（マンションやアパートなど）」が46.8%で最も高く、次いで「持家（親族名義）」28.7%となっている。

(2) 手当等の受給や所得の状況

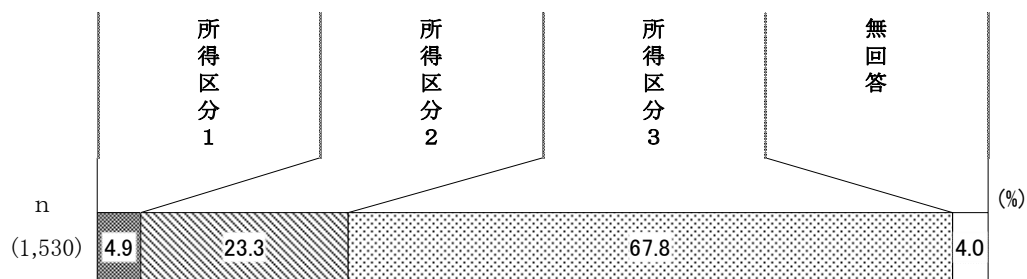
問34 あなたの世帯全体では1年間に、以下の手当等の受給や所得はありましたか。(それぞれ1つに○)



世帯全体における1年間の手当等の受給や所得については、「ある」は父親の就労による「収入」が92.3%、母親の就労による「収入」が64.5%、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等の「手当」が79.3%、株式の利子や配当などの「財産所得」が17.1%となっている。

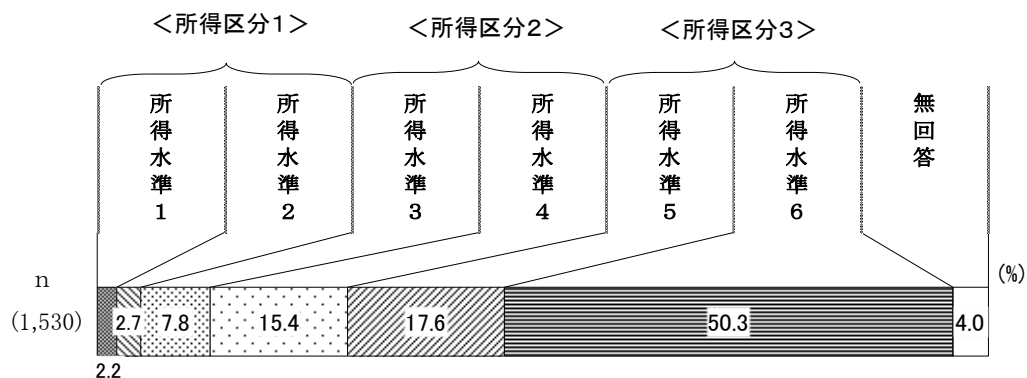
(3) 世帯のおおよその可処分所得

問35 あなたの世帯の昨年1年間の可処分所得（いわゆる手取り収入）は、おおよそどのくらいですか。（世帯員人数に応じていずれかあてはまる番号1つに○）



世帯の昨年1年間のおおよその可処分所得については、「所得区分3」が67.8%で最も高く、「所得区分2」は23.3%、「所得区分1」は4.9%となっている。

<所得水準（6区分）ごとの結果>



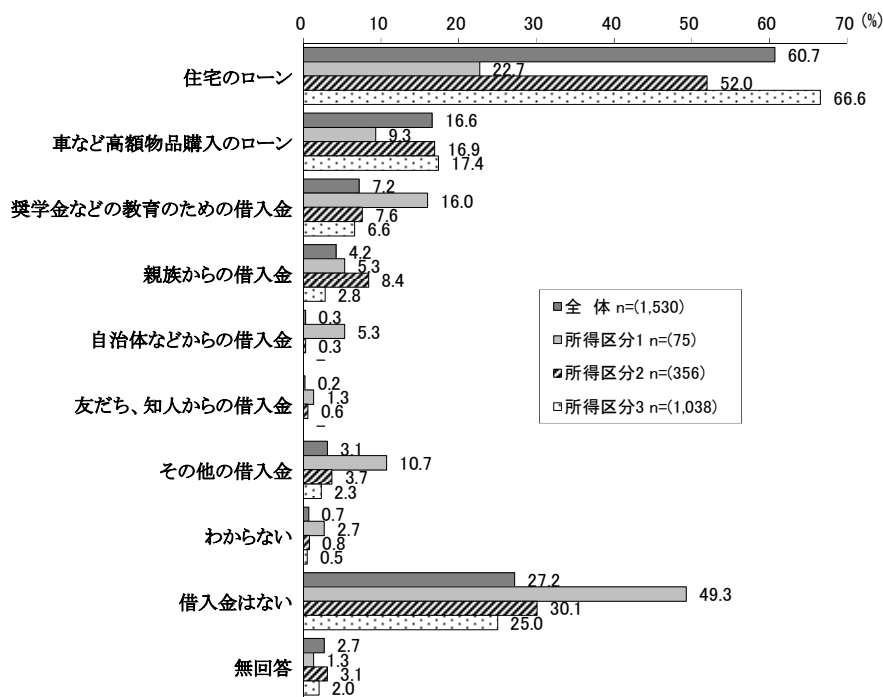
調査票で設定した所得水準（6区分）ごとの結果については、「所得水準6」が50.3%で最も高くなっている。国の貧困線を下回る水準と考えられる<所得区分1>のうち、「所得水準1」は2.2%、「所得水準2」は2.7%となっている。

本調査における所得区分（3区分）・所得水準（6区分）

世帯員人数	国の貧困線の基準 (可処分所得) (平成27年)	可処分所得の水準					
		所得区分 1		所得区分 2		所得区分 3	
		所得水準 1	所得水準 2	所得水準 3	所得水準 4	所得水準 5	所得水準 6
1人	122万円未満	60万円未満	60万円～120万円未満	120万円～180万円未満	180万円～240万円未満	240万円～300万円未満	300万円以上
2人	173万円未満	85万円未満	85万円～175万円未満	175万円～260万円未満	260万円～345万円未満	345万円～430万円未満	430万円以上
3人	212万円未満	105万円未満	105万円～210万円未満	210万円～315万円未満	315万円～420万円未満	420万円～525万円未満	525万円以上
4人	245万円未満	120万円未満	120万円～245万円未満	245万円～365万円未満	365万円～485万円未満	485万円～605万円未満	605万円以上
5人	274万円未満	135万円未満	135万円～275万円未満	275万円～410万円未満	410万円～545万円未満	545万円～680万円未満	680万円以上
6人	300万円未満	150万円未満	150万円～300万円未満	300万円～450万円未満	450万円～600万円未満	600万円～750万円未満	750万円以上
7人	324万円未満	160万円未満	160万円～325万円未満	325万円～485万円未満	485万円～645万円未満	645万円～805万円未満	805万円以上
8人	346万円未満	175万円未満	175万円～345万円未満	345万円～520万円未満	520万円～695万円未満	695万円～870万円未満	870万円以上
9人以上	367万円未満	185万円未満	185万円～365万円未満	365万円～550万円未満	550万円～735万円未満	735万円～920万円未満	920万円以上

(4) 世帯の借入金の状況

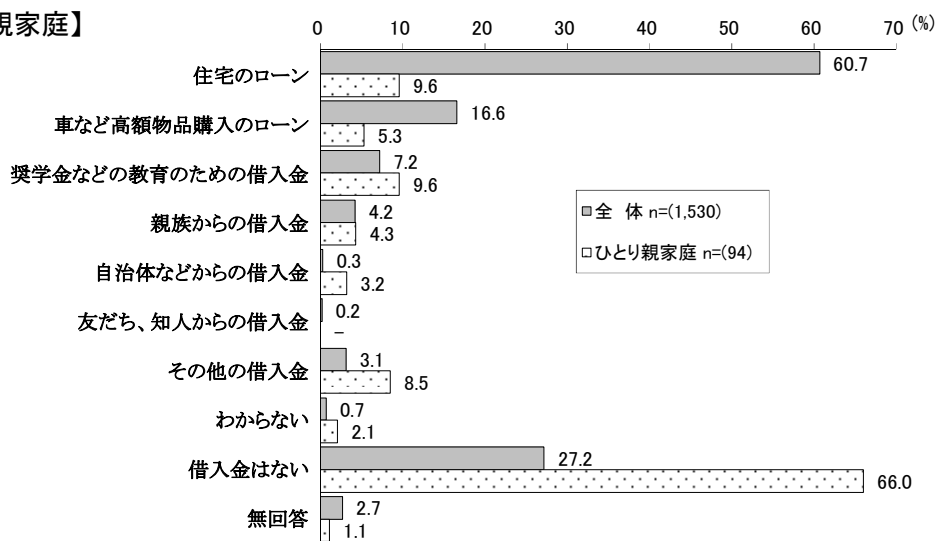
問36 あなたの世帯には、次のような借入金がありますか。(あてはまるものすべてに○)



世帯の借入金の状況については、全体では「住宅のローン」が60.7%で最も高く、次いで「車など高額物品購入のローン」16.6%、「奨学金などの教育のための借入金」7.2%などとなっている。一方、「借入金はない」は27.2%となっている。

所得区分別では、「住宅のローン」は所得区分3で66.6%と最も高く、所得区分2で52.0%、所得区分1では22.7%となっている。「奨学金などの教育のための借入金」は、所得区分1で16.0%と高くなっている。一方、「借入金はない」は、所得区分1で49.3%と高くなっている。

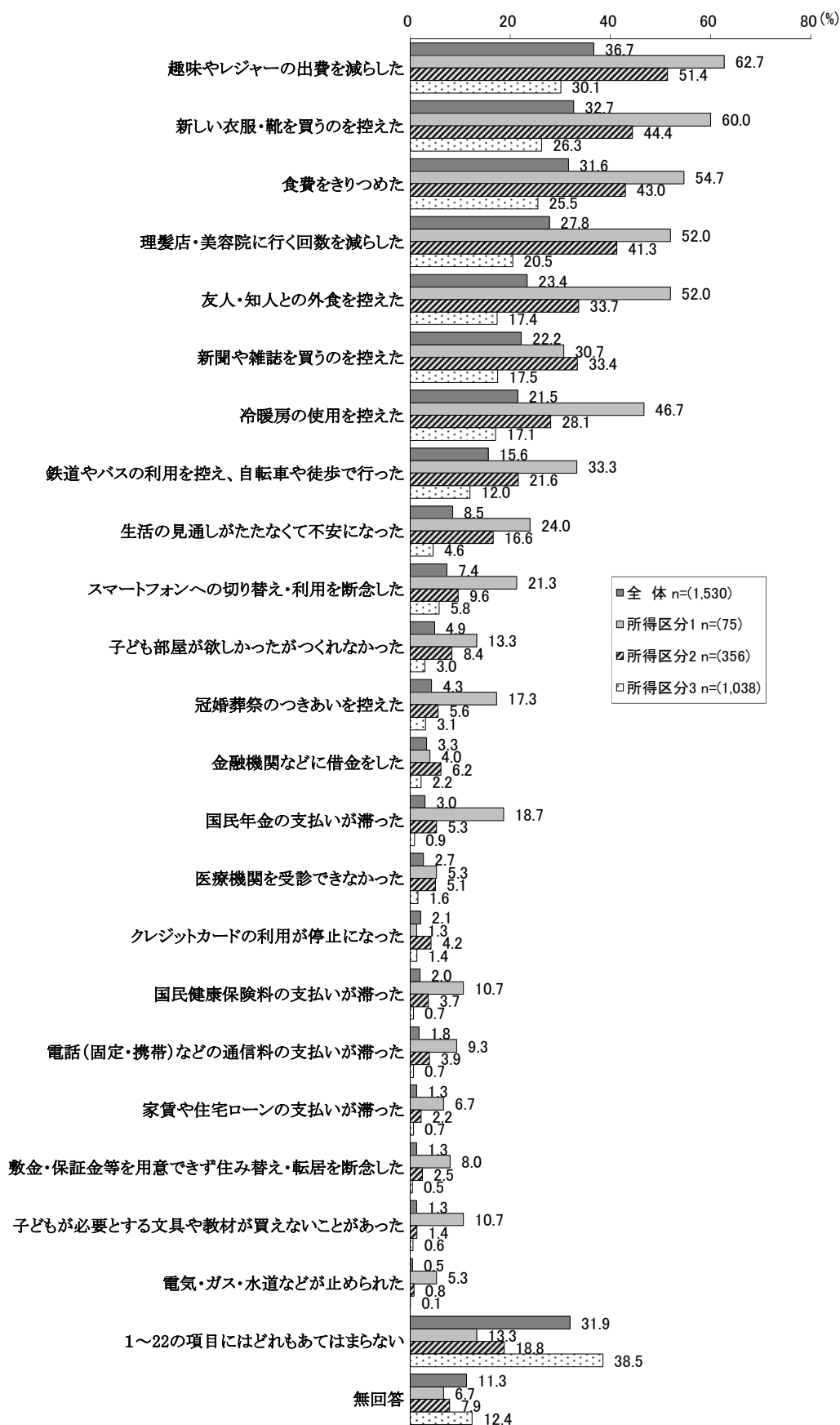
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「住宅ローン」、「奨学金などの教育のための借入金」がそれぞれ9.6%となっているが、「借入金はない」が66.0%と最も高くなっている。

(5) 支払いの遅延や購入できなかった経験の有無

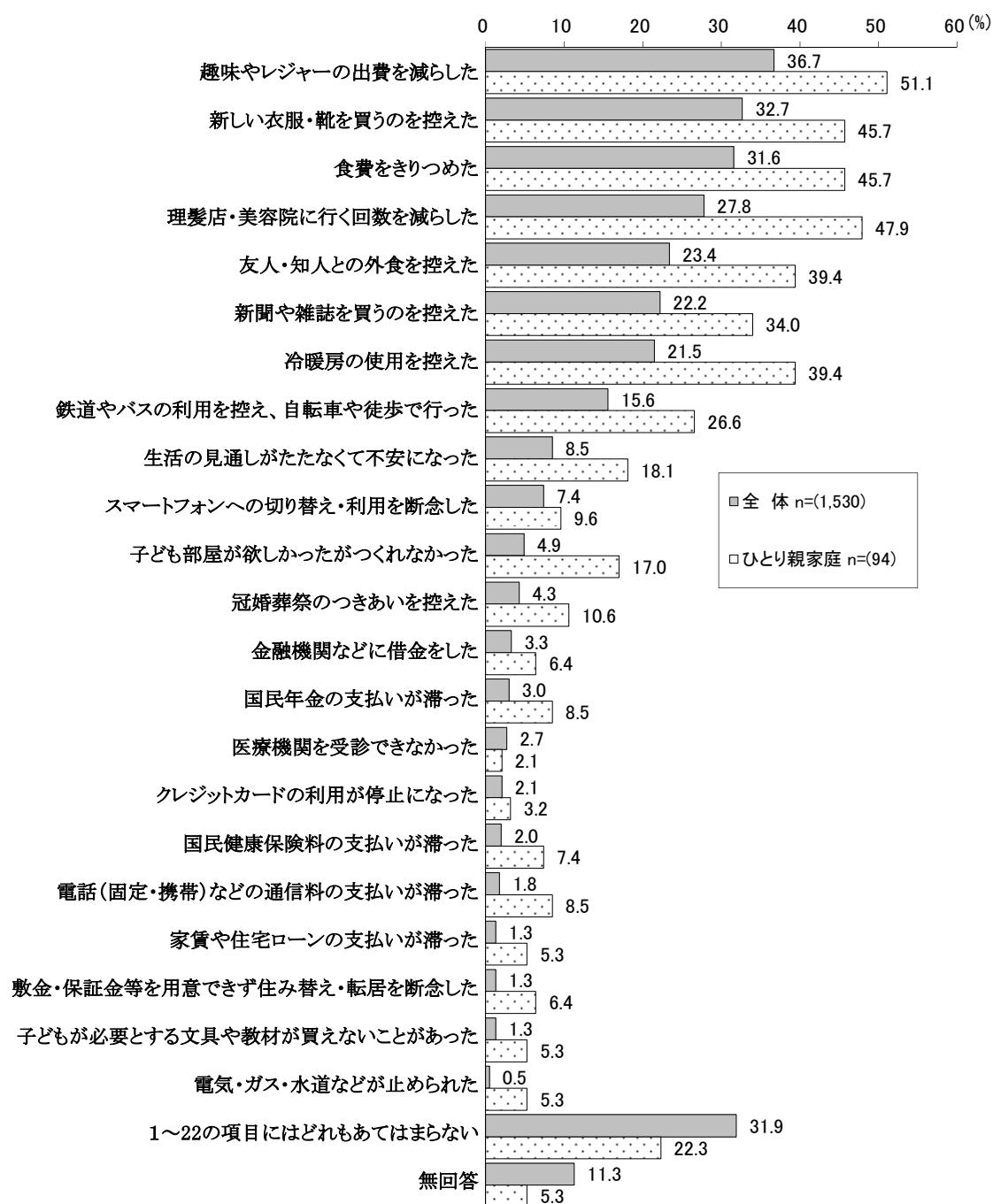
問37 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおよそ半年の間でお考えください。(あてはまるものすべてに○)



経済的な理由で支払いの遅延や購入できなかった経験の有無については、全体では「趣味やレジャーの出費を減らした」(36.7%)、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(32.7%)、「食費をきりつめた」(31.6%)などが多く挙げられている。

所得区分別では、所得区分1で多くの項目が他の所得区分より高く、過半数となっている項目も多い。「食費をきりつめた」(54.7%)のほか、「生活の見通しがたたなくて不安になった」(24.0%)も生活に関わる困難も挙げられている。

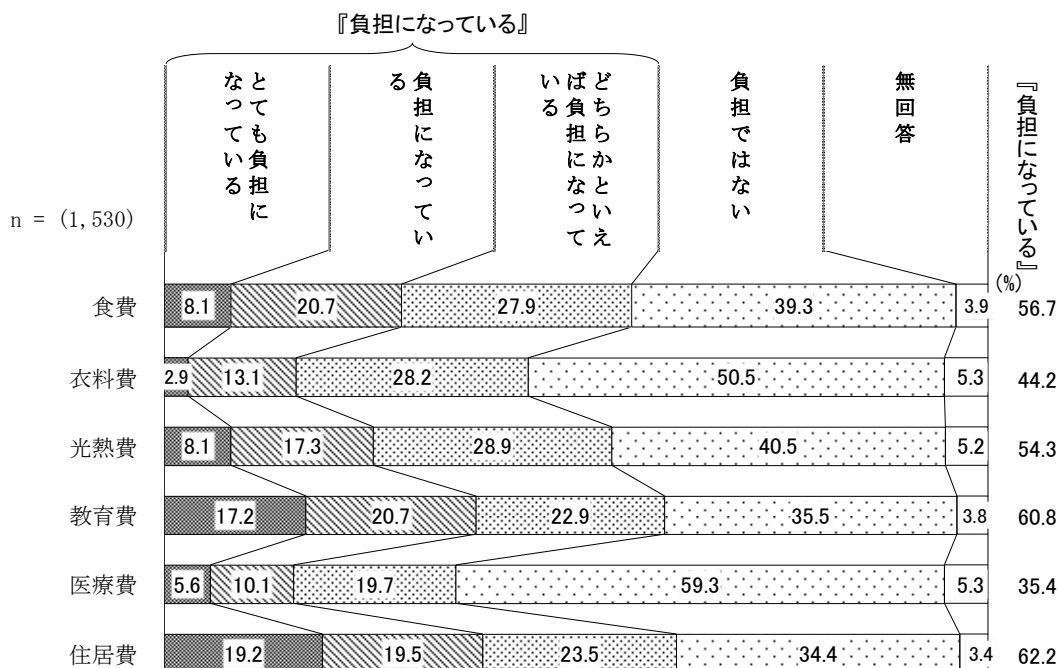
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「食費をきりつめた」、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」、「冷暖房の使用を控えた」など日常生活に直結する事柄の割合が高くなっている。

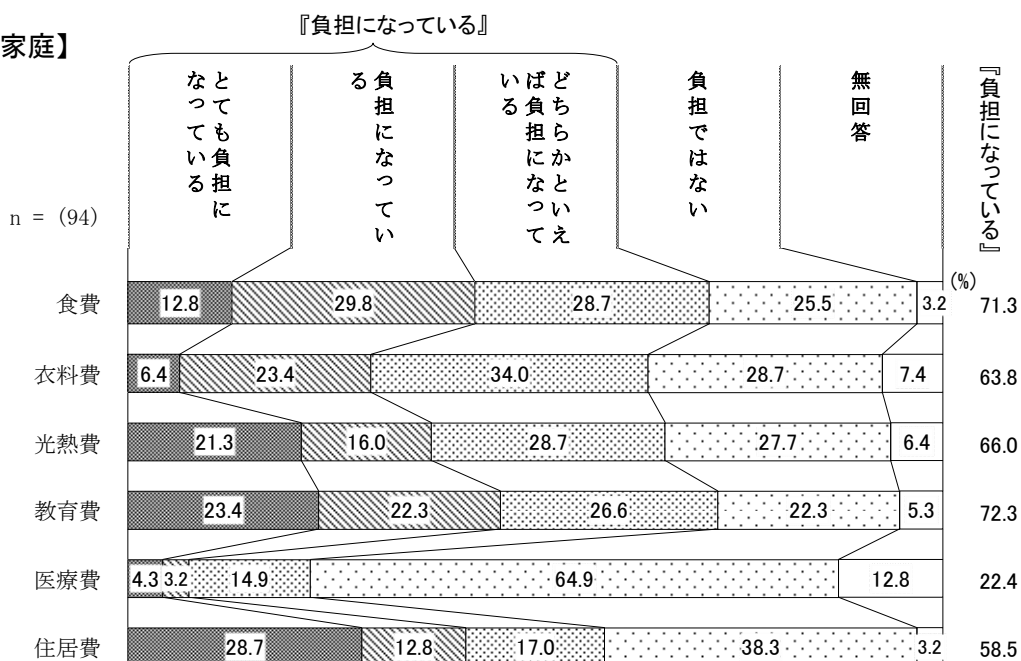
(6) 暮らしにかかる経費で経済的に負担になっているもの

問38 次のうち、経済的に負担になっているものはありますか。(それぞれ1つに○)



暮らしにかかる経費で経済的に負担になっているものについては、「とても負担になっている」と「負担になっている」、「どちらかといえば負担になっている」を合わせた『負担になっている』は住居費が62.2%で最も高く、教育費60.8%、食費56.7%、光熱費54.3%となっている。「負担ではない」は医療費が59.3%で負担感が低い結果となっている。

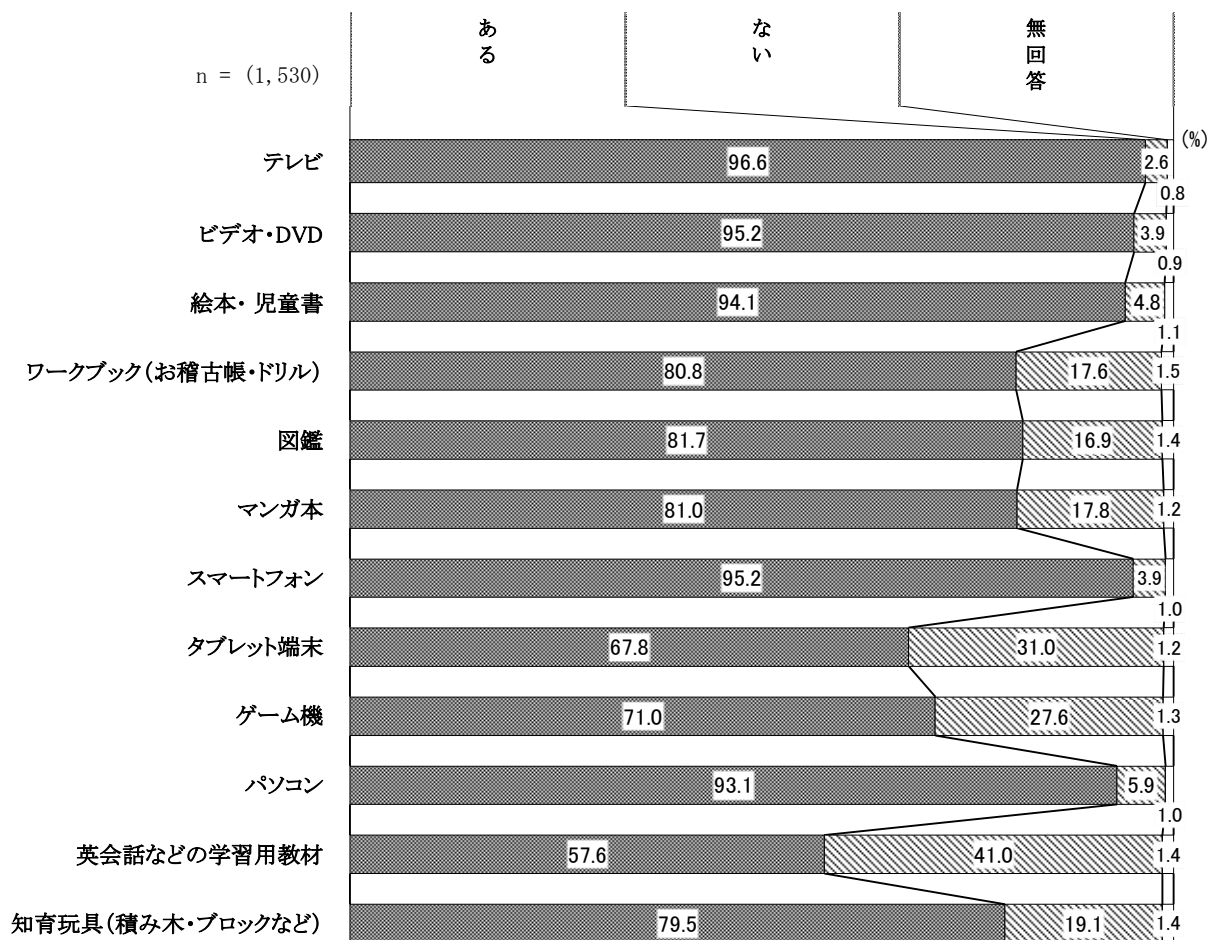
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、『負担になっている』は教育費が72.3%で最も高く、食費71.3%、光熱費66.0%、衣料費63.8%となっている。「負担ではない」は医療費が64.9%で負担感が低い。

(7) 家電・本・玩具などの所有状況

問39 ご家庭にあるものについておたずねします。また、持っていない場合は、その理由を教えてください。(それぞれ1つに〇)

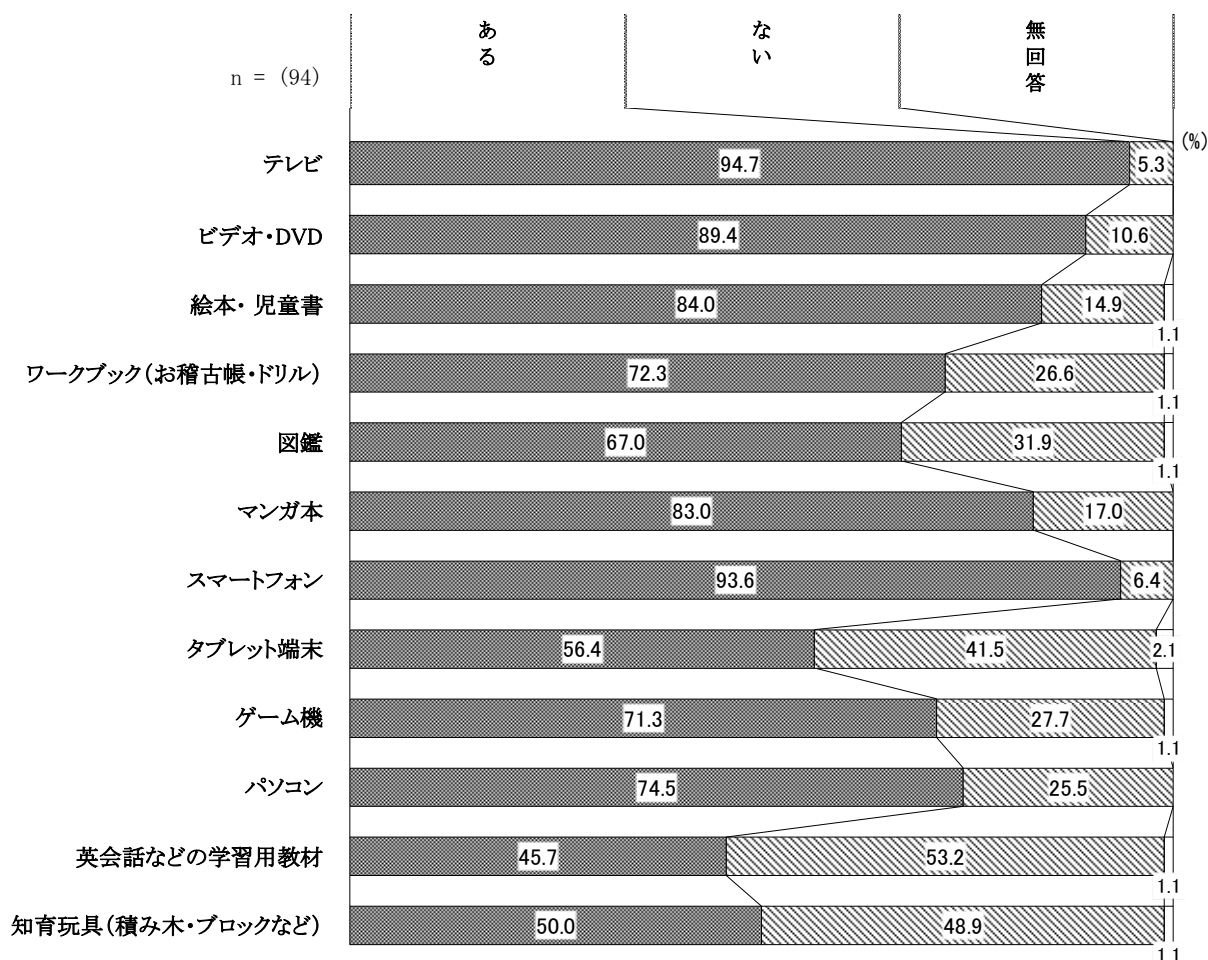


	n	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
テレビ	1,530	96.6	2.6	0.8
ビデオ・DVD	1,530	95.2	3.9	0.9
絵本・児童書	1,530	94.1	4.8	1.1
ワークブック(お稽古帳・ドリル)	1,530	80.8	17.6	1.5
図鑑	1,530	81.7	16.9	1.4
マンガ本	1,530	81.0	17.8	1.2
スマートフォン	1,530	95.2	3.9	1.0
タブレット端末	1,530	67.8	31.0	1.2
ゲーム機	1,530	71.0	27.6	1.3
パソコン	1,530	93.1	5.9	1.0
英会話などの学習用教材	1,530	57.6	41.0	1.4
知育玩具(積み木・ブロックなど)	1,530	79.5	19.1	1.4

第2章 調査結果の詳細

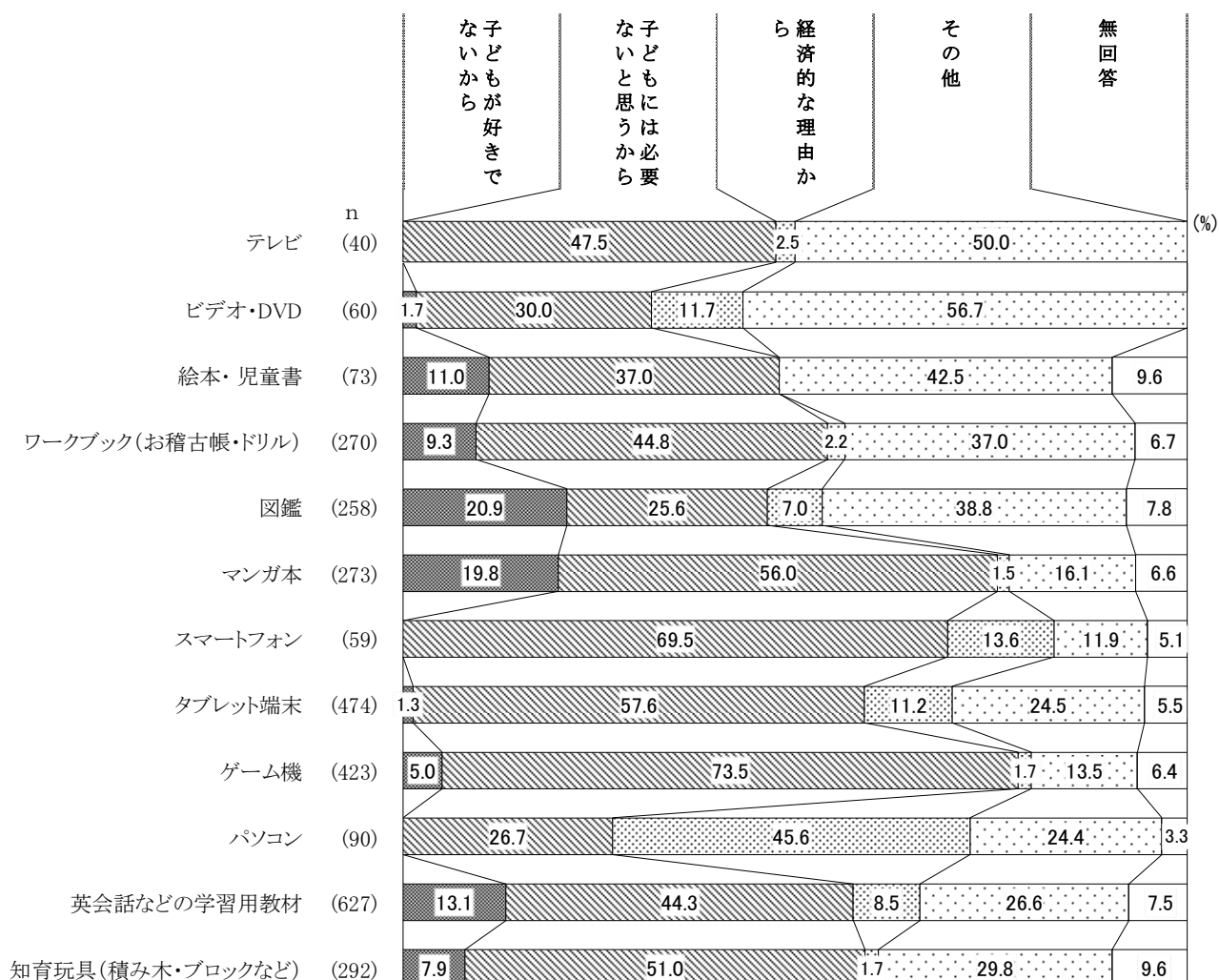
家電・本・玩具などの所有状況については、「ある」はテレビ、ビデオ・DVD、スマートフォン、絵本・児童書、パソコンで9割を超えて高い所有率となっている。「ない」は英会話などの学習用教材が41.0%で最も高くなっている。

【ひとり親家庭】



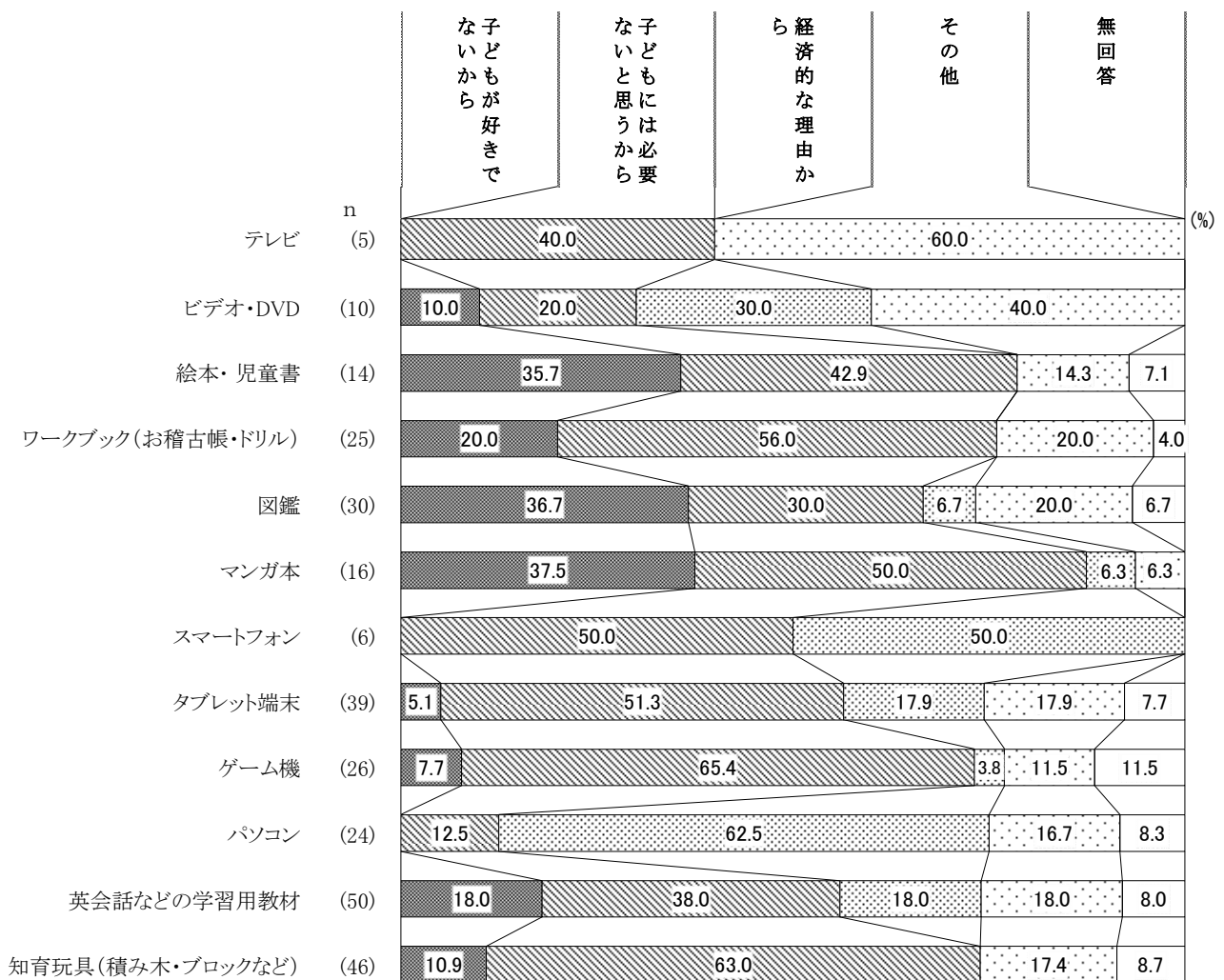
ひとり親家庭では、「ある」はテレビ、スマートフォンで9割を超えて高い所有率となっている。「ない」は英会話などの学習用教材が53.2%で最も高く、知育玩具（積み木・ブロックなど）が48.9%、タブレット端末が41.5%と高くなっている。

持っていない理由



持っていない理由は、「子どもが好きではないから」は図鑑20.9%、マンガ本19.8%が高く、「子どもには必要ないと思うから」はゲーム機が73.5%で最も高く、スマートフォンが69.5%となっている。「経済的な理由から」は、パソコンが45.6%と高くなっている。

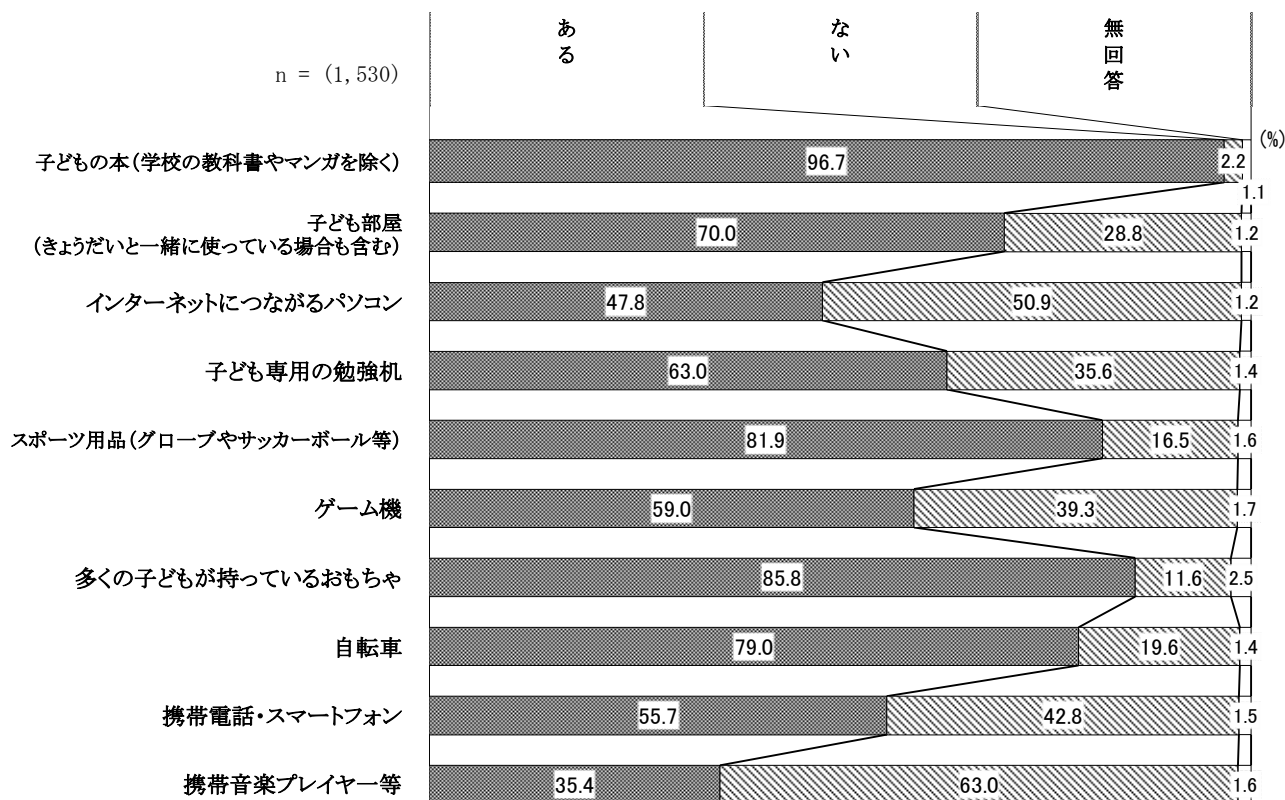
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「子どもが好きではないから」は英会話などの学習用教材が18.0%と高く、「子どもには必要ないと思うから」は知育玩具（積み木・ブロックなど）が63.0%と高くなっているが、他の項目はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

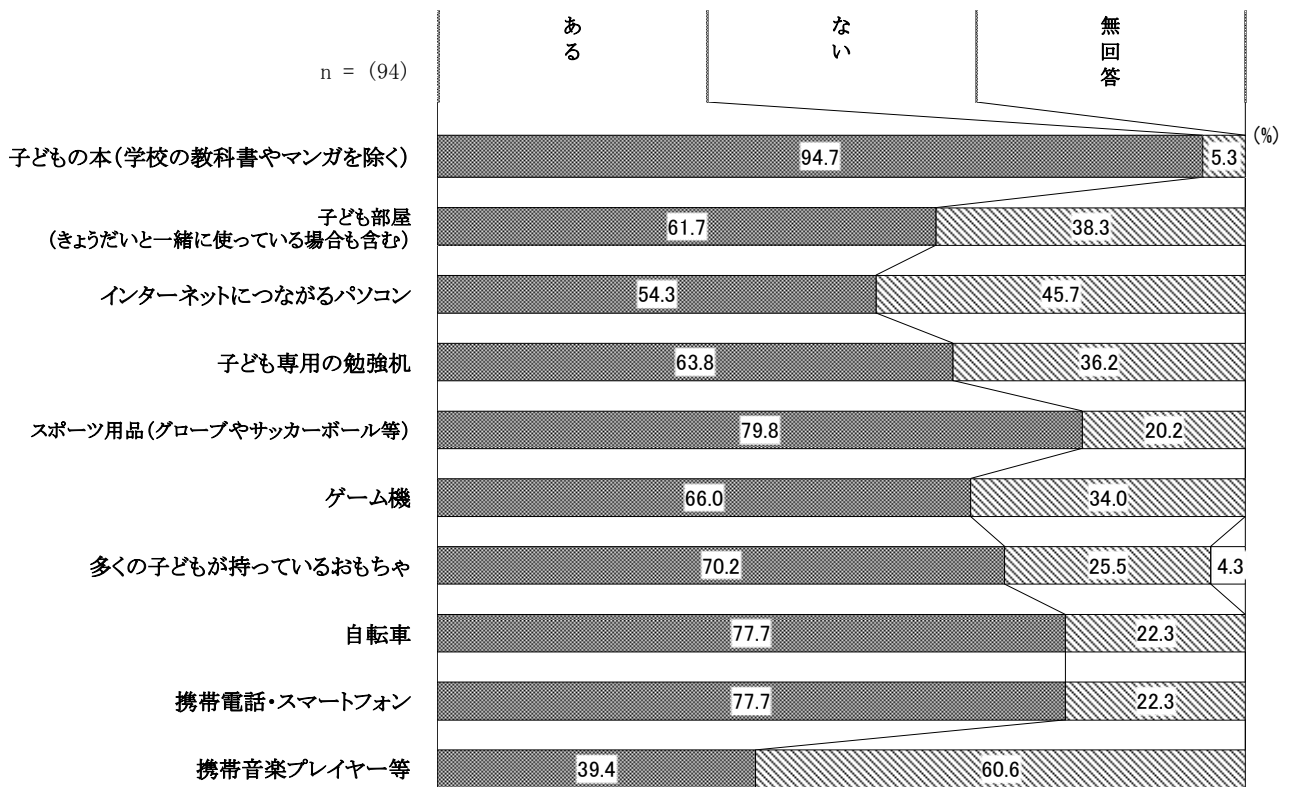
(8) 子ども用の本・用品等の所有状況

問40 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。(それぞれ1つに○)



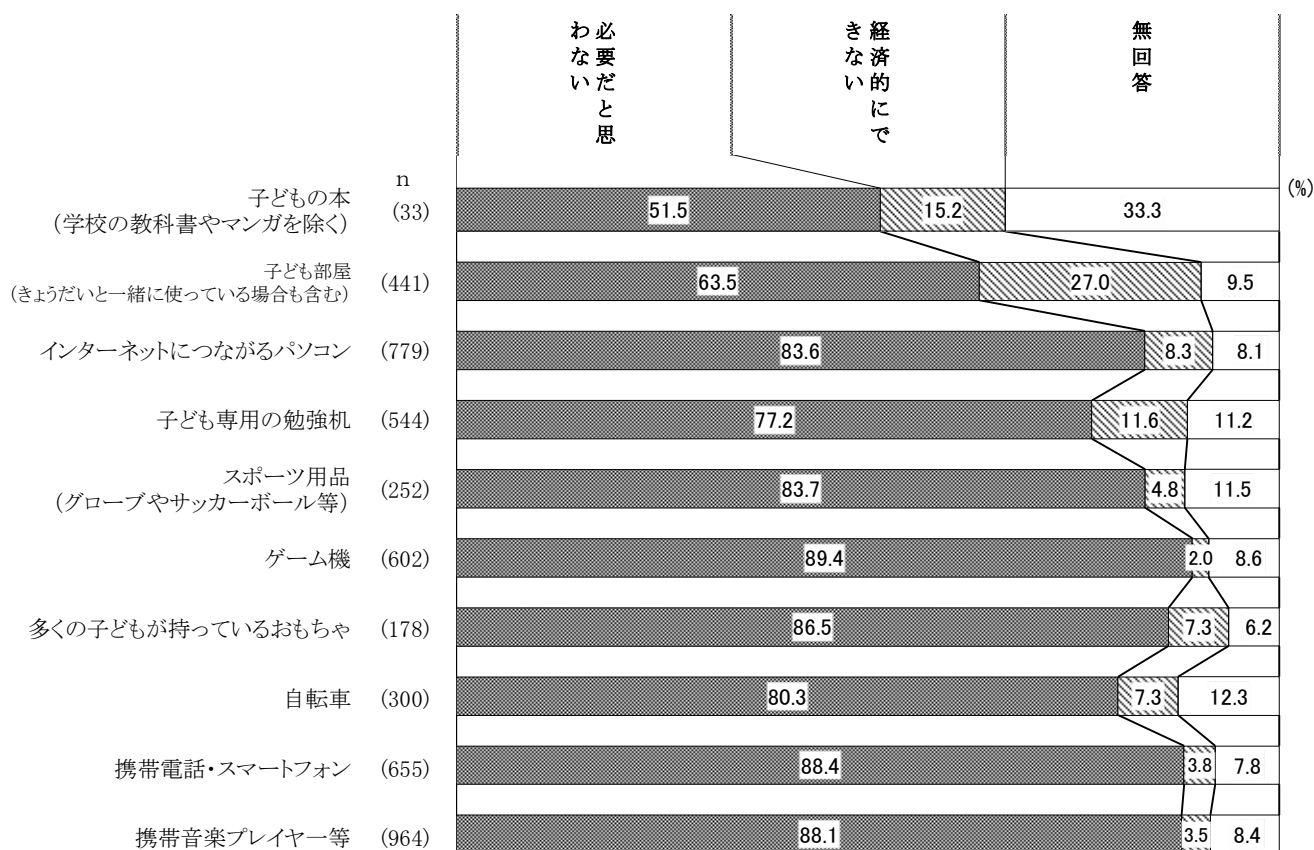
子ども用の本・用品等の所有状況については、「ある」は子どもの本（学校の教科書やマンガを除く）が96.7%、多くの子どもが持っているおもちゃが85.8%、スポーツ用品（グローブやサッカーボール等）が81.9%、自転車が79.0%と高い。「ない」は携帯音楽プレイヤー等が63.0%、インターネットにつながるパソコンが50.9%となっている。

【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「ある」は子どもの本（学校の教科書やマンガを除く）が94.7%、スポーツ用品（グローブやサッカーボール等）が79.8%、自転車、携帯電話・スマートフォンがそれぞれ77.7%となっている。「ない」は携帯音楽プレイヤー等が60.6%となっている。

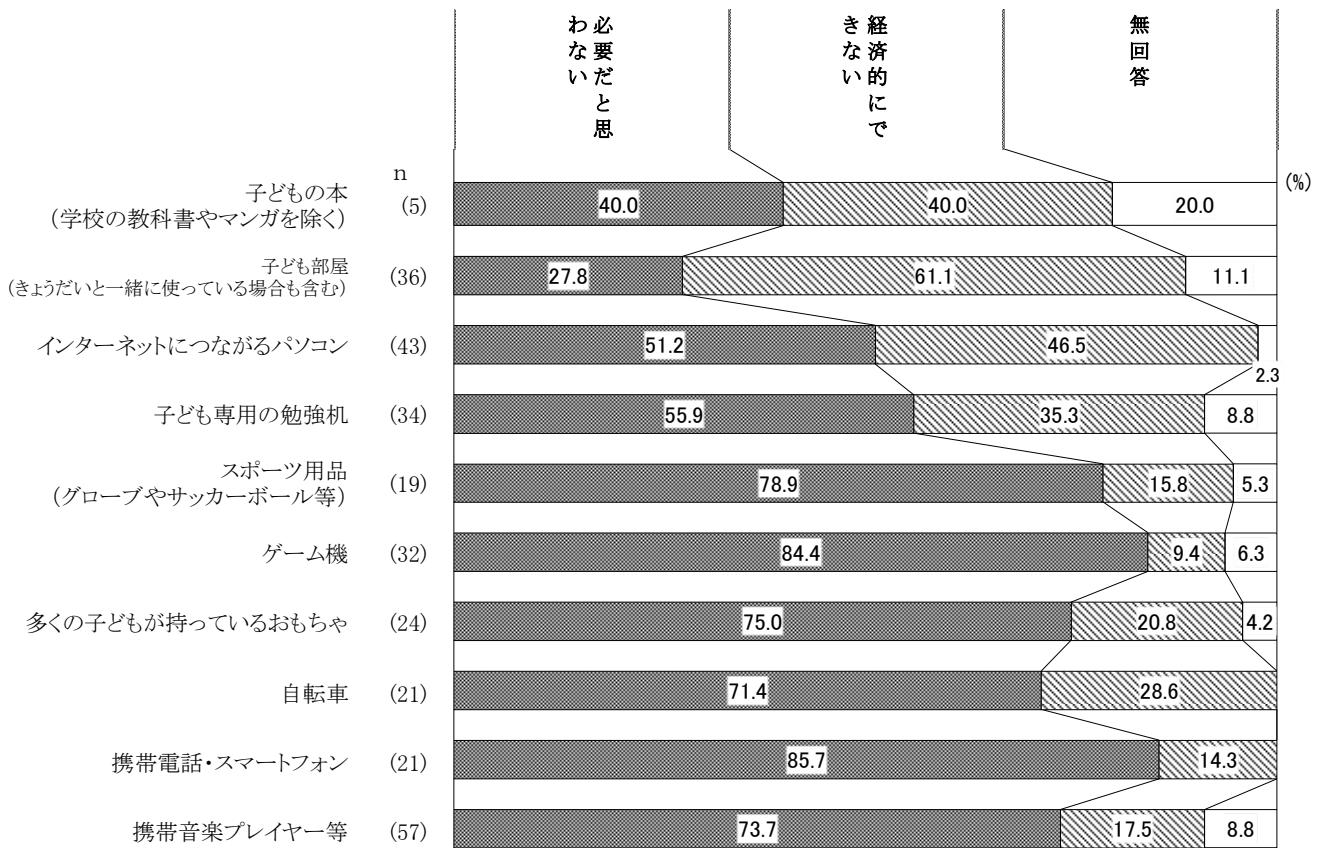
持っていない理由



持っていない理由は、「必要だと思わない」は子どもの本（学校の教科書やマンガを除く）と子ども部屋（きょうだいと一緒に使っている場合も含む）を除いて7割を超えて高くなっており、ゲーム機は89.4%と最も高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

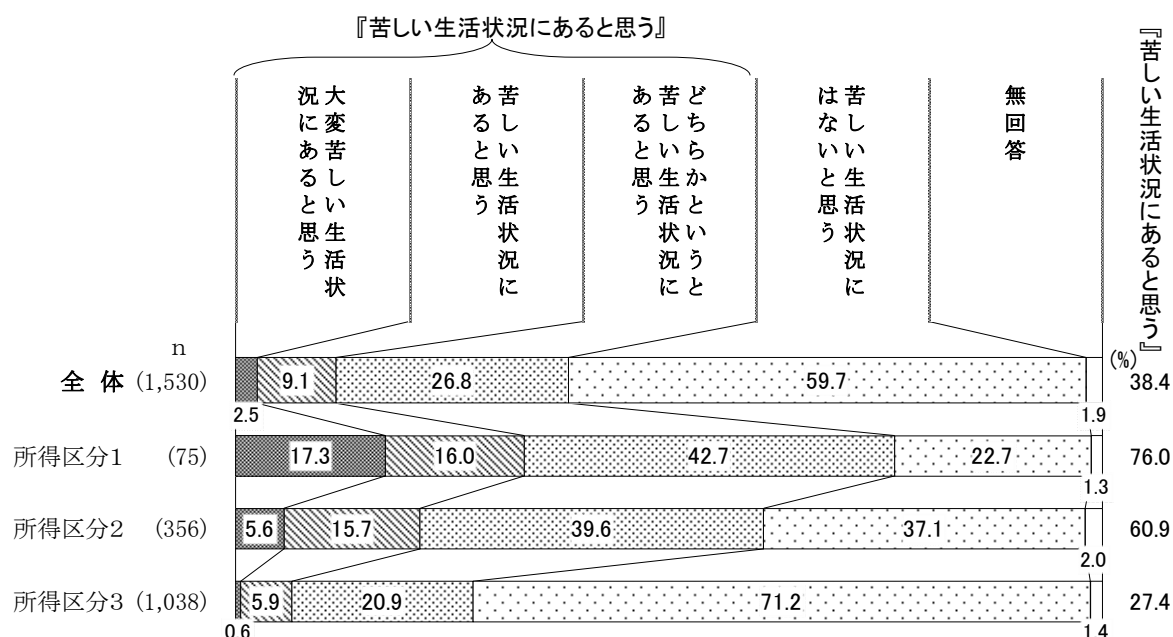
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、サンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(9) 暮らしの状況

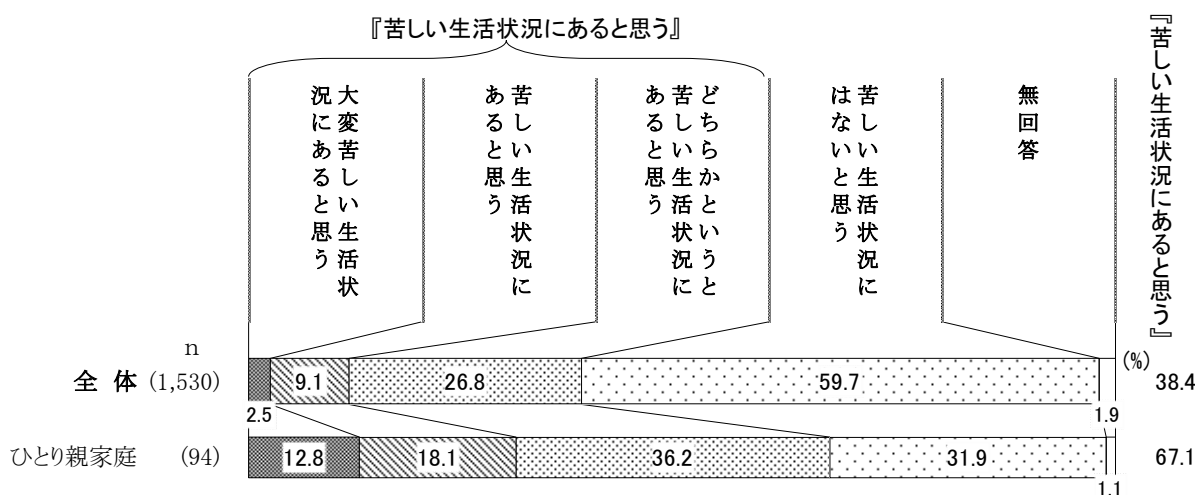
問41 現在、あなたのご家庭の暮らしはどのような状況にあると思いますか。(1つに○)



家庭の暮らしの状況については、全体では「大変苦しい生活状況にあると思う」と「苦しい生活状況にあると思う」、「どちらかという苦しい生活状況にあると思う」を合わせた『苦しい生活状況にあると思う』は38.4%、「苦しい生活状況にはないと思う」が59.7%となっている。

所得区分別では、『苦しい生活状況にあると思う』は所得区分1で76.0%と高くなっている。

【ひとり親家庭】



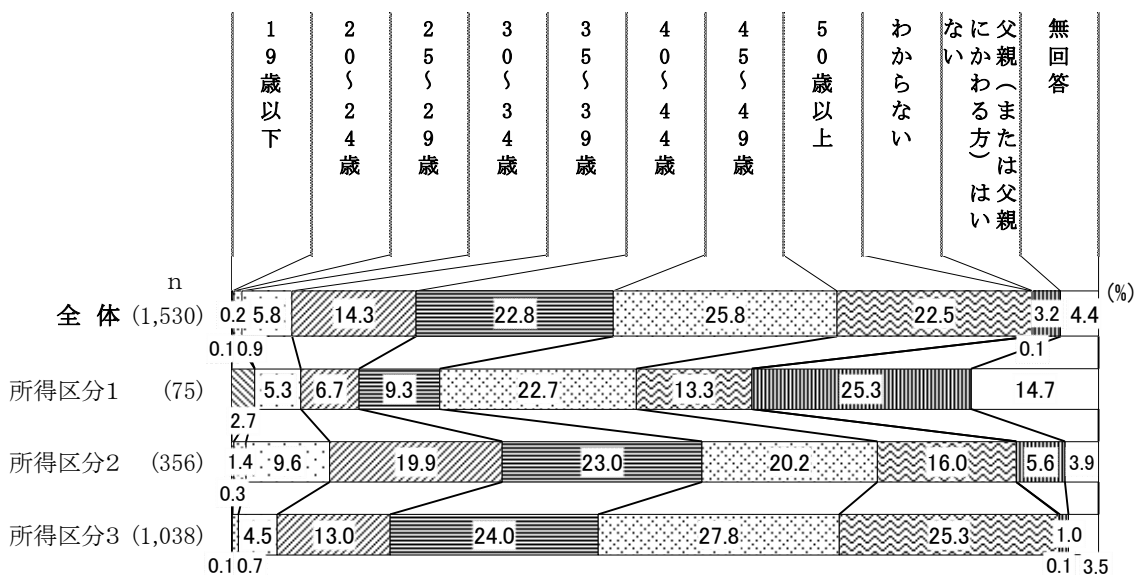
ひとり親家庭では、『苦しい生活状況にあると思う』は67.1%と高くなっている。

5. 保護者の状況について

(1) 保護者の年齢

問42 保護者の年齢を教えてください。(それぞれ1つに○)

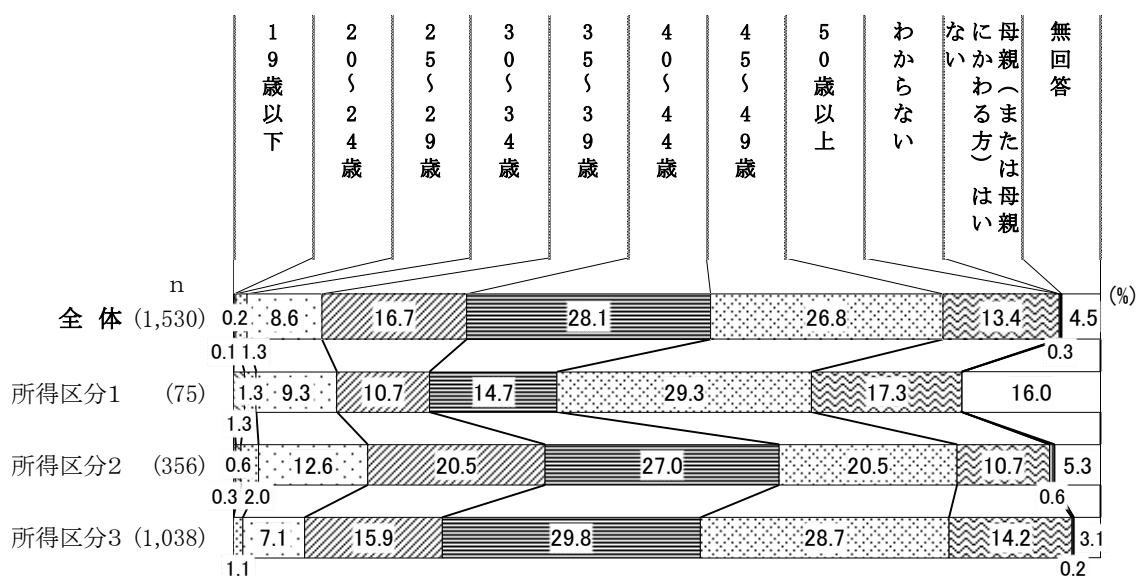
【父親】



	n	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	わからない	父親(または)は父親にかわる方はいない	無回答
全体	1,530	0.1	0.2	0.9	5.8	14.3	22.8	25.8	22.5	0.1	3.2	4.4
所得区分1	75	-	2.7	-	5.3	6.7	9.3	22.7	13.3	-	25.3	14.7
所得区分2	356	-	0.3	1.4	9.6	19.9	23.0	20.2	16.0	-	5.6	3.9
所得区分3	1,038	0.1	-	0.7	4.5	13.0	24.0	27.8	25.3	0.1	1.0	3.5

父親の年齢は、全体では「45～49歳」が25.8%、「40～44歳」が22.8%、「50歳以上」が22.5%となっている。

【母親】



	n	19歳以下	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50歳以上	わからない	父親(または父)にかわる方はいない	無回答
全体	1,530	0.1	0.2	1.3	8.6	16.7	28.1	26.8	13.4	-	0.3	4.5
所得区分1	75	-	1.3	1.3	9.3	10.7	14.7	29.3	17.3	-	-	16.0
所得区分2	356	0.3	0.6	2.0	12.6	20.5	27.0	20.5	10.7	-	0.6	5.3
所得区分3	1,038	-	-	1.1	7.1	15.9	29.8	28.7	14.2	-	0.2	3.1

母親の年齢は、全体では「40～44歳」が28.1%、「45～49歳」が26.8%、「35～39歳」が16.7%となっている。

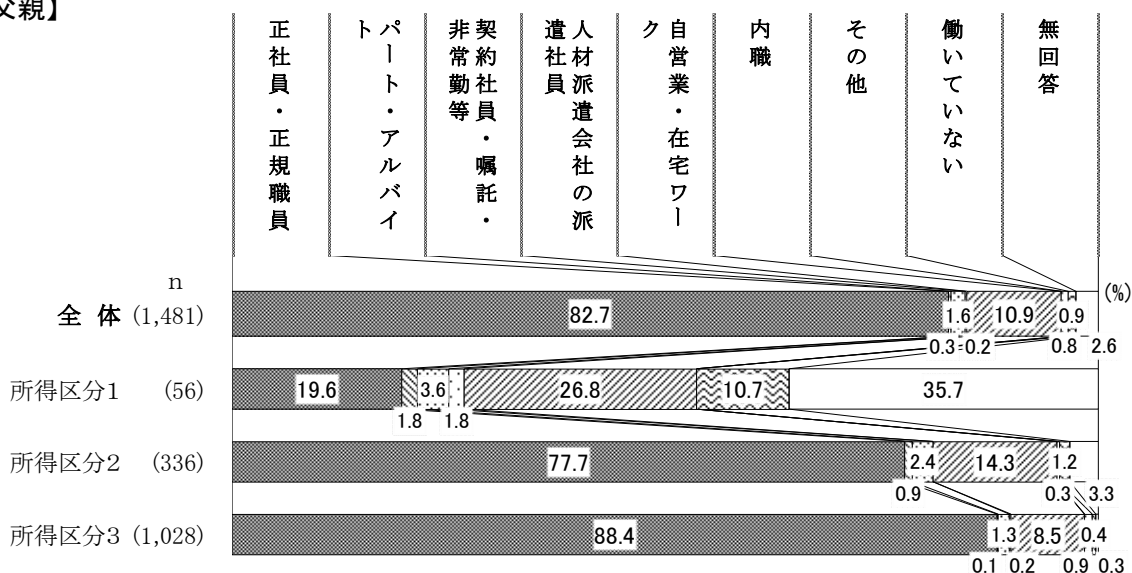
(2) 保護者の就業の状況

問43 保護者の働き方について教えてください。(それぞれ1つに○)

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職後に予定されている働き方をお答えください。

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。

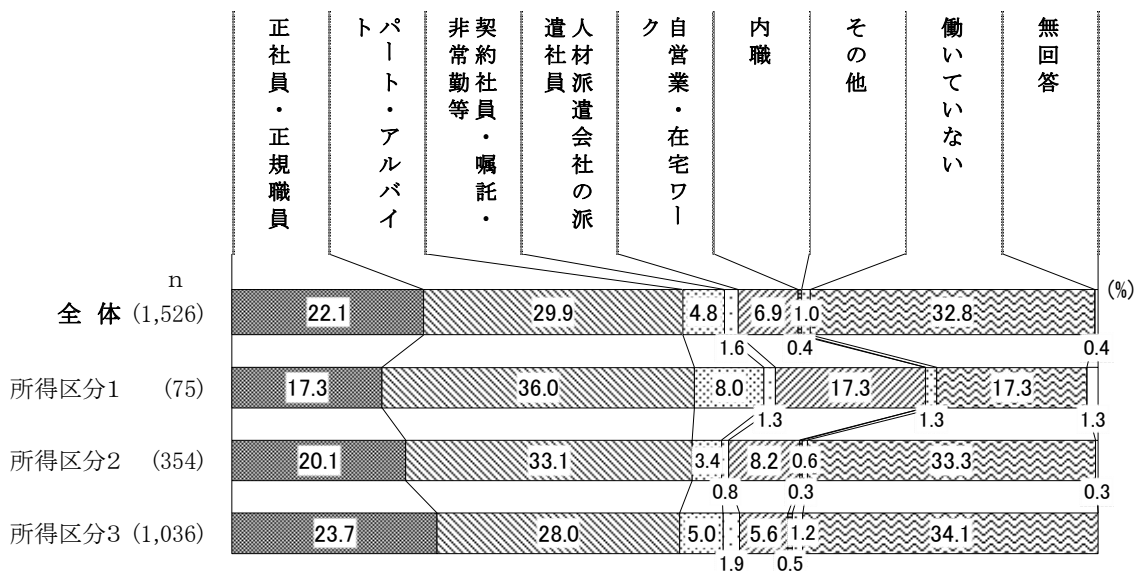
【父親】



父親の就業状況は、全体では「正社員・正規職員」は82.7%と高くなっている。

所得区分別では、「正社員・正規職員」は所得区分3で88.4%と最も高く、所得区分2で77.7%、所得区分1では19.6%となっている。所得区分1は「自営業・在宅ワーク」で高くなっている。

【母親】

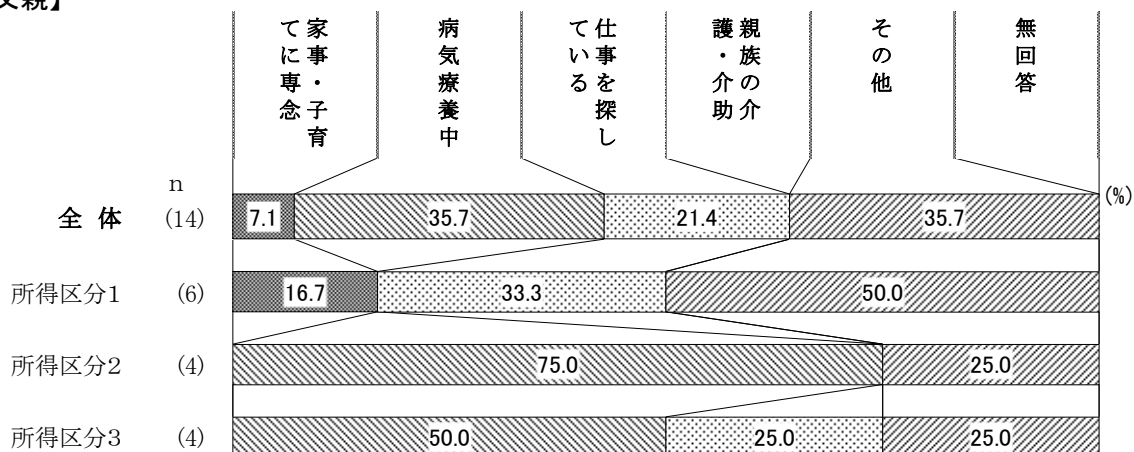


母親の就業状況は、全体では「働いていない」が32.8%で最も高く、「パート・アルバイト」29.9%、「正社員・正規職員」22.1%となっている。所得区分別では「働いていない」が所得区分3と所得区分2で3割台と高く、所得区分1では「パート・アルバイト」が高くなっている。

(3) 働いていない理由

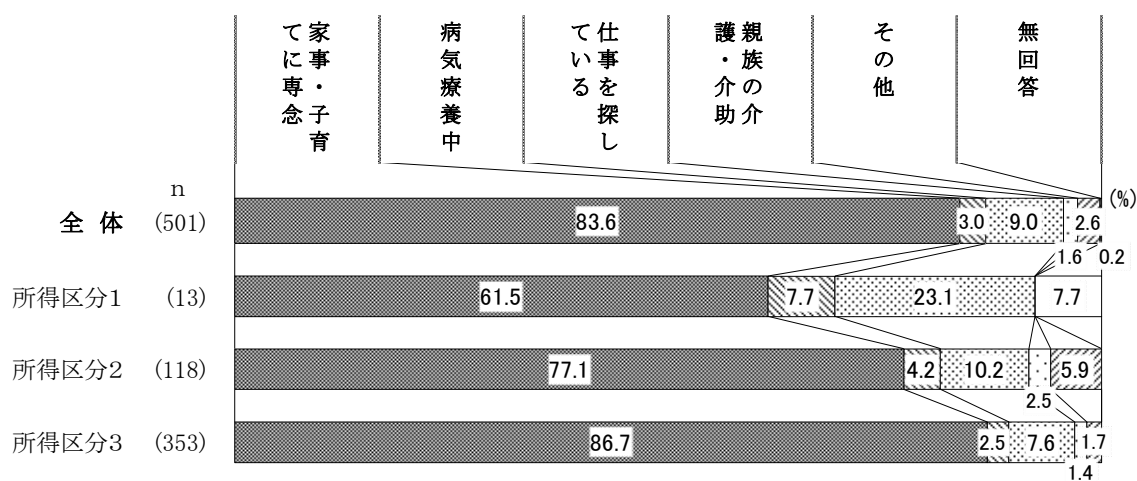
「8. 働いていない」と答えた理由を教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○)

【父親】



父親の働いていない理由はサンプル数が少ないため、傾向を見るにとどめる。

【母親】



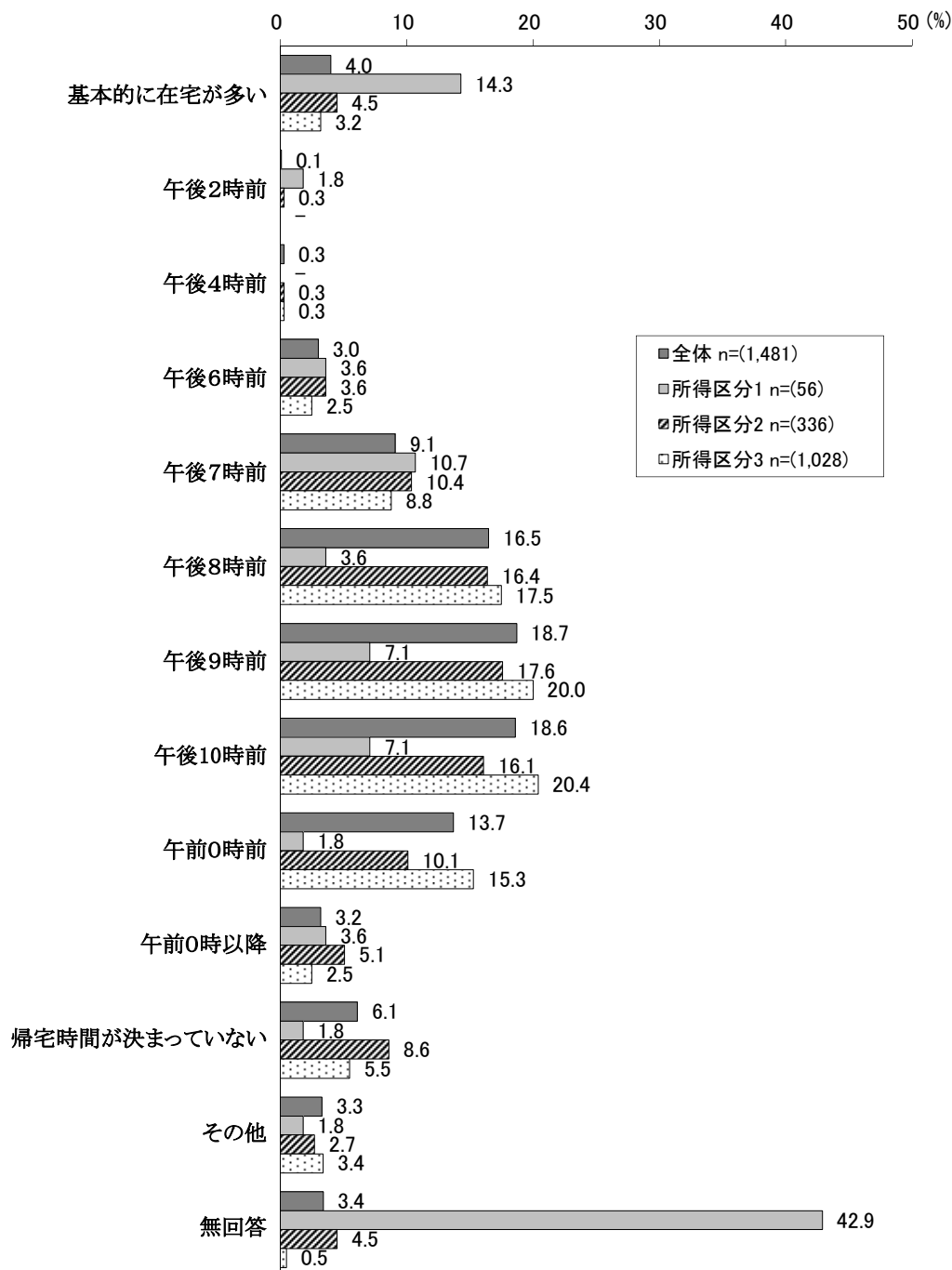
母親の働いていない理由は、全体では「家事・子育てに専念」が83.6%と最も高くなっている。所得区分別では、「家事・子育てに専念」は所得区分3で86.7%と最も高くなっている。

(4) 保護者の在宅状況、帰宅時間

問44 保護者の帰宅時間帯で、多い時間帯を選んでください。

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。（それぞれ1つに○）

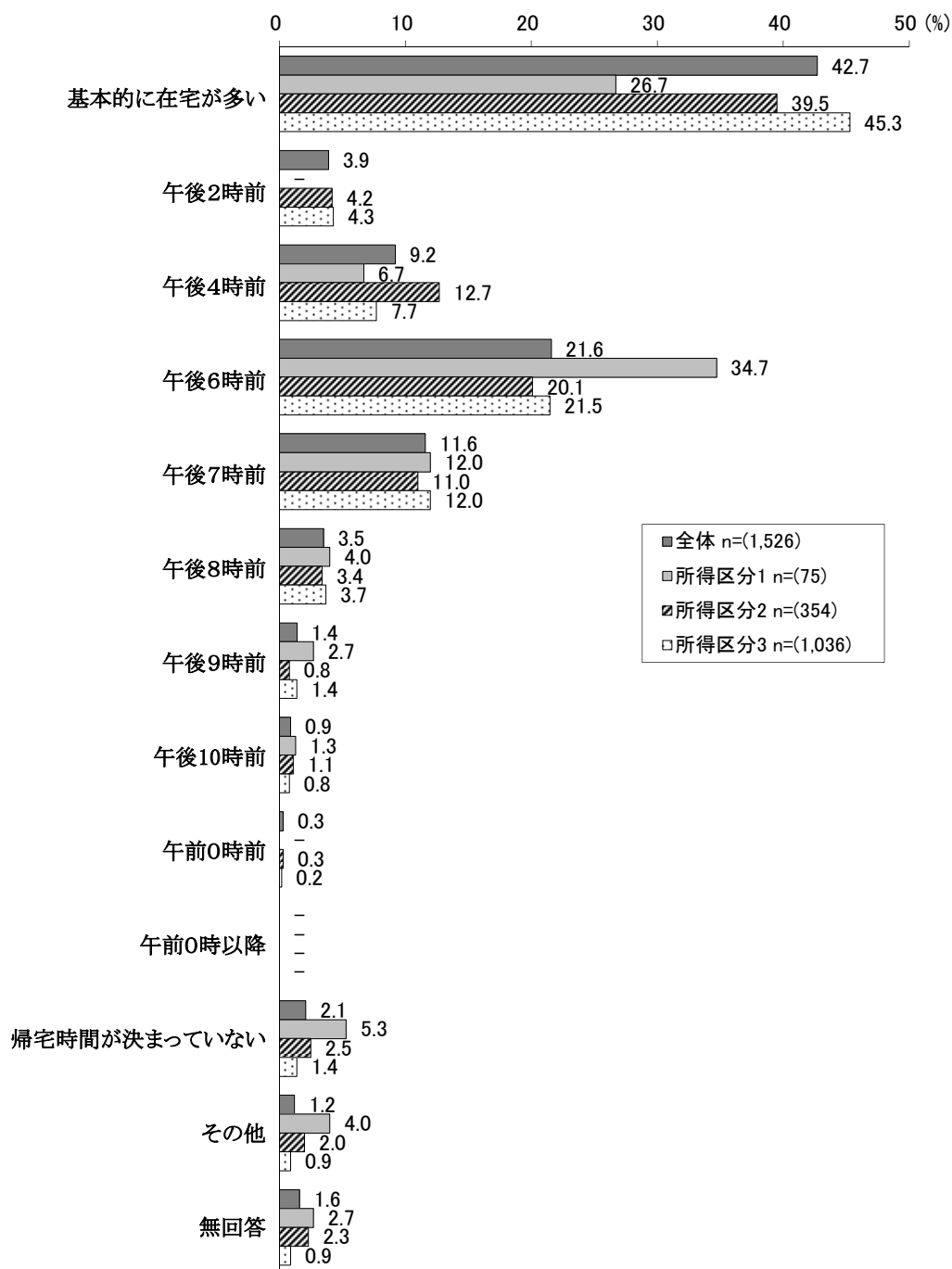
【父親】



父親の帰宅時間帯は、全体では「午後9時前」が18.7%、「午後10時前」が18.6%、「午後8時前」が16.5%となっている。

所得区分別では、所得区分1では「基本的に在宅が多い」が14.3%と高く、所得区分3では「午前0時前」が15.3%と高くなっている。

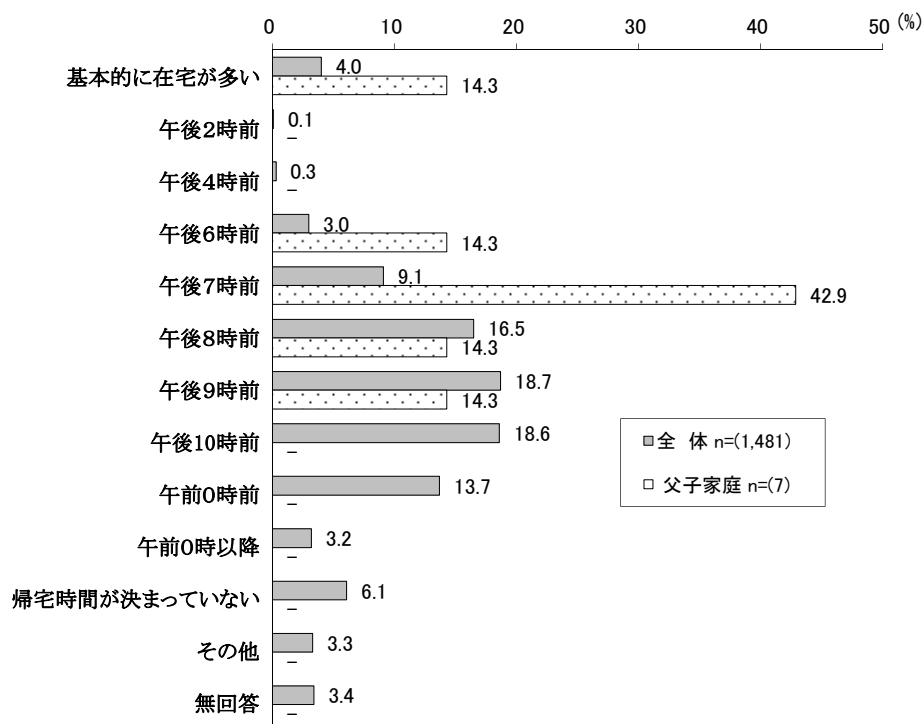
【母親】



母親の帰宅時間帯は、全体では「基本的に在宅が多い」が42.7%、「午後6時前」が21.6%、「午後7時前」が11.6%となっている。

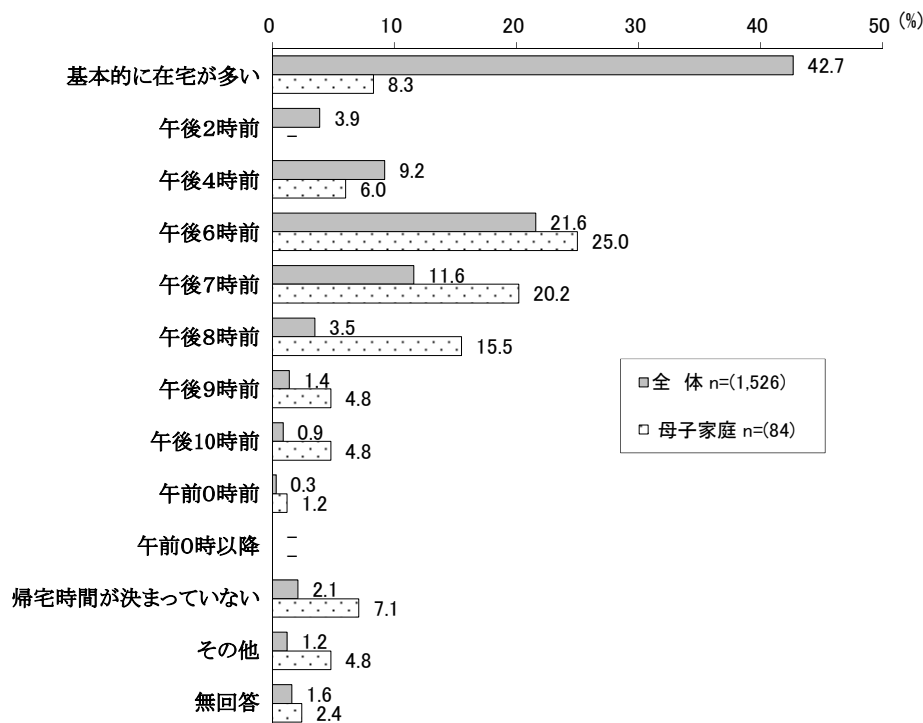
所得区分別では、「基本的に在宅が多い」は所得区分3で45.3%で最も高くなっている。

【ひとり親家庭／父子家庭】



父子家庭の帰宅時間は、サンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

【ひとり親家庭／母子家庭】



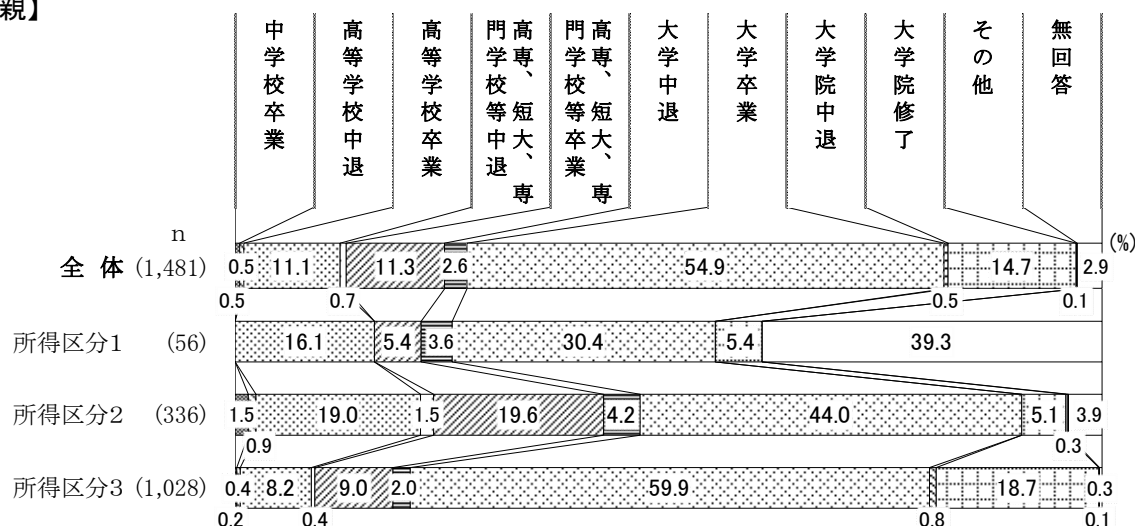
母子家庭の帰宅時間は、「午後6時前」が25.0%で最も高く、次いで「午後7時前」20.2%、「午後8時前」15.5%となっている。「基本的に在宅が多い」は全体に比べて極端に低くなっている。

(5) 保護者の最終学歴

問45 保護者の最終学歴について教えてください。(それぞれ1つに○)

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。

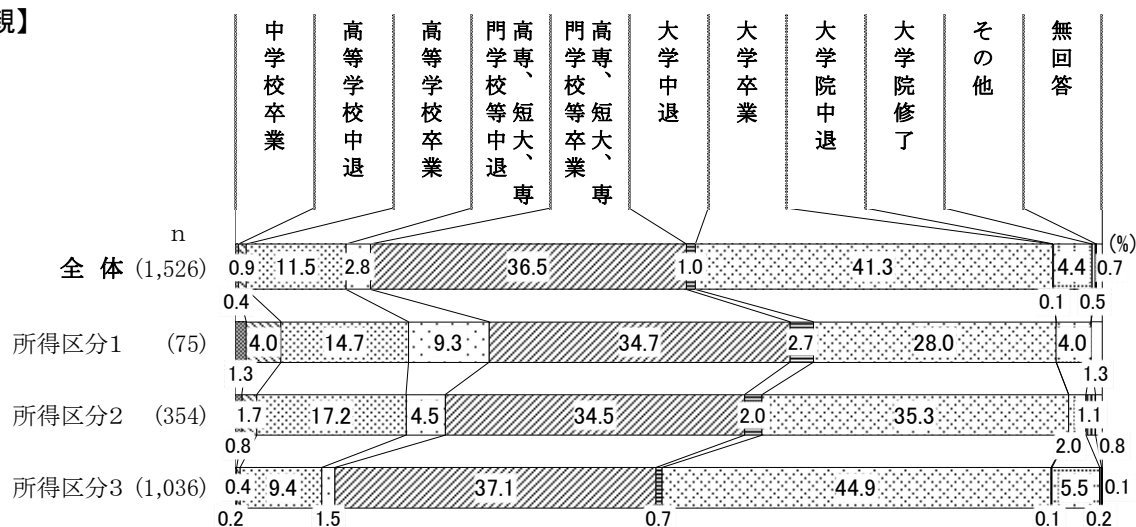
【父親】



父親の最終学歴は、全体では「大学卒業」が54.9%と最も高く、次いで「大学院修了」14.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」11.3%、「高等学校卒業」11.1%となっている。

所得区分別では、「大学卒業」は所得区分3で59.9%、所得区分2で44.0%、所得区分1で30.4%とすべての所得区分で、「大学卒業」の割合が高く、高学歴化が進んでいる。

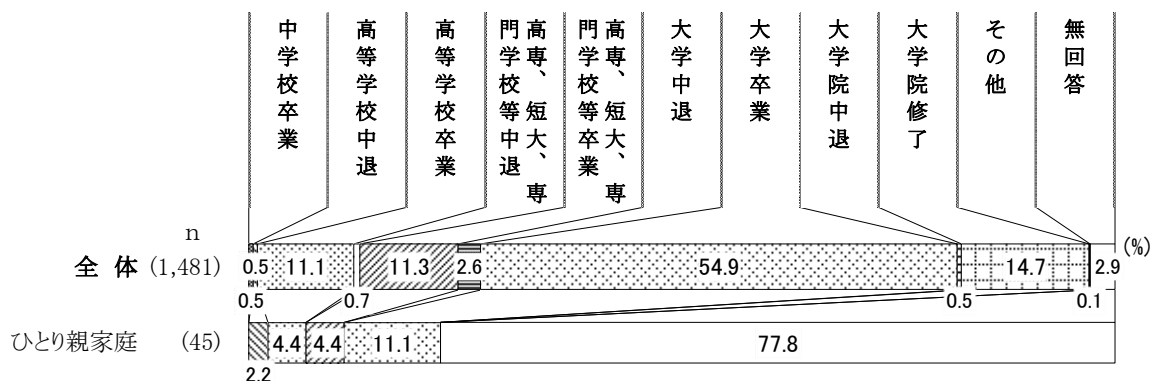
【母親】



母親の最終学歴は、全体では「大学卒業」が41.3%と最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」36.5%、「高等学校卒業」11.5%となっている。

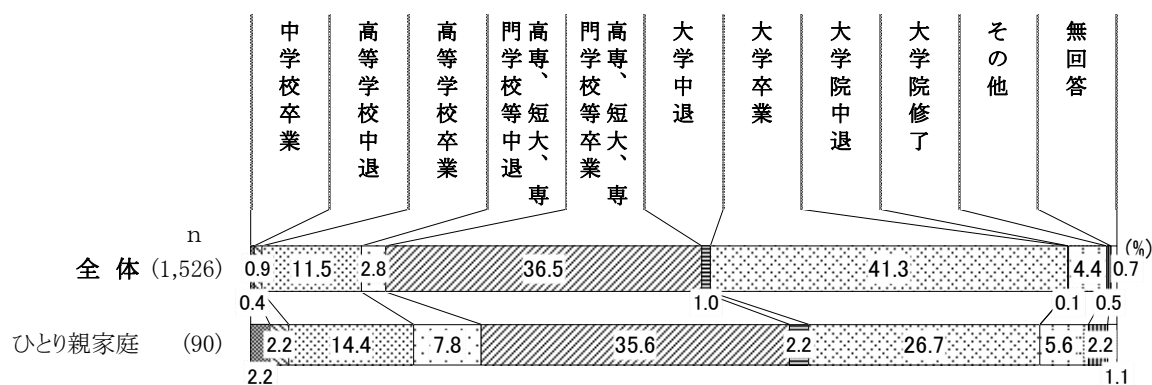
所得区分別では、「大学卒業」は所得区分3で44.9%、所得区分2で35.3%、所得区分1で28.0%となっている。「高専、短大、専門学校等卒業」はすべての所得区分で3割台となっている。また、「高専、短大、専門学校等中退」は所得区分1で9.3%と高くなっている。

【ひとり親家庭／父親】



ひとり親家庭／父親の最終学歴は、「大学卒業」が11.1%となっているが、無回答が多く傾向を見るにとどめる。

【ひとり親家庭／母親】

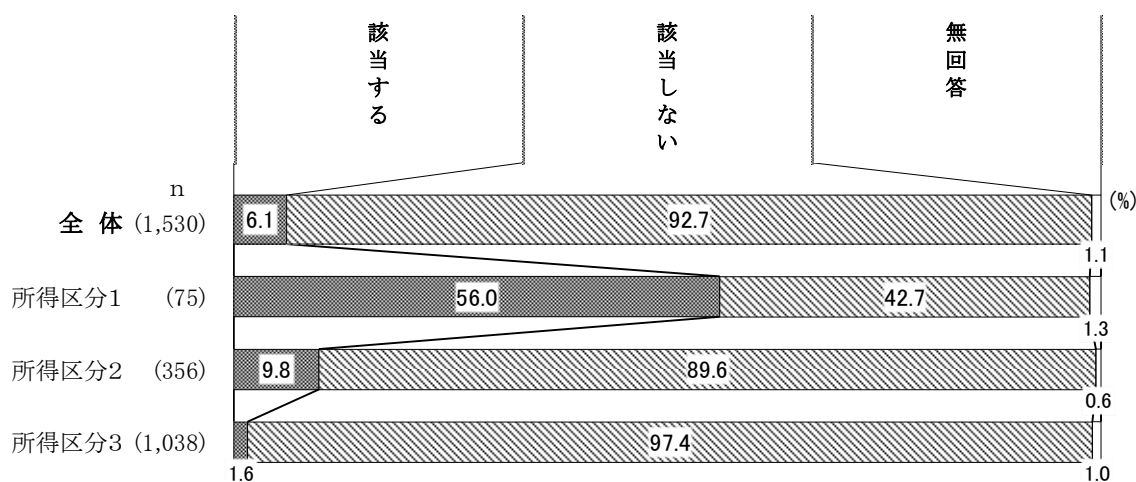


ひとり親家庭／母親の最終学歴は、「高専、短大、専門学校等卒業」が35.6%で最も高く、「大学卒業」26.7%、「高等学校卒業」14.4%となっているが、「高専、短大、専門学校等中退」が7.8%となっている。

(6) ひとり親家庭に該当するか

問46 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つに○)

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもを育てている世帯とします。※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

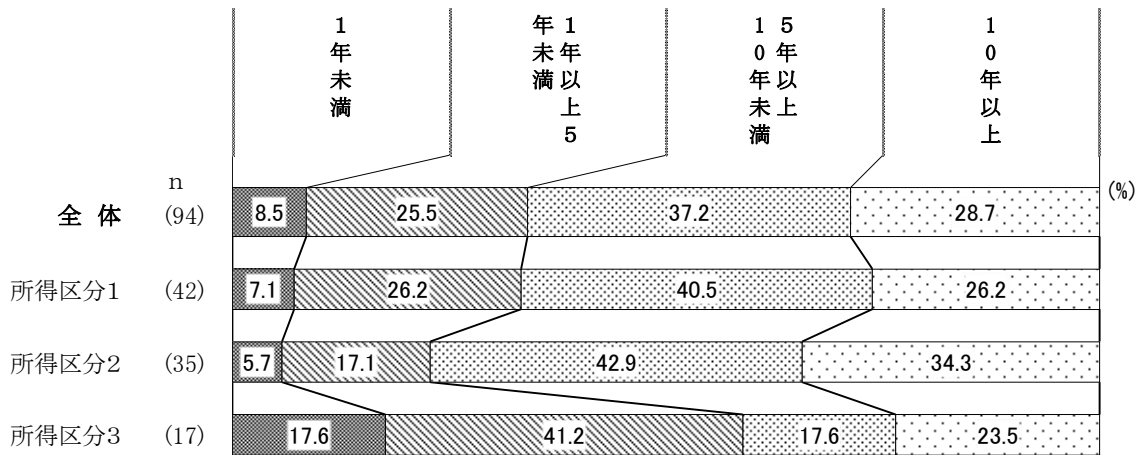


ひとり親世帯に該当するかは、全体では「該当しない」が92.7%となっている。
所得区分別では、「該当する」は所得区分1で56.0%と高くなっている。

(7) ひとり親になってからの期間

問46で「1」と回答した方にうかがいます。

問46-1 ひとり親になってからの期間はどのくらいですか。(1つに○)

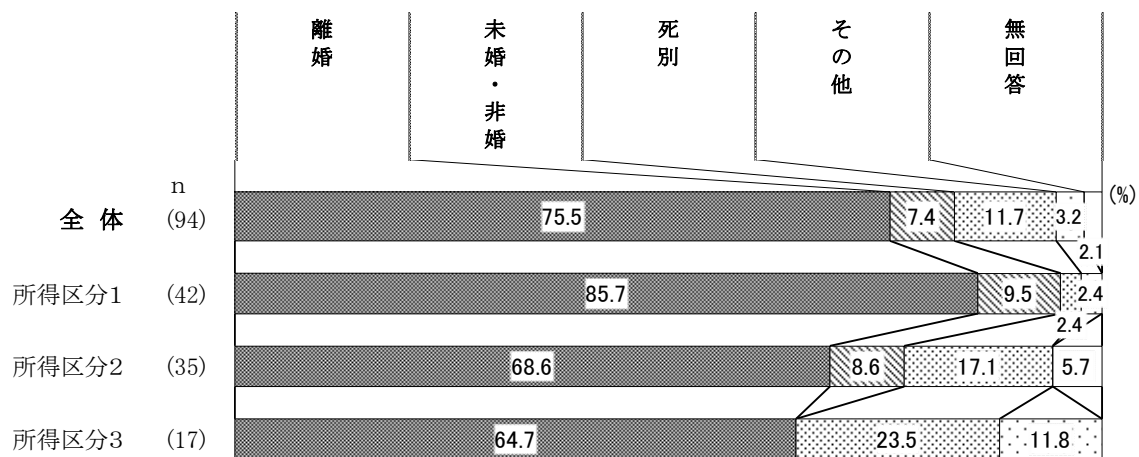


ひとり親になってからの期間については、全体では「5年以上10年未満」が37.2%、「10年以上」が28.7%、「1年以上5年未満」が25.5%となっている。

所得区分別では、「5年以上10年未満」が所得区分1、所得区分2で4割台と高くなっている。所得区分3はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

(8) ひとり親になった理由

問46-2 ひとり親になった理由について、当てはまる答えに1つだけ○をつけてください。
(1つに○)

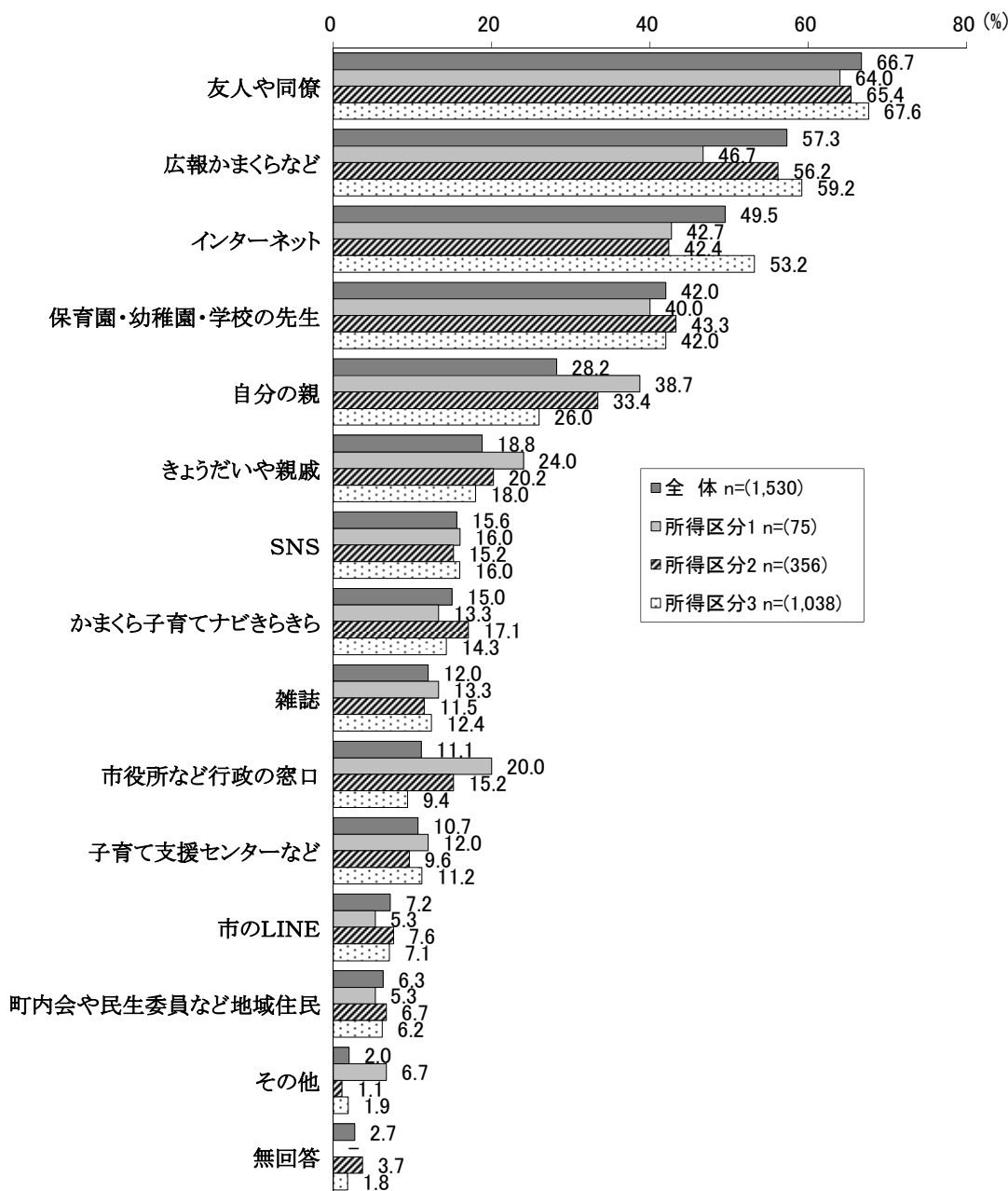


ひとり親になった理由については、全体では「離婚」が75.5%で最も高くなっている。所得区分別では、「離婚」が所得区分1で85.7%、所得区分2で68.6%と高くなっている。所得区分3はサンプル数が少ないため傾向を見るにとどめる。

6. 市の子育て支援等について

(1) 子育てに関する情報の入手先

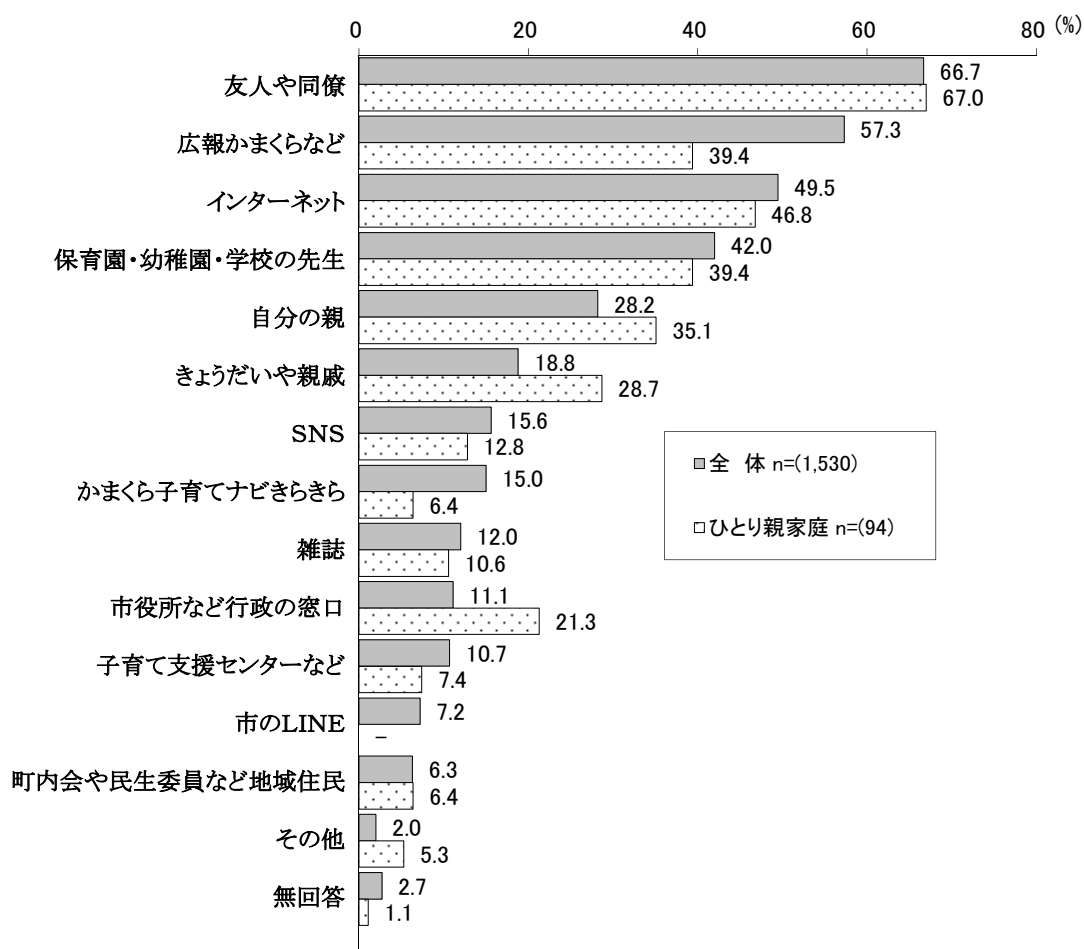
問47 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)



子育てに関する情報の入手先については、全体では「友人や同僚」が66.7%で最も高く、次いで「広報かまくらなど」57.3%、「インターネット」49.5%、「保育園・幼稚園・学校の先生」42.0%などとなっている。

所得区分別では、「友人や同僚」は所得区分による差はみられないが、「広報かまくらなど」、「インターネット」は所得区分3で高く、「自分の親」、「きょうだいや親戚」、「市役所など行政の窓口」は所得区分1で高くなっている。

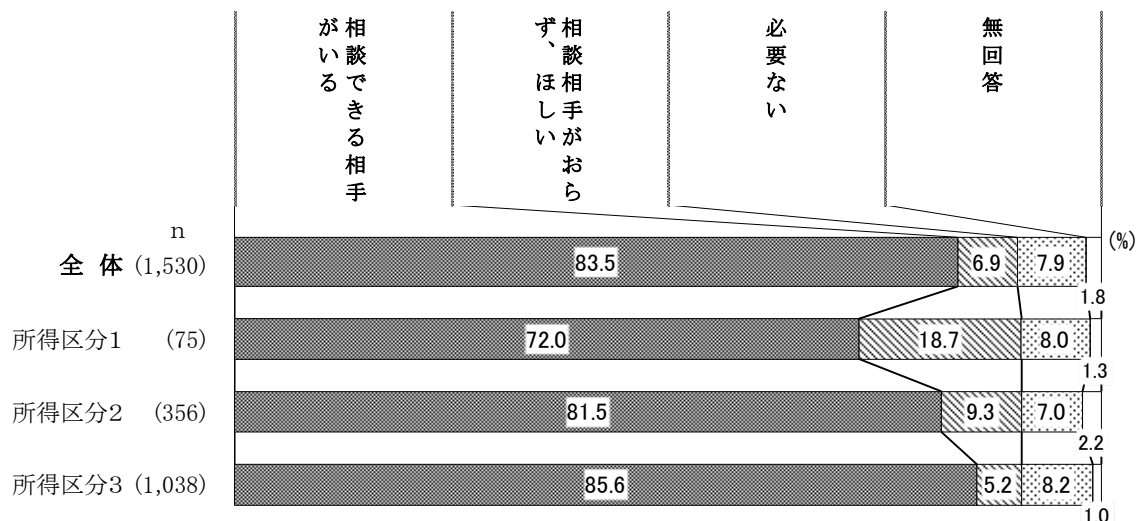
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「友人や同僚」が最も高く、「インターネット」、「保育園・幼稚園・学校の先生」、「広報かまくらなど」、「自分の親」、「きょうだいや親戚」、「市役所など行政の窓口」が高くなっている。

(2) 子育てに関する悩み事を相談する相手の有無

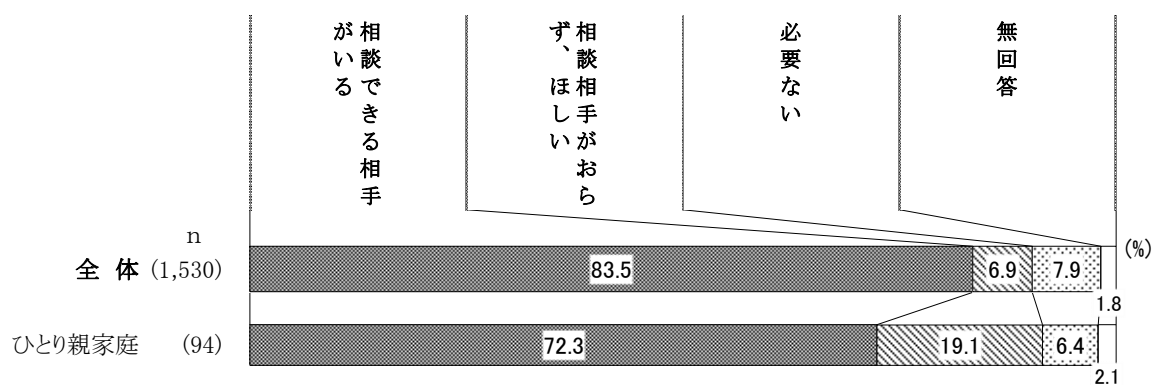
問48 あなたは、子育てに関する悩みを現在、心おきなく相談できる相手がありますか。(1つに〇)



子育てに関する悩みを現在、心おきなく相談できる相手がいるかどうかについては、全体では「相談できる相手がいる」は83.5%と高い。

所得区分別では、「相談できる相手がいる」は所得区分3で85.6%と最も高く、所得区分2で81.5%、所得区分1では72.0%と所得が低くなるほど、相談できる相手が少なくなっている。

【ひとり親家庭】

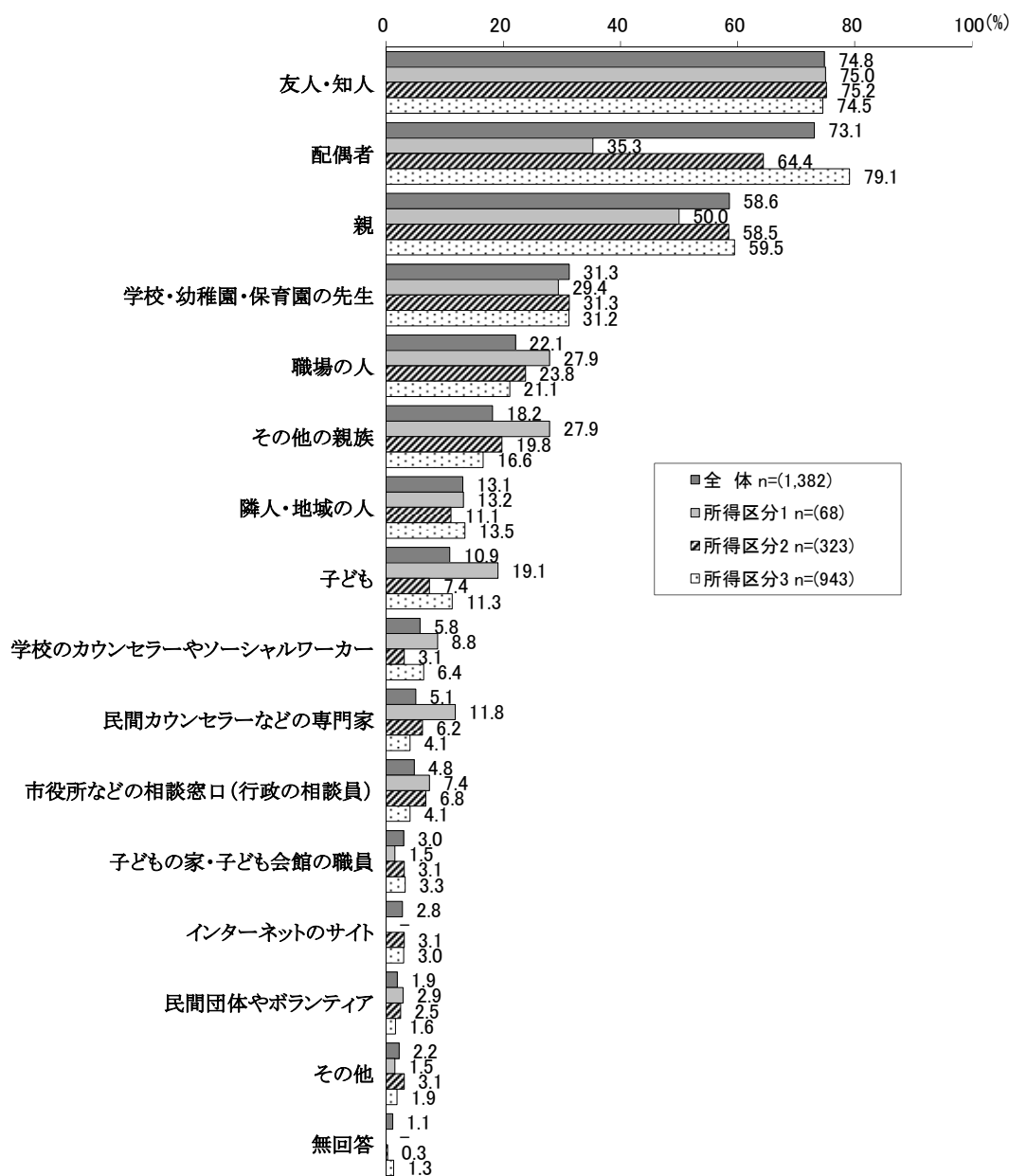


ひとり親家庭では、「相談できる相手がいる」は72.3%と全体より低く、「相談相手がおらず、ほしい」は19.1%と全体より高くなっている。

(3) 子育てに関する悩み事の相談先

問48で「1. 相談できる相手がいる」または「2. 相談相手がおらず、ほしい」とお答えの方におうかがいします。

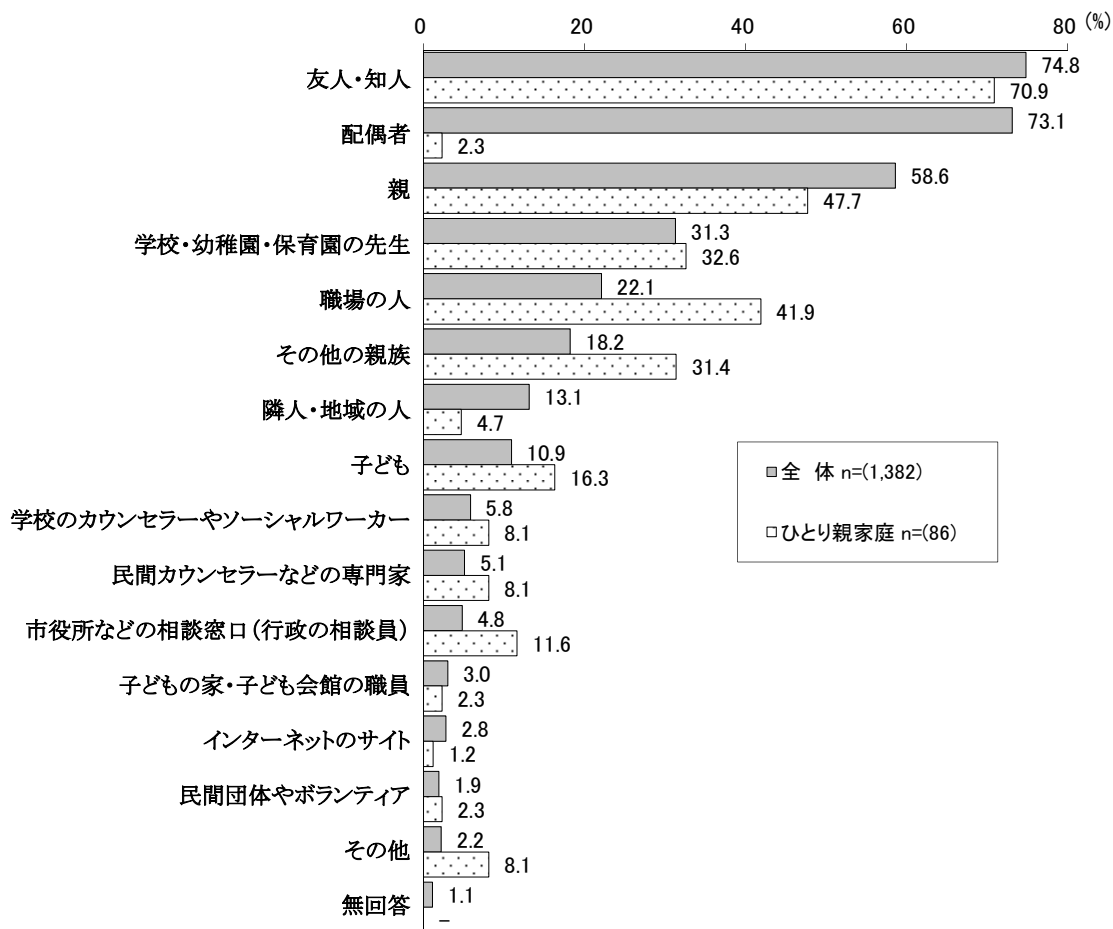
問48-1 その相談相手は誰ですか、また相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)



「相談できる相手がいる」または「相談相手がおらず、ほしい」と回答した方の相談相手、またはどのような相手に相談したいかについては、全体では「友人・知人」が74.8%で最も高く、次いで「配偶者」73.1%、「親」58.6%などとなっている。

所得区分別では、「友人・知人」は所得区分による差はないが、「配偶者」は所得区分3で79.1%と高く、所得区分1では35.3%と低くなっている。所得区分1では、「職場の人」、「その他の親族」がそれぞれ27.9%、「子ども」19.1%、「民間カウンセラーなどの専門家」11.8%と他の所得区分と比べて高い割合となっている。

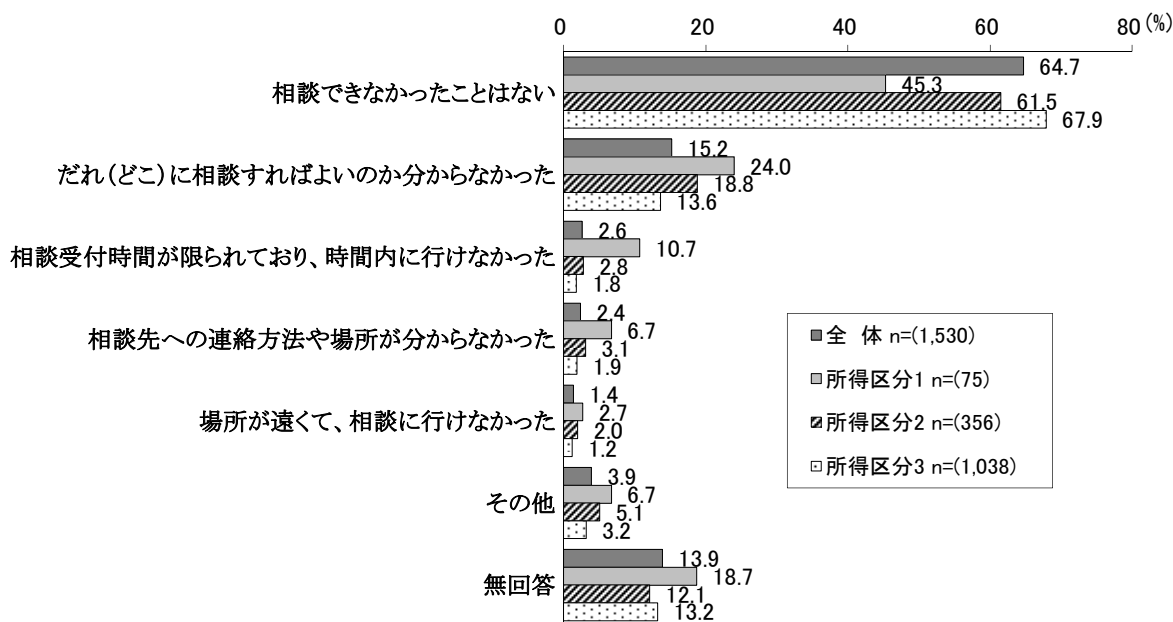
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「友人・知人」が70.9%で最も高く、次いで「親」47.7%、「職場の人」41.9%、「学校・幼稚園・保育園の先生」32.6%、「その他の親族」31.4%、「子ども」が16.3%となっている。また、「市役所などの相談窓口（行政の相談員）」が11.6%と「民間カウンセラーなどの専門家」よりも高くなっている。

(4) 子育てに関する悩み事を相談できなかったことの有無・理由

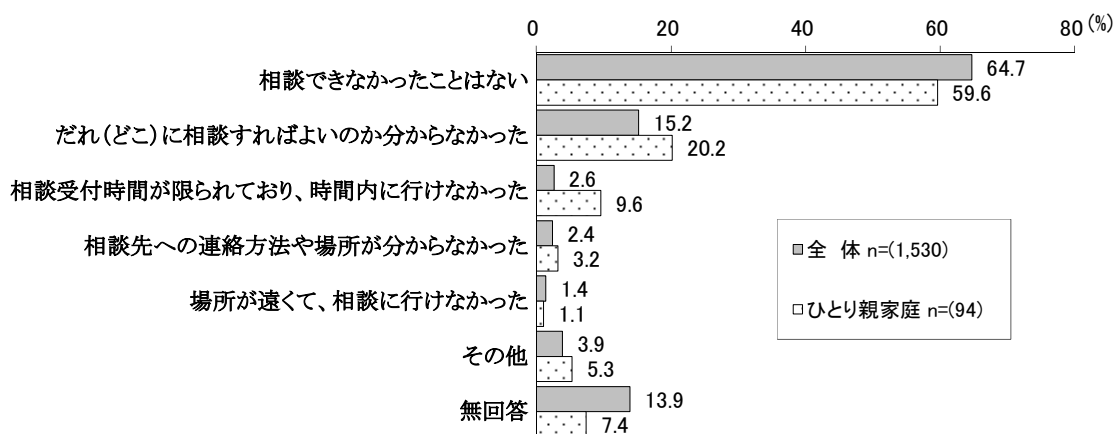
問49 子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことはありますか。ある場合、相談できなかった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことの有無、相談できなかった理由については、全体では「相談できなかったことはない」が64.7%と半数を超え、相談できなかった理由は、「だれ(どこ)に相談すればよいのか分からなかった」が15.2%となっている。

所得区分別では、「相談できなかったことはない」は所得区分3で67.9%と最も高く、所得が低くなるほど割合が下がり、所得区分1は45.3%となっている。相談できなかった理由は、「だれ(どこ)に相談すればよいのか分からなかった」は所得区分1で24.0%と最も高くなっている。

【ひとり親家庭】

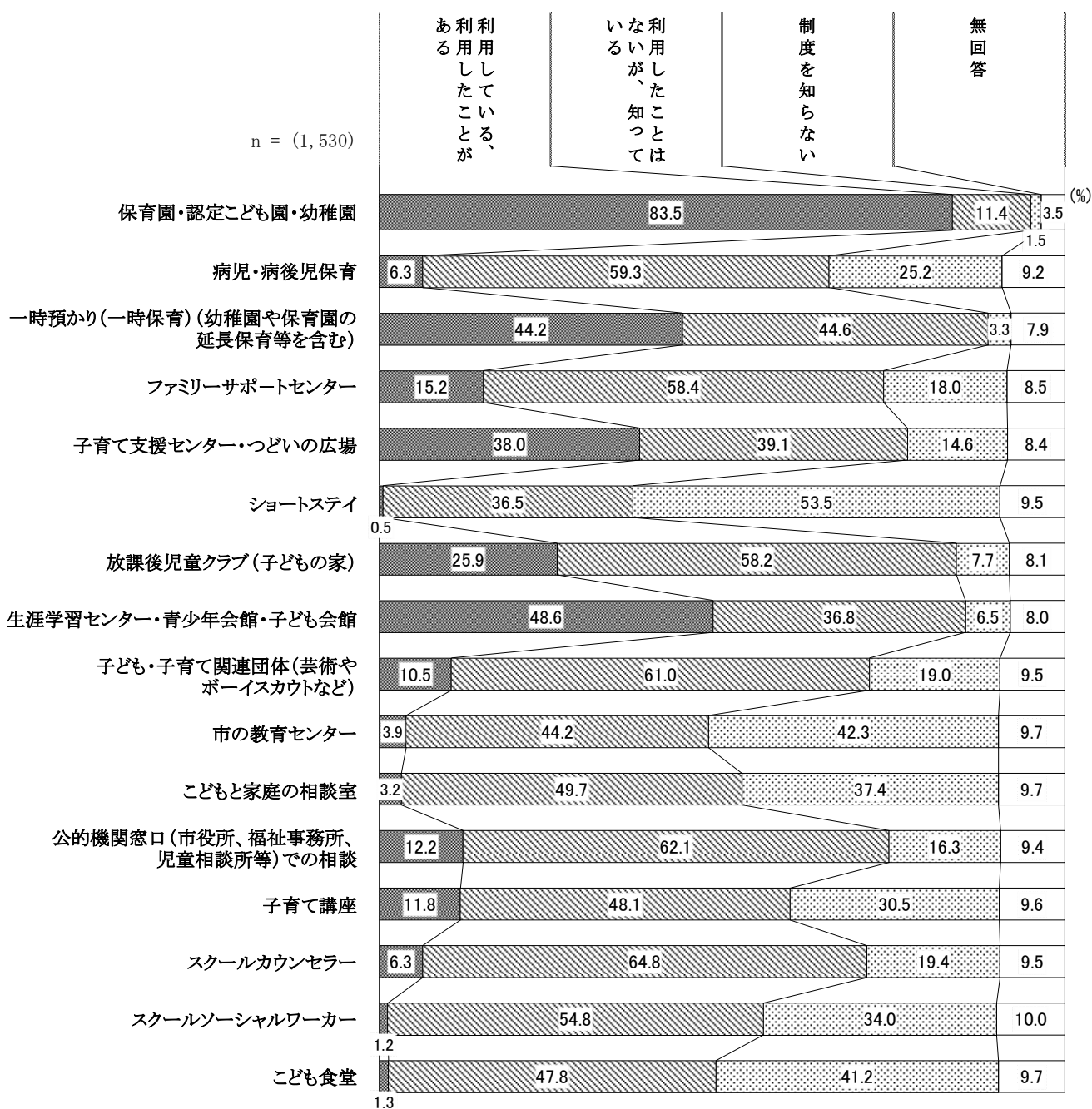


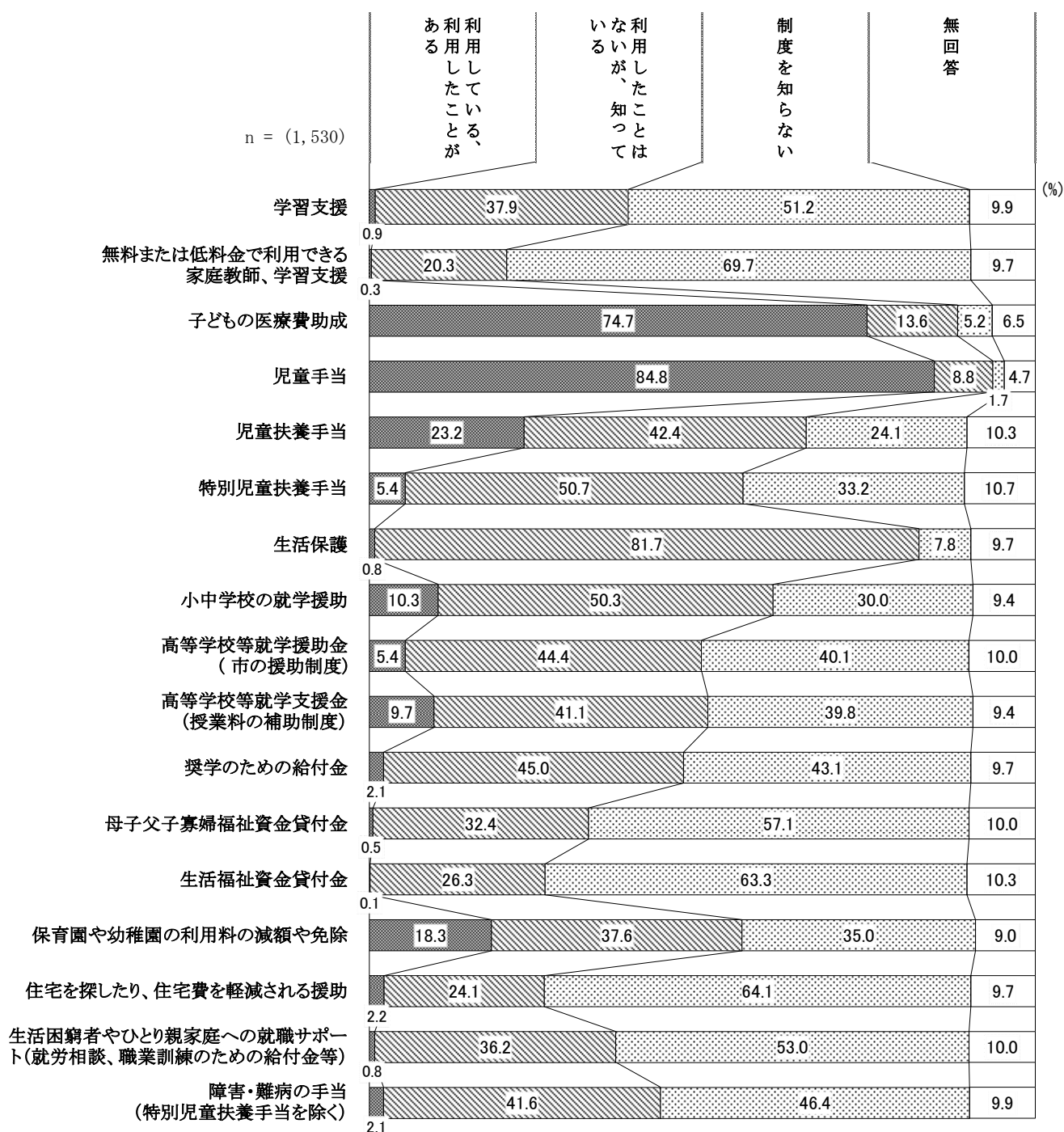
ひとり親家庭では、「相談できなかったことはない」が59.6%で最も高く、相談できなかった理由は、「だれ(どこ)に相談すればよいのか分からなかった」は20.2%となっている。

(5) 子育て支援や学習支援の利用状況・利用意向

問50 あなたは次の子育て支援や学習支援を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。利用したことがあるものについて、利用してよかったものに○をしてください。また、今後、利用したいと思いませんか。（これまでの利用の有無にかかわらずお答えください）

① 利用・認知状況





子育て支援や学習支援の利用状況は、「利用している、利用したことがある」は児童手当が84.8%で最も高く、保育園・認定こども園・幼稚園は83.5%、子ども医療費助成は74.7%、生涯学習センター・青少年会館・子ども会館は48.6%、一時預かり（一時保育）（幼稚園や保育園の延長保育等を含む）は44.2%、子育て支援センター・つどいの広場は38.0%などとなっている。「利用したことはないが、知っている」は公的機関窓口（市役所、福祉事務所、児童相談所等）での相談が62.1%、子ども・子育て関連団体（芸術やボーイスカウトなど）が61.0%と高い。一方、「制度を知らない」は無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援が69.7%、住宅を探したり、住宅費を軽減される援助は64.1%、生活福祉資金貸付金は63.3%、母子父子寡婦福祉資金貸付金は57.1%、ショートステイは53.5%などとなっている。

第2章 調査結果の詳細

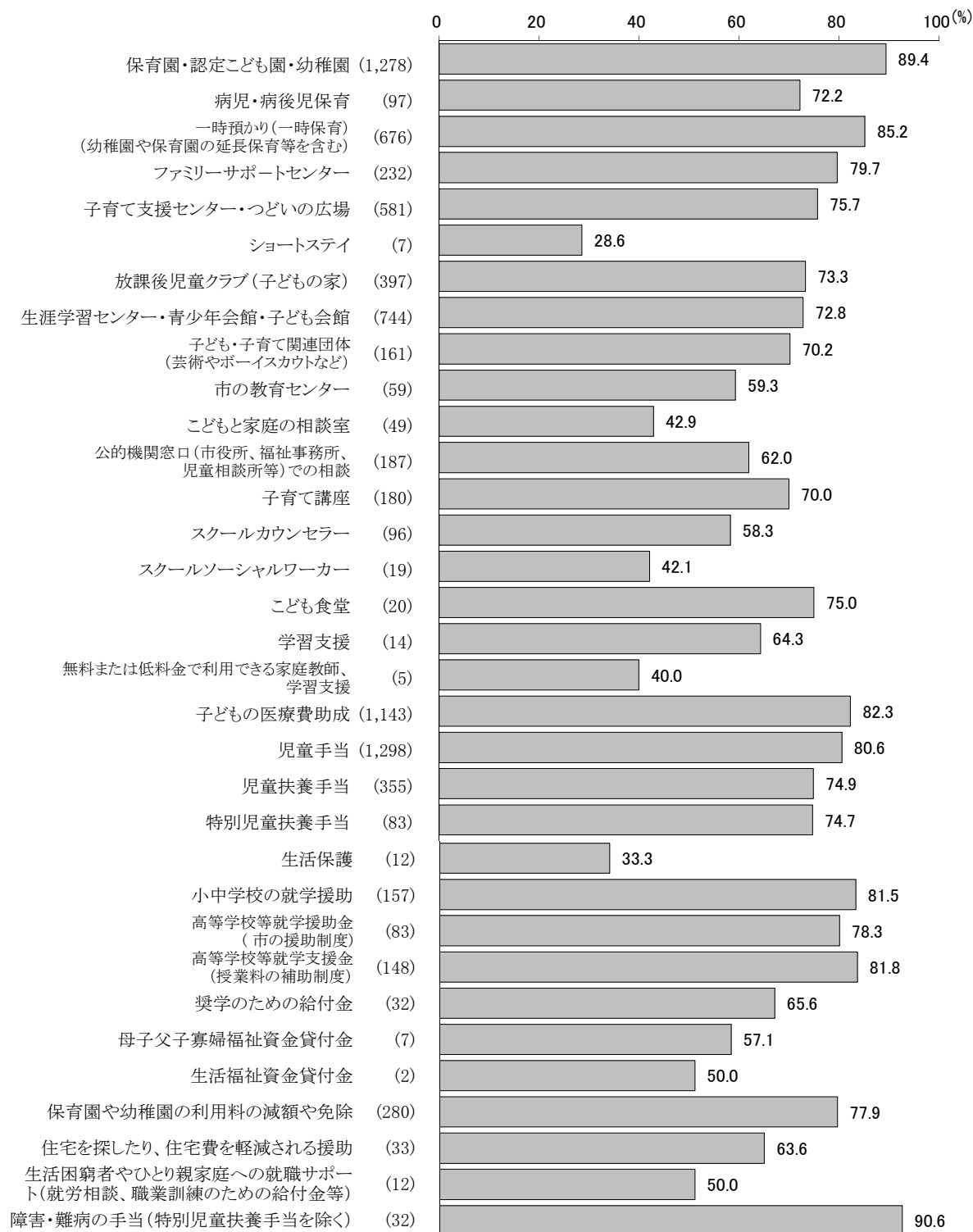
<所得区分別>

		n	あ利用 利用し している が、	いな 利用 がし たこ とは	制 度 を 知 ら な い	無 回 答
保育園・認定こども園・幼稚園	全 体	1,530	83.5	11.4	1.5	3.5
	所得区分1	75	82.7	13.3	1.3	2.7
	所得区分2	356	82.0	12.1	1.4	4.5
	所得区分3	1,038	84.6	11.4	1.5	2.5
病児・病後児保育	全 体	1,530	6.3	59.3	25.2	9.2
	所得区分1	75	6.7	60.0	22.7	10.7
	所得区分2	356	3.9	58.4	27.0	10.7
	所得区分3	1,038	7.2	60.5	24.5	7.8
一時預かり(一時保育) (幼稚園や保育園の延長保育等を含む)	全 体	1,530	44.2	44.6	3.3	7.9
	所得区分1	75	32.0	56.0	1.3	10.7
	所得区分2	356	37.6	48.0	4.2	10.1
	所得区分3	1,038	47.3	43.3	3.1	6.4
ファミリーサポートセンター	全 体	1,530	15.2	58.4	18.0	8.5
	所得区分1	75	10.7	64.0	17.3	8.0
	所得区分2	356	10.1	55.6	24.2	10.1
	所得区分3	1,038	17.4	59.0	16.4	7.2
子育て支援センター・つどいの広場	全 体	1,530	38.0	39.1	14.6	8.4
	所得区分1	75	20.0	50.7	18.7	10.7
	所得区分2	356	40.2	34.3	15.4	10.1
	所得区分3	1,038	39.1	39.9	14.1	6.9
ショートステイ	全 体	1,530	0.5	36.5	53.5	9.5
	所得区分1	75	1.3	37.3	52.0	9.3
	所得区分2	356	0.6	34.8	53.9	10.7
	所得区分3	1,038	0.4	37.3	53.9	8.4
放課後児童クラブ(子どもの家)	全 体	1,530	25.9	58.2	7.7	8.1
	所得区分1	75	44.0	41.3	6.7	8.0
	所得区分2	356	25.3	56.2	9.8	8.7
	所得区分3	1,038	25.0	60.9	7.0	7.0
生涯学習センター・青少年会館・子ども会館	全 体	1,530	48.6	36.8	6.5	8.0
	所得区分1	75	53.3	36.0	5.3	5.3
	所得区分2	356	46.3	36.2	7.9	9.6
	所得区分3	1,038	49.3	37.7	6.2	6.8
子ども・子育て関連団体 (芸術やボーイスカウトなど)	全 体	1,530	10.5	61.0	19.0	9.5
	所得区分1	75	12.0	62.7	16.0	9.3
	所得区分2	356	9.6	57.9	22.5	10.1
	所得区分3	1,038	10.7	63.0	18.0	8.3
市の教育センター	全 体	1,530	3.9	44.2	42.3	9.7
	所得区分1	75	8.0	45.3	37.3	9.3
	所得区分2	356	3.9	40.7	44.4	11.0
	所得区分3	1,038	3.7	46.1	42.0	8.3
子どもと家庭の相談室	全 体	1,530	3.2	49.7	37.4	9.7
	所得区分1	75	2.7	53.3	34.7	9.3
	所得区分2	356	3.7	49.7	36.2	10.4
	所得区分3	1,038	3.3	49.6	38.6	8.5
公的機関窓口(市役所、福祉事務所、 児童相談所等)での相談	全 体	1,530	12.2	62.1	16.3	9.4
	所得区分1	75	25.3	52.0	13.3	9.3
	所得区分2	356	15.7	59.6	14.6	10.1
	所得区分3	1,038	10.4	64.2	17.1	8.3
子育て講座	全 体	1,530	11.8	48.1	30.5	9.6
	所得区分1	75	6.7	53.3	30.7	9.3
	所得区分2	356	11.2	46.9	31.2	10.7
	所得区分3	1,038	12.4	48.7	30.4	8.4
スクールカウンセラー	全 体	1,530	6.3	64.8	19.4	9.5
	所得区分1	75	9.3	61.3	20.0	9.3
	所得区分2	356	5.3	62.4	21.3	11.0
	所得区分3	1,038	6.3	66.7	18.9	8.2
スクールソーシャルワーカー	全 体	1,530	1.2	54.8	34.0	10.0
	所得区分1	75	-	54.7	36.0	9.3
	所得区分2	356	1.1	51.1	36.8	11.0
	所得区分3	1,038	1.4	56.4	33.3	8.9
子ども食堂	全 体	1,530	1.3	47.8	41.2	9.7
	所得区分1	75	1.3	45.3	44.0	9.3
	所得区分2	356	1.7	45.8	41.9	10.7
	所得区分3	1,038	1.2	49.3	40.9	8.6

		(%)				
		n	あ利用 利用し ている ことが	いな 利用 した こと は	制 度 を 知 ら な い	無 回 答
学習支援	全体	1,530	0.9	37.9	51.2	9.9
	所得区分1	75	2.7	36.0	52.0	9.3
	所得区分2	356	2.0	39.6	47.8	10.7
	所得区分3	1,038	0.5	38.0	52.6	9.0
無料又は低料金で利用できる家庭教師、 学習支援	全体	1,530	0.3	20.3	69.7	9.7
	所得区分1	75	-	17.3	73.3	9.3
	所得区分2	356	-	19.4	69.9	10.7
	所得区分3	1,038	0.5	21.4	69.6	8.6
子ども医療費助成	全体	1,530	74.7	13.6	5.2	6.5
	所得区分1	75	80.0	10.7	4.0	5.3
	所得区分2	356	77.5	10.4	5.3	6.7
	所得区分3	1,038	73.7	15.3	5.5	5.5
児童手当	全体	1,530	84.8	8.8	1.7	4.7
	所得区分1	75	94.7	2.7	1.3	1.3
	所得区分2	356	88.5	7.0	0.6	3.9
	所得区分3	1,038	83.5	10.2	2.1	4.1
児童扶養手当	全体	1,530	23.2	42.4	24.1	10.3
	所得区分1	75	58.7	22.7	13.3	5.3
	所得区分2	356	23.9	41.0	24.4	10.7
	所得区分3	1,038	20.6	45.0	24.7	9.7
特別児童扶養手当	全体	1,530	5.4	50.7	33.2	10.7
	所得区分1	75	12.0	54.7	20.0	13.3
	所得区分2	356	5.6	49.4	33.1	11.8
	所得区分3	1,038	5.2	52.0	33.7	9.1
生活保護	全体	1,530	0.8	81.7	7.8	9.7
	所得区分1	75	5.3	76.0	8.0	10.7
	所得区分2	356	0.8	79.5	8.7	11.0
	所得区分3	1,038	0.4	83.7	7.5	8.4
小中学校の就学援助	全体	1,530	10.3	50.3	30.0	9.4
	所得区分1	75	52.0	25.3	17.3	5.3
	所得区分2	356	20.2	40.7	28.9	10.1
	所得区分3	1,038	3.8	55.9	31.6	8.8
高等学校等就学援助金 (市の援助制度)	全体	1,530	5.4	44.4	40.1	10.0
	所得区分1	75	24.0	41.3	28.0	6.7
	所得区分2	356	10.4	35.4	43.8	10.4
	所得区分3	1,038	2.5	48.2	40.0	9.3
高等学校等就学支援金 (授業料の補助制度)	全体	1,530	9.7	41.1	39.8	9.4
	所得区分1	75	25.3	37.3	29.3	8.0
	所得区分2	356	15.2	30.6	44.9	9.3
	所得区分3	1,038	6.8	45.4	39.0	8.8
奨学のための給付金	全体	1,530	2.1	45.0	43.1	9.7
	所得区分1	75	6.7	46.7	37.3	9.3
	所得区分2	356	2.8	39.3	46.3	11.5
	所得区分3	1,038	1.4	47.6	42.5	8.5
母子父子寡婦福祉資金貸付金	全体	1,530	0.5	32.4	57.1	10.0
	所得区分1	75	4.0	38.7	49.3	8.0
	所得区分2	356	-	28.7	60.1	11.2
	所得区分3	1,038	0.4	33.7	56.9	9.0
生活福祉資金貸付金	全体	1,530	0.1	26.3	63.3	10.3
	所得区分1	75	1.3	29.3	60.0	9.3
	所得区分2	356	-	22.8	66.0	11.2
	所得区分3	1,038	0.1	27.9	62.7	9.2
保育園や幼稚園の利用料の減額や免除	全体	1,530	18.3	37.6	35.0	9.0
	所得区分1	75	38.7	18.7	33.3	9.3
	所得区分2	356	25.6	26.4	38.5	9.6
	所得区分3	1,038	14.2	43.8	33.9	8.1
住宅を探したり、住宅費を軽減される援助	全体	1,530	2.2	24.1	64.1	9.7
	所得区分1	75	16.0	26.7	49.3	8.0
	所得区分2	356	2.8	19.9	66.3	11.0
	所得区分3	1,038	1.0	25.7	64.7	8.6
生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート (就労相談、職業訓練のための給付金等)	全体	1,530	0.8	36.2	53.0	10.0
	所得区分1	75	10.7	45.3	34.7	9.3
	所得区分2	356	0.8	37.4	50.6	11.2
	所得区分3	1,038	0.1	35.7	55.3	8.9
障害・難病の手当 (特別児童扶養手当を除く)	全体	1,530	2.1	41.6	46.4	9.9
	所得区分1	75	5.3	50.7	36.0	8.0
	所得区分2	356	1.4	39.6	47.8	11.2
	所得区分3	1,038	2.2	42.1	46.8	8.9

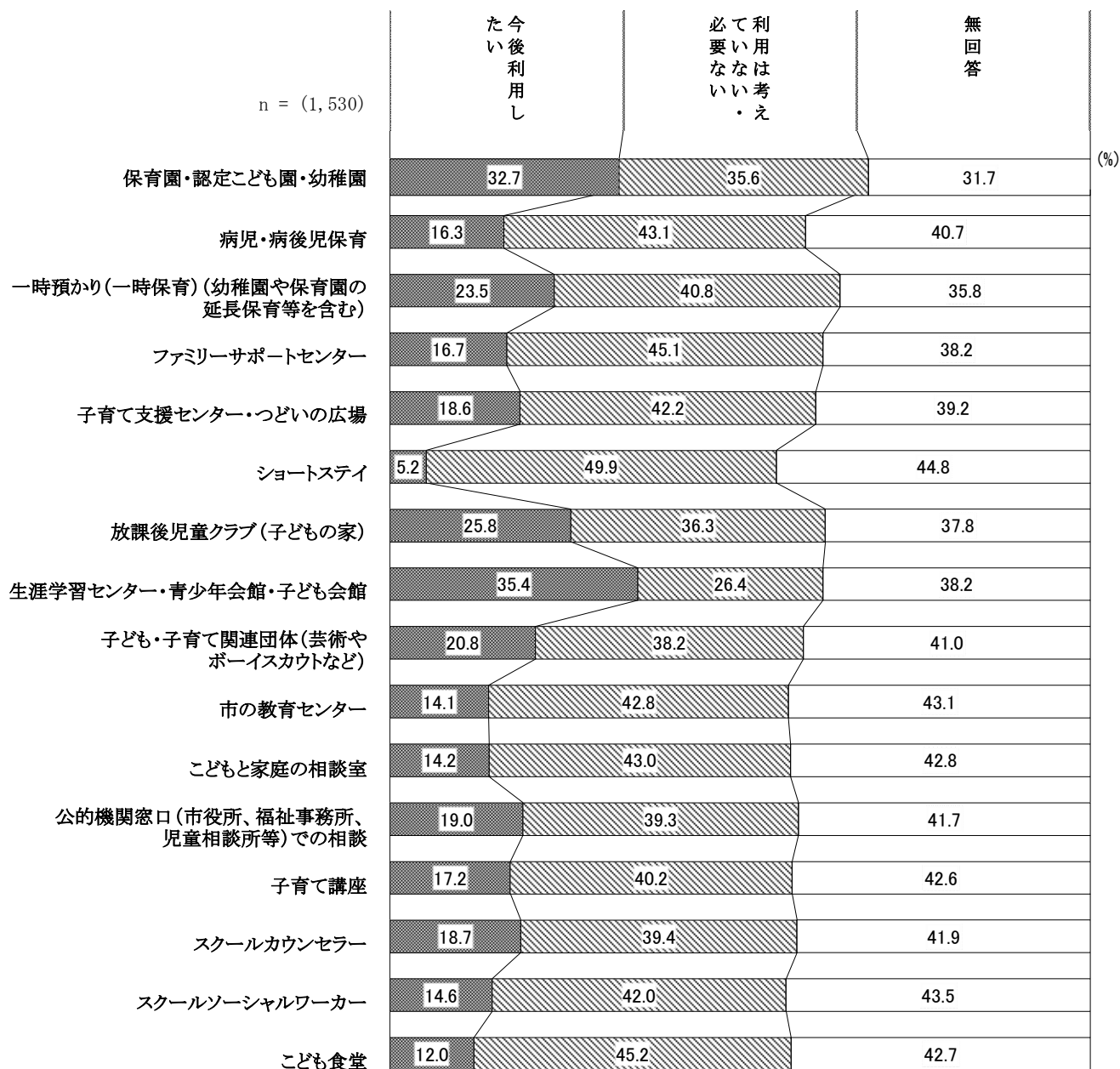
「利用している、利用したことがある」は、「所得区分1」の家庭では公的機関窓口（市役所、福祉事務所、児童相談所等）での相談（25.3%）のほか、手当等の利用経験が高くなっている。具体的には、児童扶養手当（58.7%）、特別児童扶養手当（12.0%）、小中学校の就学援助（52.0%）、高等学校等就学援助金（市の援助制度）（24.0%）、高等学校等就学支援金（授業料の補助制度）（25.3%）、保育園や幼稚園の利用料の減額や免除（38.7%）、住宅を探したり、住宅費を軽減される援助（16.0%）、生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート（就労相談、職業訓練のための給付金等）（10.7%）などとなっている。一方、無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援や学習支援、ショートステイなどは「制度を知らない」がいずれの所得区分でも高くなっている。

② 利用してよかったもの

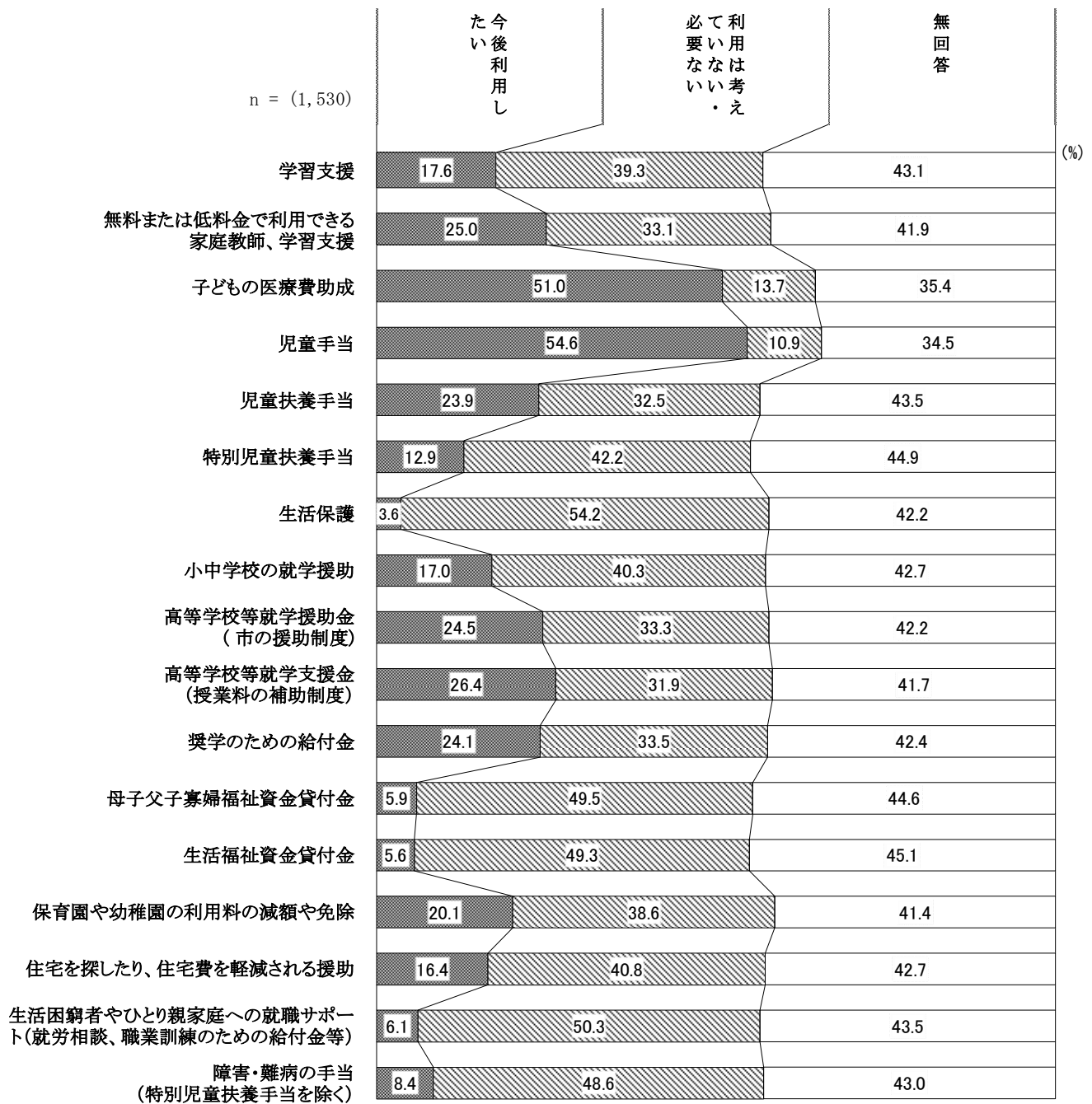


利用してよかったものは、「障害・難病の手当（特別児童扶養手当を除く）」が90.6%と最も高く、「保育園・認定こども園・幼稚園」89.4%、「一時預かり（一時保育）（幼稚園や保育園の延長保育等を含む）」85.2%、「子どもの医療費助成」82.3%、「高等学校等就学支援金（授業料の補助制度）」81.8%などが高い割合となっている。

③ 今後の利用意向



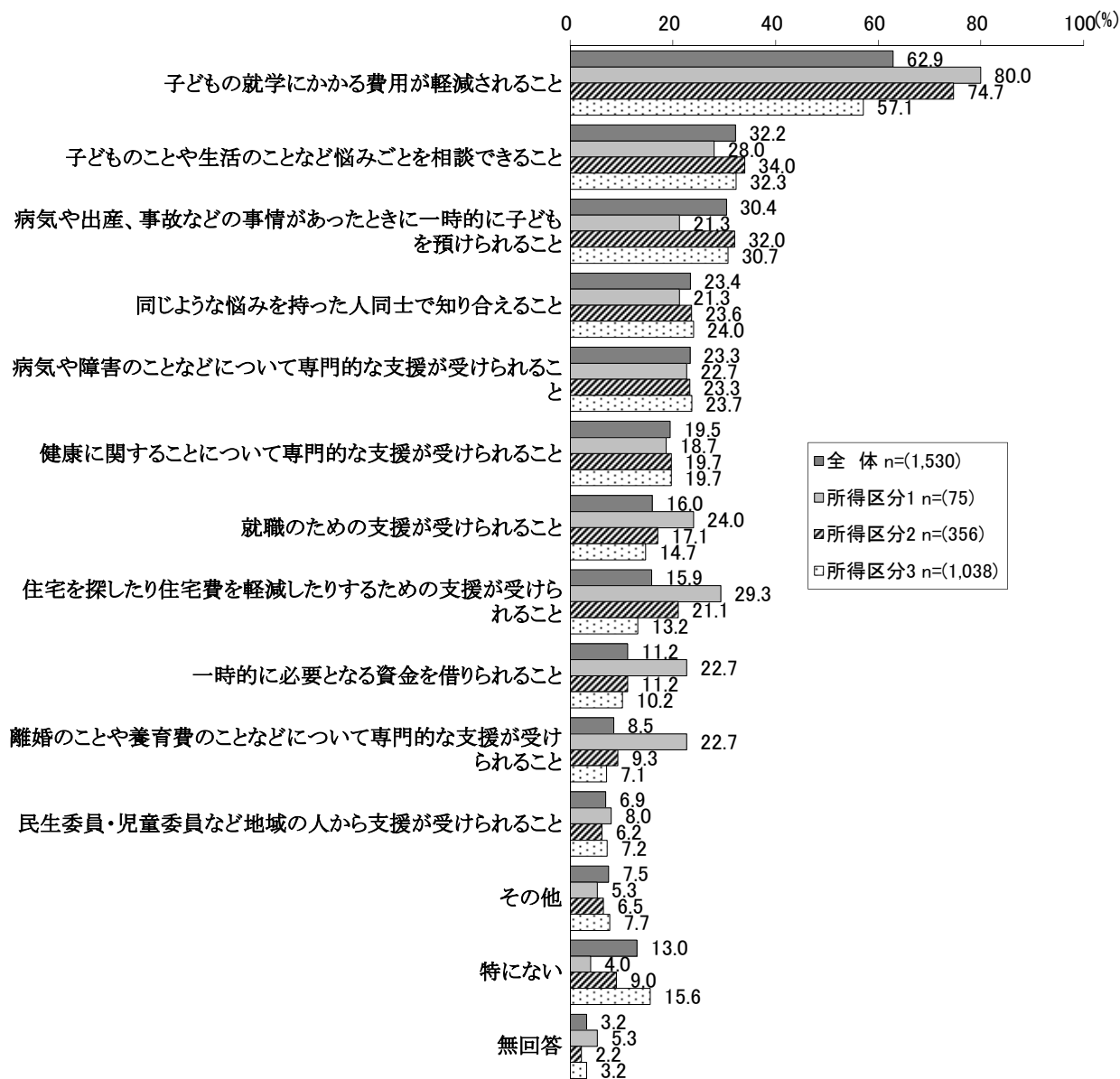
第2章 調査結果の詳細



子育て支援や学習支援の今後の利用意向については、児童手当、子どもの医療費助成、生涯学習センター・青少年会館・子ども会館、保育園・認定こども園・幼稚園など子育て支援については、今後も利用意向が高く、高等学校等就学支援金（授業料の補助制度）、無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援など学習支援についても利用したい意向が高くなっている。

(6) 必要としている支援・重要だと思う支援

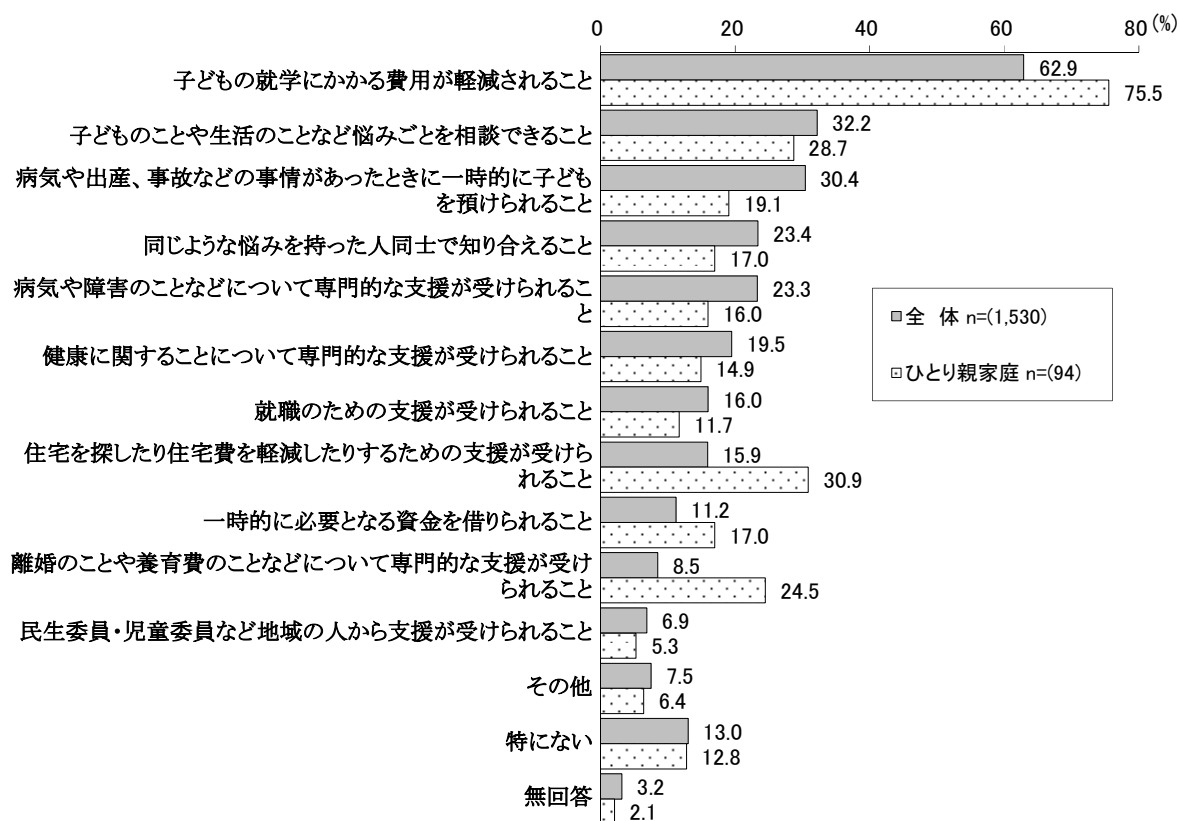
問51 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)



現在必要としていること、重要だと思う支援等については、全体では「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が62.9%で最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」32.2%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」30.4%などとなっている。

所得区別では、所得区分1で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が80.0%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」29.3%、「就職のために支援が受けられること」24.0%、「一時的に必要な資金を借りられること」22.7%、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」22.7%で他の所得区分に比べて最も高くなっている。

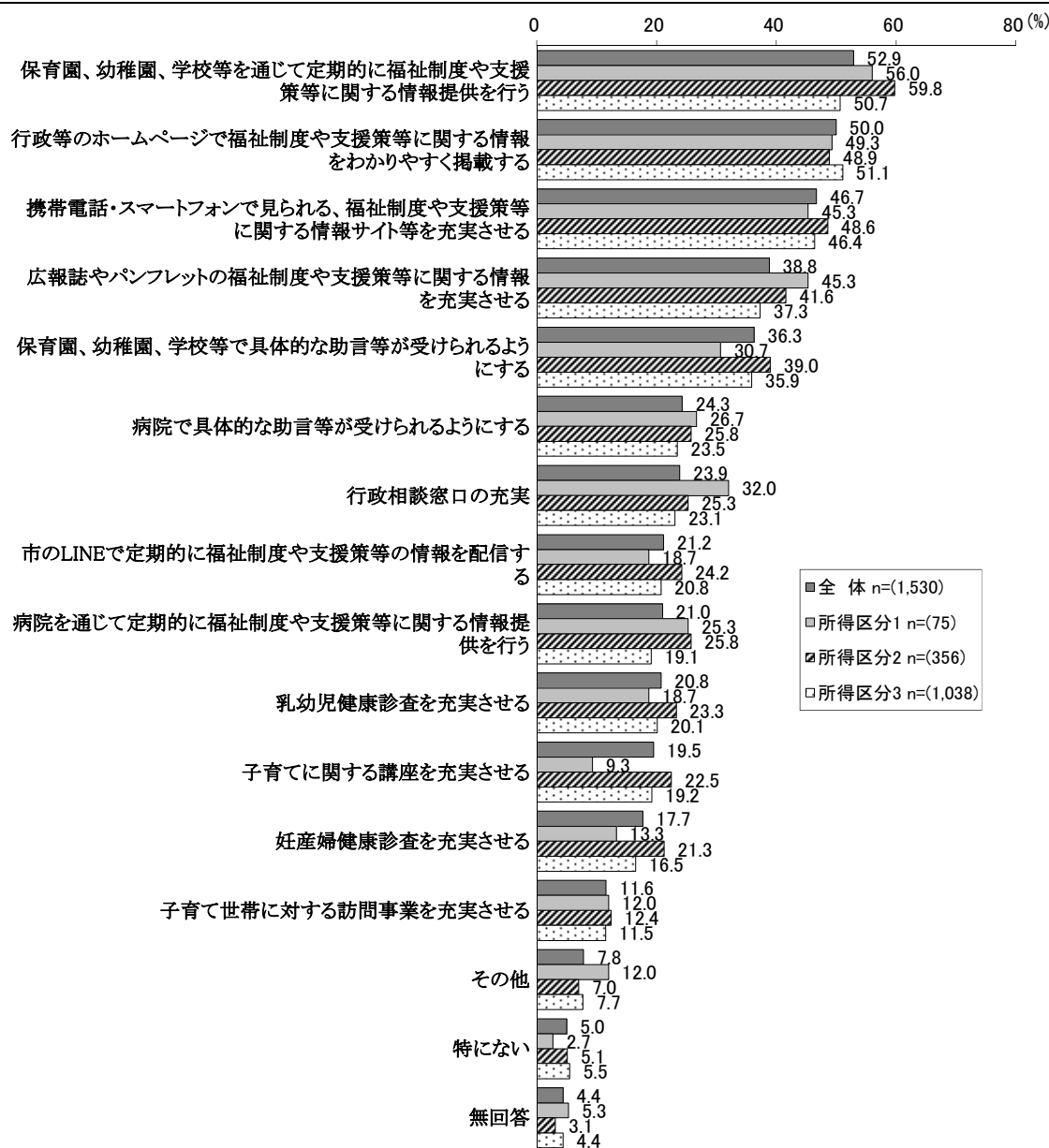
【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が75.5%で最も高く、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」30.9%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」28.7%、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」24.5%などとなっている。

(7) 必要な支援を受けられるようにするために重要なこと

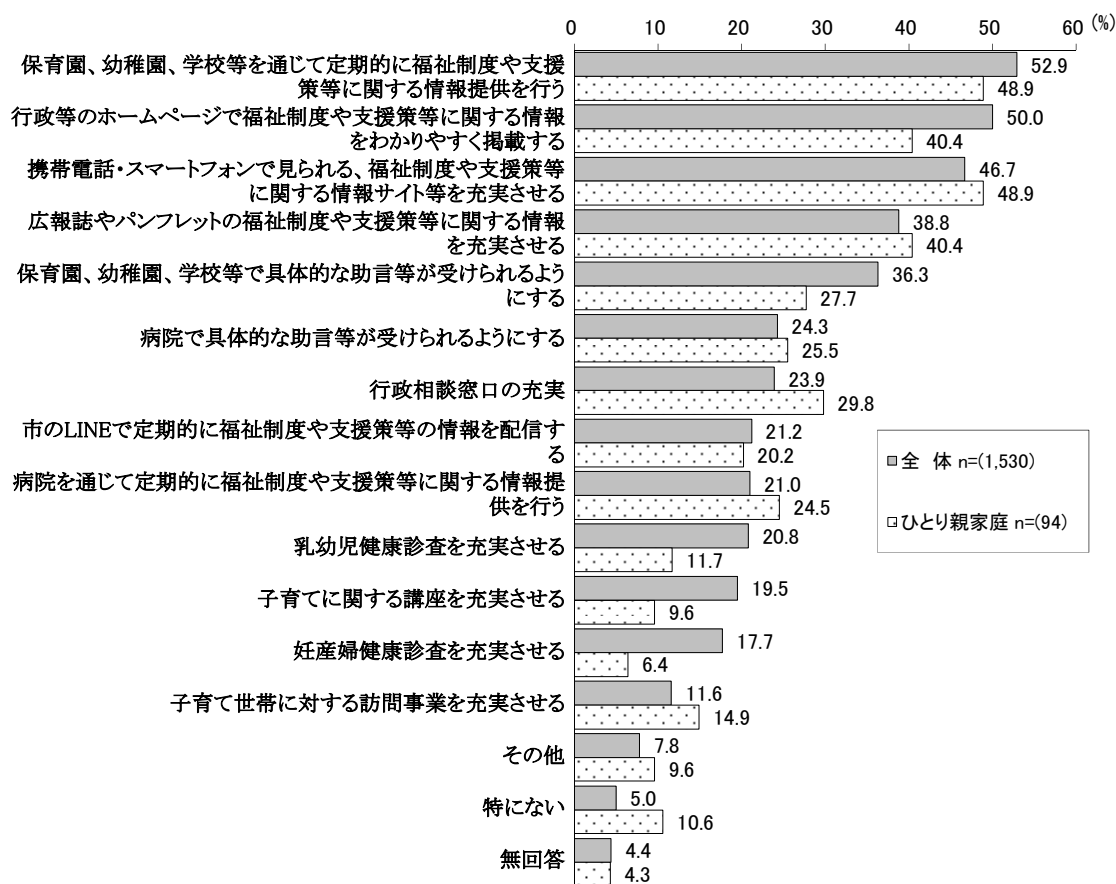
問52 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。(あてはまるものすべてに○)



子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要なことについては、全体では「保育園、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」が52.9%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」50.0%、「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」46.7%などとなっている。

所得区別では、「保育園、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」は所得区分2で59.8%と他の所得区分に比べて高く、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」は所得区分による差はみられない。所得区分1で「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」が45.3%、「行政相談窓口の充実」が32.0%で他の所得区分に比べて高くなっている。

【ひとり親家庭】



ひとり親家庭では、「保育園、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」と「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」がともに48.9%、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」と「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」がともに40.4%、「行政相談窓口の充実」29.8%となっている。

第 3 章 調査票

鎌倉市子育て世帯の生活に関するアンケート

アンケートご協力をお願い

みなさまには、日ごろから本市子ども施策にご協力を賜りありがとうございます。

鎌倉市では、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち」の実現を目指し、子育て支援を推進しています。

そこで、子育て世帯の生活状況やニーズなどを把握し、今後の子育て施策に活用していくため、アンケート調査を実施させていただきます。ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年1月

鎌倉市長 松尾 崇

【アンケートを書き終えたら】

お忙しいところ誠に恐縮ですが、**1月31日（水）まで**に同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません）にてご返送いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。なお、この調査は「株式会社サーベイ・リサーチ・センター」へ回収・分析を委託しています。

■回答にあたって

1. このアンケート調査で「お子さん」とは、封筒の宛名のお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、ごきょうだいがいても該当のお子さんについてのみお答えください。
2. お子さんの年齢等によりあてはまらない項目には、回答は不要です。回答できる設問にお答えください。
3. 質問によっては、ご回答いただく方が限られているものがありますのでご注意ください。
4. アンケートの回答は、次の記入例を参考にして、この調査票に直接記入してください。
 - ・あてはまる番号（1、2、3など）を○で囲んでください。
 - ・選択できる○の数は、設問により異なりますので、質問文の「○は1つ」などの指定に従って記入してください。
 - ・選択肢の「その他」を選んだ場合は、あてはまる番号に○をつけた後、（ ）内に具体的な内容を記入してください。

■プライバシーへの配慮について

この調査は、本市の住民基本台帳から無作為に抽出した、平成29年12月1日現在鎌倉市民で平成29年4月1日現在の年齢が18歳未満のお子さんがいらっしゃる世帯に送付させていただいております。

調査票、封筒ともにお名前やご住所は記入しないでください。アンケートは統計的に処理し、個人を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

お問合せ先

鎌倉市 こどもみらい部 こども相談課

電話 0467-23-3000（内線2658）

FAX 0467-23-8700（代表）

ご家庭についておうかがいします

問1 現在お住まいの地域はどちらですか。(1つに○)

1. 十二所	2. 二階堂	3. 浄明寺	4. 西御門	5. 雪ノ下	6. 小町
7. 大町	8. 扇ガ谷	9. 御成町	10. 材木座	11. 由比ガ浜	12. 笹目町
13. 長谷	14. 佐助	15. 坂ノ下	16. 極楽寺	17. 稲村ガ崎	18. 七里ガ浜
19. 七里ガ浜東	20. 津	21. 腰越	22. 津西	23. 西鎌倉	24. 常盤
25. 笛田	26. 鎌倉山	27. 手広	28. 梶原	29. 寺分	30. 上町屋
31. 山崎	32. 岩瀬	33. 今泉	34. 今泉台	35. 高野	36. 小袋谷
37. 大船	38. 台	39. 山ノ内	40. 玉縄	41. 岡本	42. 植木
43. 城廻	44. 関谷	45. その他()			

問2 宛名のお子さんのきょうだい数を教えてください。(宛名のお子さんを含む) (1つに○)

1. ひとり (宛名のお子さんのみ)				
2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上 ()人	

問3 ご家庭の状況について、教えてください。

① 現在、宛名のお子さんと一緒に住んでいる方を教えてください。宛名のお子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※単身赴任などで、一時的に自宅を離れている方も含めてください。

1. 宛名のお子さん本人	2. 宛名のお子さんの兄・姉	3. 宛名のお子さんの弟・妹
4. 母親	5. 父親	6. 母方の祖父
7. 母方の祖母	8. 父方の祖父	9. 父方の祖母
10. 曾祖父・曾祖母	11. その他の親族	12. 親族ではない同居人

② ①で回答された方々を合計すると何人ですか。あなたと宛名のお子さんも含めて、世帯員の人数に○をつけてください。(1つに○)

1. 2人	2. 3人	3. 4人	4. 5人	5. 6人
6. 7人	7. 8人	8. 9人	9. 10人以上	

③ ①で回答された方々のうち、平成29年4月1日時点(平成29年4月1日以降に生まれた方も含む)で、18歳未満の方は何人ですか。宛名のお子さんも含めて、18歳未満の方の人数に○をつけてください。(1つに○)

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

宛名のお子さんについておうかがいします

問4 宛名のお子さんは次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

【年齢】

1. 0歳～2歳
2. 3歳～5歳
3. 6歳～11歳
4. 12～14歳
5. 15～18歳

【通園・通学先など】

1. どこにも通っていない
2. 保育施設（認可・認可外）
3. 幼稚園
4. 小学校
5. 中学校
6. 高校・専門学校
7. 仕事をしている
8. その他

問5 宛名のお子さんのふだん（月曜日～金曜日）の起床時間、就寝時間を教えてください。

(それぞれ1つに○)

起床時間

1. 午前5時より前
2. 午前5時台
3. 午前6時台
4. 午前7時台
5. 午前8時台
6. 午前9時より後
7. 決まっていない

就寝時間

1. 午後9時より前
2. 午後9時台
3. 午後10時台
4. 午後11時台
5. 午前0時台
6. 午前1時より後
7. 決まっていない

問6 宛名のお子さんは、毎日朝ごはん、夕ごはんを食べますか。(1つに○)

①朝ごはん

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5日以上食べる |
| 3. 週に3、4日は食べる | 4. 週に1、2日は食べる |
| 5. ほとんど食べない | 6. わからない |

「1」「2」に○をつけた人に質問です。

問6-①-1

朝ごはんは、ふだんだれと食べていますか。

(もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 家族みんなで食べる
2. 家族（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん）のだれかと一緒に食べる
3. きょうだいだけで食べる
4. ひとりで食べる
5. 家族以外の人と食べる

〔 家族以外の人とはだれですか： 〕

「3」「4」「5」に○をつけた人に質問です。

問6-①-2

食べない理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 食べる時間がない
2. 食事が用意されていない
3. 朝は食欲がない
4. 特に理由はない
5. その他

〔 くわしく 〕

②夕ごはん

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5日以上食べる |
| 3. 週に3、4日は食べる | 4. 週に1、2日は食べる |
| 5. ほとんど食べない | 6. わからない |

「1」「2」に○をつけた人に質問です。
問6-②-1
 夕ごはんは、ふだんだれと食べていますか。
 (もつともあてはまるもの1つに○をつけてください。)
 1. 家族みんなで食べる
 2. 家族(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん)のだれかと一緒に食べる
 3. きょうだいだけで食べる
 4. ひとりで食べる
 5. 家族以外の人と食べる
 [家族以外の人とはだれですか:]

「3」「4」「5」に○をつけた人に質問です。
問6-②-2
 食べない理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○をつけてください。)
 1. 食べる時間がない
 2. 食事が用意されていない
 3. 食欲がない
 4. 特に理由はない
 5. その他
 [くわしく]

問7 宛名のお子さんに、1週間に手作りの食事をどれくらい食べさせていますか。(それぞれ1つに○)

- | 朝ごはん |
|-------------|
| 1. 毎日作る |
| 2. 週5、6日は作る |
| 3. 週3、4日は作る |
| 4. 週1、2日は作る |
| 5. 作らない |

- | 夕ごはん |
|-------------|
| 1. 毎日作る |
| 2. 週5、6日は作る |
| 3. 週3、4日は作る |
| 4. 週1、2日は作る |
| 5. 作らない |

問7で「4. 週1、2日」「5. 作らない」と答えた方につながります。

問8 宛名のお子さんの食事で、最も多いものをお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 外食 | 2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当 |
| 3. インスタント・レトルト食品 | 4. お菓子 |
| 5. 親戚、知人が作った料理 | 6. わからない |
| 7. その他(具体的に:) | |

問9 宛名のお子さんは、毎日お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入っていますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 毎日入る | 2. 週に5日以上入る |
| 3. 週に3、4日は入る | 4. 週に1、2日は入る |
| 5. ほとんど入らない | 6. わからない |

問10 宛名のお子さんは、毎日どのくらい、歯磨きをしますか。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. 1日3回以上 | 2. 1日2回 | 3. 1日1回 | 4. 毎日ほしない |
|-----------|---------|---------|-----------|

問11 宛名のお子さんはいま、むし歯はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. むし歯がある(治療中を含む) | 2. むし歯はない(またはすべて治療した) |
| 3. わからない | |

- 問11-1** いま、むし歯の治療のために歯医者に通っていますか。
- | | |
|----------|-----------|
| 1. 通っている | 2. 通っていない |
|----------|-----------|

- 問11-2** 治療していない理由はなんですか。
- | | |
|------------|---------------|
| 1. 治療予定 | 2. 治療に行く時間がない |
| 3. 経済的に困難 | 4. 治療する必要がない |
| 5. 特に理由はない | 6. その他 |
- (具体的に:)

問12 宛名のお子さんは、学校に行った日の放課後、どこで過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 親せきの家 |
| 3. 友達の家 | 4. 学習塾(国語・算数・数学・理科・社会・英語) |
| 5. 習い事(そろばん・習字・ピアノ・スポーツ・ダンスなど) | 6. 公園 |
| 7. 大型スーパー | 8. ゲームセンターやカラオケ |
| 9. 青少年会館・子ども会館など | 10. 子どもの家など |
| 11. その他(具体的に:) | 12. わからない |

問13 宛名のお子さんは、1カ月に本(読み聞かせも含めて)を何冊くらい読みますか。自宅以外の状況も含めてお答えください。(電子書籍を含み、教科書・教材は除く)

(それぞれに1つ○)

(1)本 (マンガや雑誌を除く)	1. 読まない	2. 1冊	3. 2~5冊
	4. 6~10冊	5. 11冊	6. わからない
(2)マンガや雑誌	1. 読まない	2. 1冊	3. 2~5冊
	4. 6~10冊	5. 11冊	6. わからない

問14 宛名のお子さんが使える子ども部屋、または学習コーナー(学習用の場所・スペース)はありますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 子ども部屋がある |
| 2. 独立した子ども部屋はないが、その子どもが使える学習コーナーがある |
| 3. 子ども部屋も学習コーナーもない |

問15 宛名のお子さんは学校の授業時間以外に普段(月~金曜日)、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含まれます。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. まったくしない | 2. 30分より少ない |
| 3. 30分以上、1時間より少ない | 4. 1時間以上、2時間より少ない |
| 5. 2時間以上、3時間より少ない | 6. 3時間以上 |

問16 あなたからご覧になって、宛名のお子さんの学校での学習の状況をどのように思われていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分理解できている | 2. まあ理解できている |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり理解ができていない |
| 5. ほとんど理解できていない | |

問17 宛名のお子さんが塾などで学びたいと考えたら、学ばせたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. 思わない |
| 5. どちらともいえない | |

問17で「3」または「4」と答えた方におうかがいします。

問17-1 学ばせたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 必要ないため | 2. 塾などの施設が近くにないため |
| 3. 料金が高いため | 4. その他(具体的に:) |

問18 宛名のお子さんは、習い事等(スポーツクラブ・学習塾・地域のクラブ活動を含む)をしていますか。習い事の種類を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 体操 | 2. 水泳 |
| 3. 野球・ソフトボール | 4. サッカー |
| 5. テニス | 6. バスケットボール |
| 7. 卓球 | 8. バレーボール |
| 9. 空手・剣道・柔道などの武道 | 10. バレエ・ダンス・舞踊 |
| 11. 英会話 | 12. 外国語(英語以外) |
| 13. そろばん | 14. 習字(硬筆含む) |
| 15. 絵・工作 | 16. ピアノ・電子オルガン |
| 17. 楽器(ピアノ・電子オルガン以外) | 18. ボーイスカウト・ガールスカウト |
| 19. 科学・自然 | 20. 華道・茶道 |
| 21. 学習塾(有料) | 22. 家庭教師 |
| 23. 通信教育 | 23. その他(具体的に:) |
| 25. 習い事はしていない | |

問19 宛名のお子さんが塾や習い事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 子どもがやりたがらないから | 2. 必要性を感じないから |
| 3. 経済的に余裕がないから | 4. 家の近くに塾や習い事がないから |
| 5. 学校のクラブ活動が忙しいから | 6. 子どもが家などで過ごす自由時間が少なくなるから |
| 7. 他の家族の理解が得られないから | 8. その他(具体的に:) |
| 9. 特に理由はない | |

問20 宛名のお子さんは、学校のクラブ活動をしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問20で「1」と答えた方におうかがいします。

問20-1 クラブ活動の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|-----------------|------------------|
| 1. 水泳 | 2. 野球 | 3. 野球・ソフトボール |
| 4. サッカー | 5. 卓球 | 6. テニス |
| 7. バスケットボール | 8. バレーボール | 9. 空手・剣道・柔道などの武道 |
| 10. コーラス・合唱 | 11. 読書 | 12. ブラスバンド |
| 13. 体操 | 14. その他(具体的に:) | |

問21 宛名のお子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 授業料 | 2. 学用品 |
| 3. 学校給食費 | 4. 修学旅行費 |
| 5. クラブ活動費 | 6. 標準服(制服)・体操服 |
| 7. 学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信費にかかる費用) | 8. 負担が大きいと感じているものはない |
| 9. その他(具体的に:) | |

問22 あなたは、宛名のお子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 中学校まで | 2. 高等学校まで |
| 3. 専門学校まで(高等学校後に進学するもの) | 4. 高等専門学校・短期大学まで |
| 5. 大学まで | 6. 大学院まで |
| 7. その他(具体的に:) | 8. 特に理想はない |

問23 あなたが上記のようにお考えになる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 子どもがそう希望しているから | 2. 一般的な進路だと思うから |
| 3. 子どもの学力から考えて | 4. 家庭に経済的な余裕がないから |
| 5. 他の家族の理解が得られないから | 6. その他(具体的に:) |
| 7. 特に理由はない | |

問24 宛名のお子さんの教育に関して心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 同学年の子どもに比べて学力が低い | 2. 勉強する習慣が身につけていない |
| 3. 勉強を見てあげることができない | 4. 塾等に通わせたいがお金がない |
| 5. その他(具体的に:) | 6. 特に理由はない |

問25 あなたの世帯では経済的な理由により、子どもが進学を諦めたり、学校を中退したことがある、または、今後その可能性があると思いますか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 子どもが進学をあきらめたことがある |
| 2. 子どもが学校を中退したことがある |
| 3. これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う |
| 4. これまでにもなかったし、今後もその可能性は低い |

問26 経済的な理由で、希望の学歴まで卒業させることが難しくなるとすれば、奨学金を利用したいと思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 返済義務のない（借金にならない）奨学金であれば利用したい |
| 2. 返済義務のある奨学金（借金になる）であっても利用したい |
| 3. 奨学金は利用したくない |

問27 宛名のお子さんは不登校の経験がありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 不登校の経験はない | 2. 過去に不登校の経験がある |
| 3. 現在不登校中（ か月程度） | 4. わからない |

子育てについておうかがいします

問28 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。

(それぞれ1つに○)

	ほぼ毎日	週に3〜4回	週に1〜2回	月に1〜2回	できない・めったにない・
(1)お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
(2)お子さんとからだを動かして遊ぶ	1	2	3	4	5
(3)お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ (インターネットゲーム・テレビゲーム・携帯ゲームなど)	1	2	3	4	5
(4) お子さんとカードゲームで遊ぶ (トランプ・ボードゲーム・将棋など)	1	2	3	4	5
(5)お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
(6)お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする	1	2	3	4	5
(7)お子さんとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする	1	2	3	4	5
(8)お子さんといっしょに家事をする	1	2	3	4	5
(9)お子さんといっしょに外出をする	1	2	3	4	5

問29 次のことについて、宛名のお子さんの様子はどれにあたりますか。(それぞれ1つに○)

	このとおり	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	合っていない	ほとんど	まったくちがう
(1)将来について明るく夢や希望を話すことができる	1	2	3	4	5		
(2)自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5		
(3)馬鹿にされたり、悪口を言われてもうまく対処することができる	1	2	3	4	5		
(4)他人にきちんとあいさつすることができる	1	2	3	4	5		
(5)大人が指示しなくても、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5		
(6)必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5		
(7)将来良い結果となるように、今ほしいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5		
(8)自分が分からなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5		

問30 過去1年間に医療機関にお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。

(1つに○)

1. ある

2. ない

問30で「1」と答えた方におうかがいします。

問30-1 その理由はなんですか。(1つに○)

1. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2. 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため
3. 子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため
4. 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
5. 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6. 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
7. その他(具体的に:)

問31 あなたのご家庭では、宛名のお子さんに次のことをしていますか。(それぞれ1つに○)

	して いる	していない	
		必要だと 思わない	経済的に できない
(1)毎月おこづかいを渡す	1	2	3
(2)毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
(3)お誕生日のお祝いをする	1	2	3
(4)1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
(5)季節の行事(ひな祭り、クリスマスなど)をしたり、正月のお年玉をあげる	1	2	3
(6)医者に行く(医療機関での健診を含む)	1	2	3
(7)歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	1	2	3
(8)子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3

問32 過去1年間に、宛名のお子さんと出かけたことがある場所について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. キャンプや海水浴	2. 図書館や博物館、美術館
3. 映画館や音楽会などの鑑賞	4. スポーツ施設(プール・スキー場・スケート場など)
5. 外食(ファミリーレストラン、回転寿司、食堂など)	6. 近くの公園
7. 遊園地	8. 自分や子どもの友人宅
9. 親戚の家	10. 子育て支援センター・つどいの広場
11. 青少年会館や子ども会館	12. コンビニエンスストア
13. スーパーやドラッグストア	14. デパートやショッピングセンター
15. ゲームセンター	16. カラオケ
17. パチンコ	18. 居酒屋
19. ここに記載しているところに出かけたことはない	20. その他(具体的に:)

暮らしの状況についておうかがいします

問33 現在の住居の状況について教えてください。(1つに○)

1. 持家(あなた又はあなたの配偶者名義)	2. 持家(親族名義)
3. 市営・県営住宅	4. 公社・公団(U R)賃貸
5. 社宅	6. 借家(マンションやアパートなど)
7. 間借	8. その他(具体的に:)

問34 あなたの世帯全体では1年間に、以下の手当等の受給や所得はありましたか。

(それぞれ1つに○)

	いずれかに○	
	ある	ない
(1)お子さんからみた父親の就労による「収入」	1	2
(2)お子さんからみた母親の就労による「収入」	1	2
(3)お子さん本人の就労による「収入」	1	2
(4) (1) ~ (3) 以外の、同一世帯の親族の就労による「収入」	1	2
(5)元配偶者等からの「養育費」	1	2
(6)親族からの定期的・継続的な「仕送り」	1	2
(7)国民年金・基礎年金・厚生年金などの「公的年金・恩給」	1	2
(8)企業年金・生命保険会社などの「企業・個人年金」	1	2
(9)失業保険や育児休業給付、介護休業給付などの「雇用保険」	1	2
(10)児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等の「手当」	1	2
(11)就業援助、生活保護による扶助などの「その他の社会保障給付金」	1	2
(12)株式の利子や配当などの「財産所得」	1	2
(13)その他 (具体的に:)	1	2

問35 あなたの世帯の昨年1年間の可処分所得(いわゆる手取り収入)は、おおよそどのくらいですか。(世帯員人数に応じていずれかあてはまる番号1つに○)

世帯員人数 (問3②の回答人数)	可処分所得(いわゆる手取り収入) (世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」「社会保険料(「医療保険(短期掛金)」、 「年金保険(長期掛金)」、「介護保険」、「雇用保険)」、「固定資産税」を除いた額)					
	1人	1. 60万円未満	2. 60万円~120万円未満	3. 120万円~180万円未満	4. 180万円~240万円未満	5. 240万円~300万円未満
2人	1. 85万円未満	2. 85万円~175万円未満	3. 175万円~260万円未満	4. 260万円~345万円未満	5. 345万円~430万円未満	6. 430万円以上
3人	1. 105万円未満	2. 105万円~210万円未満	3. 210万円~315万円未満	4. 315万円~420万円未満	5. 420万円~525万円未満	6. 525万円以上
4人	1. 120万円未満	2. 120万円~245万円未満	3. 245万円~365万円未満	4. 365万円~485万円未満	5. 485万円~605万円未満	6. 605万円以上
5人	1. 135万円未満	2. 135万円~275万円未満	3. 275万円~410万円未満	4. 410万円~545万円未満	5. 545万円~680万円未満	6. 680万円以上
6人	1. 150万円未満	2. 150万円~300万円未満	3. 300万円~450万円未満	4. 450万円~600万円未満	5. 600万円~750万円未満	6. 750万円以上
7人	1. 160万円未満	2. 160万円~325万円未満	3. 325万円~485万円未満	4. 485万円~645万円未満	5. 645万円~805万円未満	6. 805万円以上
8人	1. 175万円未満	2. 175万円~345万円未満	3. 345万円~520万円未満	4. 520万円~695万円未満	5. 695万円~870万円未満	6. 870万円以上
9人	1. 185万円未満	2. 185万円~365万円未満	3. 365万円~550万円未満	4. 550万円~735万円未満	5. 735万円~920万円未満	6. 920万円以上

問36 あなたの世帯には、次のような借入金がありますか。(あてはまるものすべて○)

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| 1. 住宅のローン | 2. 車など高額物品購入のローン |
| 3. 奨学金などの教育のための借入金 | 4. 親族からの借入金 |
| 5. 友だち、知人からの借入金 | 6. 自治体などからの借入金 |
| 7. その他の借入金（具体的に： ） | 8. わからない |
| 9. 借入金はない | |

問37 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまるものすべて○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 食費をきりつめた | 2. 電気・ガス・水道などが止められた |
| 3. 医療機関を受診できなかった | 4. 国民健康保険料の支払いが滞った |
| 5. 国民年金の支払いが滞った | 6. 金融機関などに借金をした |
| 7. クレジットカードの利用が停止になった | 8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた |
| 9. 新聞や雑誌を買うのを控えた | 10. スマートフォンへの切り替え・利用を断念した |
| 11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた | 12. 生活の見通しがたたなくて不安になった |
| 13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車や徒歩で行った | 14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った |
| 15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞った | 16. 趣味やレジャーの出費を減らした |
| 17. 冷暖房の使用を控えた | 18. 友人・知人との外食を控えた |
| 19. 敷金・保証金等を用意できず住み替え・転居を断念した | 20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした |
| 21. 子ども部屋が欲しかったがつかれなかった | 22. 子どもが必要とする文具や教材が買えないことがあった |
| 23. 1～22の項目にはどれもあてはまらない | |

問38 次のうち、経済的に負担になっているものはありますか。(それぞれ1つに○)

	ている	負担になっ	ど	負担では
	とも負	になっ	ち	ない
	担にな	てい	ら	
	っ	る	か	
			と	
			い	
			え	
			ば	
(1)食費	1	2	3	4
(2)衣料費	1	2	3	4
(3)光熱費	1	2	3	4
(4)教育費	1	2	3	4
(5)医療費	1	2	3	4
(6)住居費	1	2	3	4

問39 ご家庭にあるものについておたずねします。また、持っていない場合は、その理由を教えてください。(それぞれ1つに○)

	所有状況		持っていない理由				
	ある	ない	ないから	子どもが好きで	子どもには必要	経済的な理由	その他
(1)テレビ	1	2	1	2	3	4	4
(2)ビデオ・DVD	1	2	1	2	3	4	4
(3)絵本・児童書	1	2	1	2	3	4	4
(4)ワークブック (お稽古帳・ドリル)	1	2	1	2	3	4	4
(5)図鑑	1	2	1	2	3	4	4
(6)マンガ本	1	2	1	2	3	4	4
(7)スマートフォン	1	2	1	2	3	4	4
(8)タブレット端末	1	2	1	2	3	4	4
(9)ゲーム機	1	2	1	2	3	4	4
(10)パソコン	1	2	1	2	3	4	4
(11)英会話などの学習用教材	1	2	1	2	3	4	4
(12)知育玩具 (積み木・ブロックなど)	1	2	1	2	3	4	4

問40 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。宛名のお子さんのごきょうだいも含めてお答えください。(それぞれ1つに○)

	所有状況		持っていない理由	
	ある	ない	必要だと思わない	経済的にできない
(1)子どもの本 (学校の教科書やマンガを除く)	1	2	1	2
(2)子ども部屋 (きょうだいと一緒に使っている場合も含む)	1	2	1	2
(3)インターネットにつながるパソコン	1	2	1	2
(4)子ども専用の勉強机	1	2	1	2
(5)スポーツ用品 (グローブやサッカーボール等)	1	2	1	2
(6)ゲーム機	1	2	1	2
(7)多くの子どもが持っているおもちゃ	1	2	1	2
(8)自転車	1	2	1	2
(9)携帯電話・スマートフォン	1	2	1	2
(10)携帯音楽プレイヤー等	1	2	1	2

問41 現在、あなたのご家庭の暮らしはどのような状況にあると思いますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 大変苦しい生活状況にあると思う
2. 苦しい生活状況にあると思う
3. どちらかというと苦しい生活状況にあると思う
4. 苦しい生活状況にはないと思う |
|---|

保護者の方についておうかがいします

問42 保護者の年齢を教えてください。(それぞれ1つに○)

お父さま	お母さま
1. 19歳以下	1. 19歳以下
2. 20～24歳	2. 20～24歳
3. 25～29歳	3. 25～29歳
4. 30～34歳	4. 30～34歳
5. 35～39歳	5. 35～39歳
6. 40～44歳	6. 40～44歳
7. 45～49歳	7. 45～49歳
8. 50歳以上	8. 50歳以上
9. わからない	9. わからない
10. 父親（または父親にかわる方）はいない	10. 母親（または母親にかわる方）はいない

問43 保護者の働き方について教えてください。(それぞれ1つに○)

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職後に予定されている働き方をお答えください。

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。

お父さま	お母さま
1. 正社員・正規職員	1. 正社員・正規職員
2. パート・アルバイト	2. パート・アルバイト
3. 契約社員・嘱託・非常勤等	3. 契約社員・嘱託・非常勤等
4. 人材派遣会社の派遣社員	4. 人材派遣会社の派遣社員
5. 自営業・在宅ワーク	5. 自営業・在宅ワーク
6. 内職	6. 内職
7. その他 ()	7. その他 ()
8. 働いていない	8. 働いていない
<p>「8. 働いていない」と答えた理由を教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○)</p> <p>1. 家事・子育てに専念</p> <p>2. 病気療養中</p> <p>3. 仕事を探している</p> <p>4. 親族の介護・介助</p> <p>5. その他 ()</p>	<p>「8. 働いていない」と答えた理由を教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○)</p> <p>1. 家事・子育てに専念</p> <p>2. 病気療養中</p> <p>3. 仕事を探している</p> <p>4. 親族の介護・介助</p> <p>5. その他 ()</p>

問44 保護者の帰宅時間帯で、多い時間帯を選んでください。

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。

(それぞれ1つに○)

お父さま	お母さま
1. 基本的に在宅が多い	1. 基本的に在宅が多い
2. 午後2時前	2. 午後2時前
3. 午後4時前	3. 午後4時前
4. 午後6時前	4. 午後6時前
5. 午後7時前	5. 午後7時前
6. 午後8時前	6. 午後8時前
7. 午後9時前	7. 午後9時前
8. 午後10時前	8. 午後10時前
9. 午前0時前	9. 午前0時前
10. 午前0時以降	10. 午前0時以降
11. 帰宅時間が決まっていない	11. 帰宅時間が決まっていない
12. その他(具体的に:)	12. その他(具体的に:)

問45 保護者の最終学歴について教えてください。(それぞれ1つに○)

※父親、母親がいない場合は、空欄としてください。

お父さま	お母さま
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中退	2. 高等学校中退
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等中退	4. 高専、短大、専門学校等中退
5. 高専、短大、専門学校等卒業	5. 高専、短大・高等専門学校卒業
6. 大学中退	6. 大学中退
7. 大学卒業	7. 大学卒業
8. 大学院中退	8. 大学院中退
9. 大学院修了	9. 大学院修了
10. その他(具体的に:)	10. その他(具体的に:)

問46 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つに○)

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもを育てている世帯とします。

※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。

※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当する	2. 該当しない
---------	----------

問46で「1」と回答した方にうかがいます。

問46-1 ひとり親になってからの期間はどのくらいですか。(1つに○)

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満	4. 10年以上

問46-2 ひとり親になった理由について、当てはまる答えに1つだけ○をつけてください。

(1つに○)

- | | | | |
|-------|----------|-------|----------------|
| 1. 離婚 | 2. 未婚・非婚 | 3. 死別 | 4. その他(具体的に:) |
|-------|----------|-------|----------------|

市の子育て支援等についておうかがいします

問47 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 自分の親 | 2. きょうだいや親戚 |
| 3. 友人や同僚 | 4. 町内会や民生委員など地域住民 |
| 5. 保育園・幼稚園・学校の先生 | 6. 子育て支援センターなど |
| 7. 市役所など行政の窓口 | 8. 広報かまくらなど |
| 9. 雑誌 | 10. インターネット(ホームページ・ブログなど) |
| 11. SNS(フェイスブック・ツイッターなど) | 12. 市のLINE |
| 13. かまくら子育てナビきらきら | 14. その他(具体的に:) |

問48 あなたは、子育てに関する悩みを現在、心おきなく相談できる相手がありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 相談できる相手がいる | 2. 相談相手がおらず、ほしい |
| 3. 必要ない | |

問48で「1」または「2」とお答えの方におうかがいします。

問48-1 その相談相手は誰ですか、また相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親 |
| 3. 子ども | 4. その他の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. 隣人・地域の人 |
| 7. 職場の人 | 8. 学校・幼稚園・保育園の先生 |
| 9. 学校のカウンセラーやソーシャルワーカー | 10. 子どもの家・子ども会館の職員 |
| 11. 市役所などの相談窓口(行政の相談員) | 12. 民間カウンセラーなどの専門家 |
| 13. 民間団体やボランティア | 14. インターネットのサイト |
| 15. その他(具体的に:) | |

問49 子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことはありますか。ある場合、相談できなかった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 相談できなかったことはない |
| 2. だれ(どこ)に相談すればよいのか分からなかった |
| 3. 相談先への連絡方法や場所が分からなかった |
| 4. 相談受付時間が限られており、時間内に行けなかった |
| 5. 場所が遠くて、相談に行けなかった |
| 6. その他(具体的に:) |

問50 あなたは次の子育て支援や学習支援を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
 利用したことがあるものについて、利用してよかったものに○をしてください。
 また、今後、利用したいと思いますか。（これまでの利用の有無にかかわらずお答えください）

- ①はそれぞれ1～3のうち1つに○
 ②は利用してよかったものすべてに○
 ③はそれぞれ1・2のうち1つに○

	①利用・認知状況			→	② よかつたものに○ 利用して	③今後の利用意向	
	利用したことがある	利用しているが、知っている	利用したことはない 制度を知らない			今後利用したい	利用は考えていない ・必要ない
(1)保育園・認定こども園・幼稚園	1	2	3	→		1	2
(2)病児・病後児保育	1	2	3	→		1	2
(3)一時助かり（一時保育）（幼稚園や保育園の延長保育等を含む）	1	2	3	→		1	2
(4)ファミリーサポートセンター	1	2	3	→		1	2
(5)子育て支援センター・つどいの広場	1	2	3	→		1	2
(6)ショートステイ	1	2	3	→		1	2
(7)放課後児童クラブ（子どもの家）	1	2	3	→		1	2
(8)生涯学習センター・青少年会館・子ども会館	1	2	3	→		1	2
(9)子ども・子育て関連団体（芸術やボーイスカウトなど）	1	2	3	→		1	2
(10)市の教育センター	1	2	3	→		1	2
(11)子どもと家庭の相談室	1	2	3	→		1	2
(12)公的機関窓口（市役所、福祉事務所、児童相談所等）での相談	1	2	3	→		1	2
(13)子育て講座	1	2	3	→		1	2
(14)スクールカウンセラー	1	2	3	→		1	2
(15)スクールソーシャルワーカー	1	2	3	→		1	2
(16)こども食堂	1	2	3	→		1	2
(17)学習支援	1	2	3	→		1	2
(18)無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援	1	2	3	→		1	2
(19)子どもの医療費助成	1	2	3	→		1	2
(20)児童手当	1	2	3	→		1	2
(21)児童扶養手当	1	2	3	→		1	2
(22)特別児童扶養手当	1	2	3	→		1	2
(23)生活保護	1	2	3	→		1	2
(24)小中学校の就学援助	1	2	3	→		1	2
(25)高等学校等就学援助金(市の援助制度)	1	2	3	→		1	2
(26)高等学校等就学支援金（授業料の補助制度）	1	2	3	→		1	2
(27)奨学のための給付金	1	2	3	→		1	2
(28)母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	→		1	2
(29)生活福祉資金貸付金	1	2	3	→		1	2
(30)保育園や幼稚園の利用料の減額や免除	1	2	3	→		1	2
(31)住宅を探したり、住宅費を軽減される援助	1	2	3	→		1	2
(32)生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート （就労相談、職業訓練のための給付金等）	1	2	3	→		1	2
(33)障害・難病の手当（特別児童扶養手当を除く）	1	2	3	→		1	2

問51 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 健康に関することについて専門的な支援が受けられること
7. 就職のための支援が受けられること
8. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
9. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
10. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
11. 一時的に必要な資金を借りられること
12. その他（具体的に: _____)
13. 特にない

問52 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3. 市のLINEで定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する
4. 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5. 行政相談窓口の充実
6. 保育園、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
7. 保育園、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
8. 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
9. 病院で具体的な助言等が受けられるようにする
10. 子育て世帯に対する訪問事業を充実させる
11. 妊産婦健康診査を充実させる
12. 乳幼児健康診査を充実させる
13. 子育てに関する講座を充実させる
14. その他（具体的に: _____)
15. 特にない

これでアンケートは終わりです。ご回答いただきありがとうございました。
返信用封筒に入れて、1月31日（水）までに投かんしてください。

鎌倉市子育て世帯の生活に関するアンケート調査

報告書

平成30年3月

鎌倉市

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10

こどもみらい部こども相談課

電話：0467-23-3000（代表）